

第13回

学生生活調査報告書

STUDENT LIFE NOW

学部生



平成28年3月

長崎大学

ま え が き

「第13回学生生活調査報告書」をお届けします。本調査の実施に当たっては、より多くの学生のニーズや要望が把握できるように、各学部・研究科で配付、回収の工夫をして頂いた結果、学部生が69.7%（第10回41.6%、第11回67.1%、第12回70.6%）、大学院生は70.5%（第11回69.2%、第12回74.9%）の高い回収率となりました。ご協力ありがとうございました。

本学では、より学生の皆さんからの要望に応えていくために、調査項目の精査を行うとともに、2年に1回の調査を実施しています。また、今回の調査では、前回（第12回）の調査結果をもとに「大学として対応すべき課題」として設定した「支援・改善事項」の達成状況の検証を行うとともに、次期中期計画期間中における支援事項選定の資料とすることも調査の大きな目的です。

支援・改善項目のハード面においては、構内施設の改修等が進む中、講義棟（講義室・トイレなど）及び体育施設（体育館・グラウンド）の満足度については、一定の評価があるものの、授業・カリキュラムに対する満足度は、学部生全体で6割弱に留まるなど改善の余地が見られます。また、学生相談体制については周知の不足が見受けられるため、情報伝達手段の改善に取り組みながら周知徹底を行う必要があります。

学生委員会では、これら調査結果の分析を行い、対応すべき支援・改善事項を選定し、ハード、ソフト両面において、より高い満足度が得られるように引き続き学生の実態やニーズに合致した支援・改善を行っていきます。

本学は三つのキャンパスに分かれており、各学部・研究科の歴史、学生数をはじめ、立地、インフラの整備状況が異なっていますが、各学部・研究科においては、それぞれの結果を検討し、実態の把握と改善、支援事項選定の資料として活用くださるようお願い致します。

学部生、大学院生の質を保証した上で実社会に送り出すことは、本学の責務であり、そのために学生生活の質をさらに高める必要があります。本報告書を全学生の修学環境改善のための基礎資料としてご活用いただければ幸いです。

本報告書は、学生委員会の学生生活調査専門委員会のメンバーをはじめ、多くの方々のご尽力により作成されたものであり、本調査の実施、報告書の作成にご尽力いただいたすべての方に心より感謝いたします。

平成28年3月

学生委員会委員長
堀内伊吹

目 次

まえがき

調査の概要	1
I. 基本事項について	3
II. 生活状況について	6
III. 課外活動について	17
IV. 健康について	20
V. 福利厚生施設について	28
VI. キャンパス全般について	31
VII. 入学・修学について	36
VIII. 学生相談体制について	47
IX. 大学生活について	51
X. 進路・就職について	53
学生生活調査票	58
調査の組織	65

あとがき

学生生活調査の概要

1. 調査の目的

学生生活調査は大学が学生の生活状況や要望を把握し、それに基づく支援・改善事項を計画・実行することで学生を取り巻く環境を整備し、学生生活を質的に向上させるために行うものです。

2. 調査の対象および方法

平成 27 年 10 月 1 日現在、本学に在籍する全学部学生 7,487 名（ただし、休学者等を除く）を対象として、学務班および各学部学務係を通して調査票を配布し、所定の期日までに回答を提出してもらいました。

*在籍学生数（平成 27 年 10 月 1 日現在）（ ）は休学者等で内数

	教育	経済		医学		歯学
		昼間	夜間	医学科	保健学科	
学生数	987 (12)	1,382 (45)	273 (7)	739 (6)	451 (10)	307 (11)
男	322	895	174	535	91	177
女	665	487	99	204	360	130

薬学		工学	環境	水産	多文化 社会	合計
薬学科	薬科学科					
250 (4)	173 (2)	1,682 (27)	588 (11)	481 (9)	174 (6)	7,487 (150)
120	111	1,482	300	328	56	4,591
130	62	200	288	153	118	2,896

3. 調査の時期

平成 27 年 9 月 28 日（月）～10 月 9 日（金）

4. 調査の内容

- | | |
|-----------------|------------------|
| I. 基本事項について | VII. 入学・修学について |
| II. 生活状況について | VIII. 学生相談体制について |
| III. 課外活動について | IX. 大学生活について |
| IV. 健康について | X. 進路・就職について |
| V. 福利厚生施設について | |
| VI. キャンパス全般について | |

5. 調査票の回収状況

学部別の回収率は、薬学部薬学科で98.4%、経済学部（夜間）で98.9%、薬学部薬科学科で93.6%と非常に高い値となりました。歯学部では前回89.5%に対して、今回57.1%と低い回収率となりました。学年別の回収率は、1年生が84.5%で高い値となりました。男女別では、男女共に前回と余り変化ありませんでした。

*学部別

	教育	経済		医学		歯学
		昼間	夜間	医学科	保健学科	
対象数	975	1,337	266	733	441	296
回収数	679	889	263	339	338	169
回収率	69.6%	66.5%	98.9%	46.2%	76.6%	57.1%

薬学		工学	環境	水産	多文化 社会	その他 無回答	合計
薬学科	薬科学科						
246	171	1,655	577	472	168	—	7,337
242	160	1,175	437	286	134	4	5,115
98.4%	93.6%	71.0%	75.7%	60.6%	79.8%	—	69.7%

*学年別

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	無回答	合計
対象数	1,637	1,674	1,697	1,920	214	195	—	7,337
回収数	1,383	1,168	1,152	1,191	96	116	9	5,115
回収率	84.5%	69.8%	67.9%	62.0%	44.9%	59.5%	—	69.7%

*男女別

	男	女	無回答	合計
対象数	4,478	2,859	—	7,337
回収数	2,955	2,149	11	5,115
回収率	66.0%	75.2%	—	69.7%

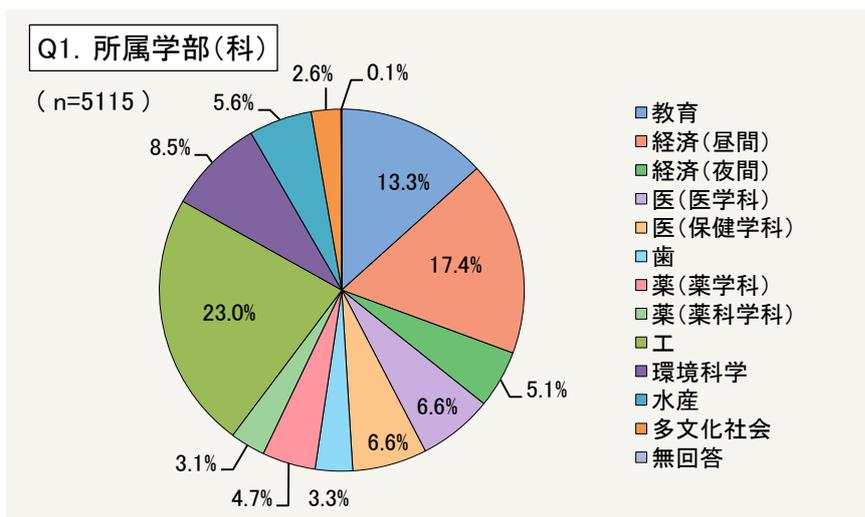
*これまでの学生生活調査回収状況

	調査対象	在籍数	対象者数	回収数	回収率
第1回	5分の1を無作為に抽出	5,949	1,149	902	
第2回	3分の1強を無作為に抽出	6,262	2,110	1,413	
第3回	約3分の1を無作為に抽出	6,558	2,226	1,530	
第4回	約3分の1を無作為に抽出	6,688	2,266	1,696	
第5回	約3分の1を無作為に抽出	6,861	2,291	1,642	
第6回	約3分の1を無作為に抽出	6,950	2,315	1,725	
第7回	約3分の1を無作為に抽出	6,905	2,300	1,791	
第8回	約3分の1を無作為に抽出	7,082	2,360	1,516	
第9回	全学部学生	7,400	7,227	4,627	64.0%
第10回	全学部学生	7,809	7,644	3,180	41.6%
第11回	全学部学生	7,640	7,489	5,023	67.1%
第12回	全学部学生	7,546	7,407	5,231	70.6%
第13回	全学部学生	7,487	7,337	5,115	69.7%

I. 基本事項について

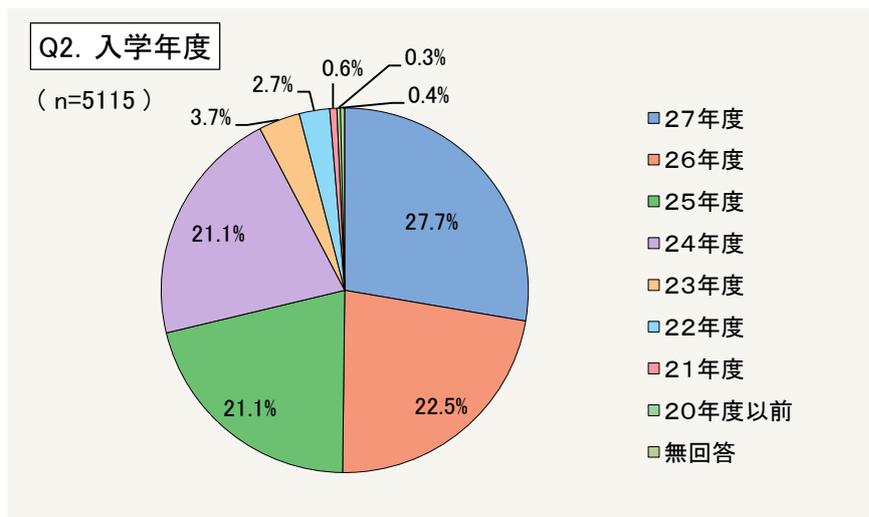
Q1. あなたの所属学部(科)は？

回答者の割合を所属学部(科)別に見てみると、「教育学部」が13.3%、「経済学部(昼間)」が17.4%、「経済学部(夜間)」が5.1%、「医学部(医学科)」が6.6%、「医学部(保健学科)」が6.6%、「歯学部」が3.3%、「薬学部(薬学科)」が4.7%、「薬学部(薬科学科)」が3.1%、「工学部」が23.0%、「環境科学部」が8.5%、「水産学部」が5.6%、「多文化社会学部」が2.6%、「無回答」が0.1%でした。



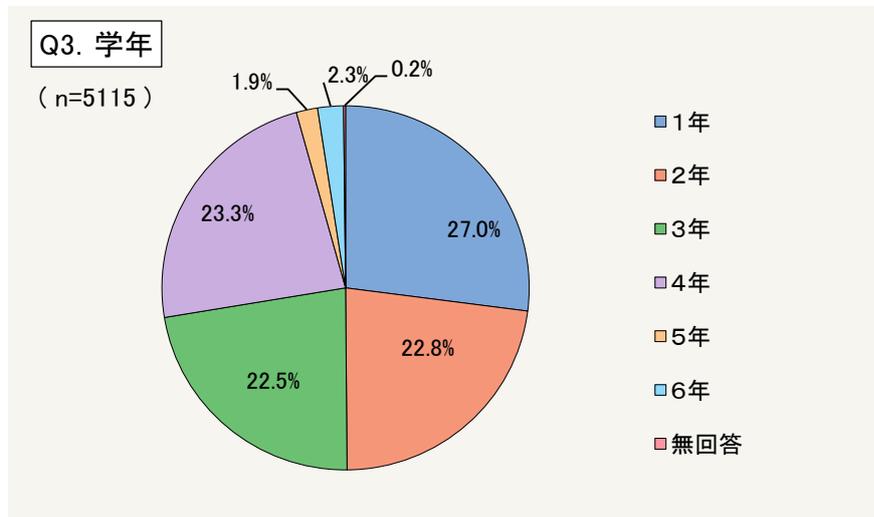
Q2. 入学年度(平成)は？(編入学生は編入した年度)

回答者の割合を入学年度別に見てみると、「平成27年度」が27.7%、「平成26年度」が22.5%、「平成25年度」が21.1%、「平成24年度」が21.1%、「平成23年度」が3.7%、「平成22年度」が2.7%、「平成21年度」が0.6%、「平成20年度以前」が0.3%、無回答が0.4%でした。今回は「平成27年度」入学と「平成26年度」入学の割合が他年度入学に比べて少し高くなりました。



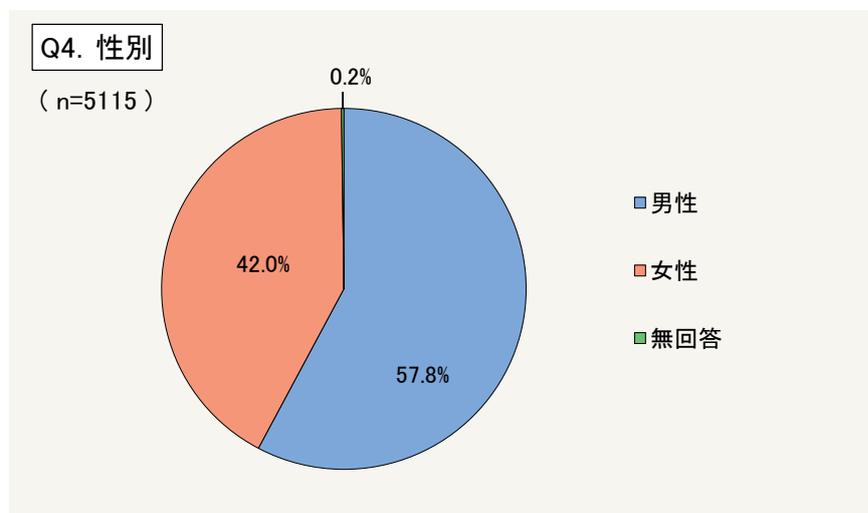
Q3. 学年は？

学年は、「1年」が27.0%、「2年」が22.8%、「3年」が22.5%、「4年」が23.3%、「5年」が1.9%、「6年」が2.3%、「無回答」が0.2%でした。前回は、「1年」「2年」「3年」「4年」がほぼ同じ割合でしたが、今回は「1年」が27.0%と他の学年よりもやや高い割合となりました。



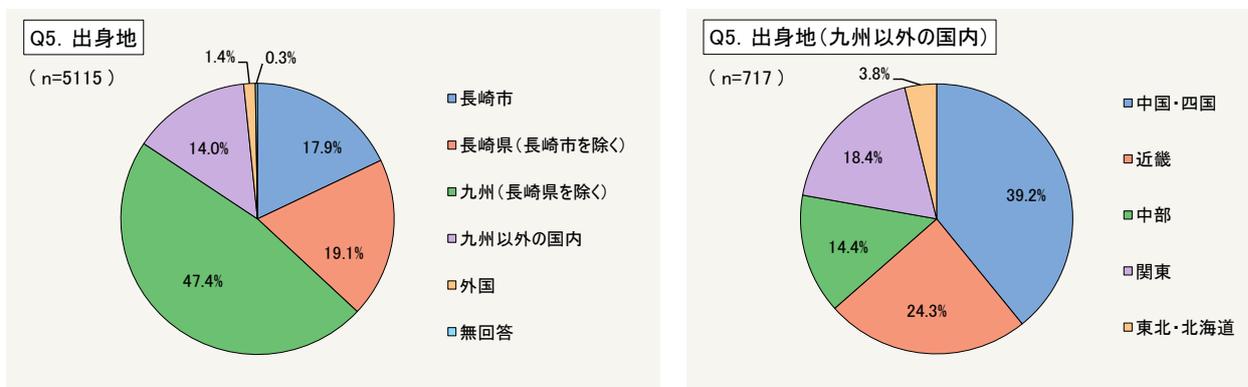
Q4. 性別は？

男女比は「男性」が57.8%、「女性」が42.0%、「無回答」が0.2%で、ほぼ6対4の割合で、対象数における男女比と同じでした。



Q5. 出身地は？

出身地は「長崎市」が17.9%、「長崎県（長崎市を除く）」が19.1%、「九州（長崎県を除く）」が47.4%、「九州以外の国内」が14.0%、「外国」が1.4%、「無回答」が0.3%でした。県内出身者が前回に比べ、少し減少したものの、「九州（長崎県を除く）」が前回より約4%増えたため、九州圏内出身者の割合は前回と同様である約85%となっています。



出身地の違いを学部別に見ると、長崎県内出身者の割合は「教育学部」が合計51.9%で最も高く、次いで「経済学部（夜間）」が45.7%、「医学部（医学科）」が42.7%です。「工学部」は38.0%で前回（46.6%）から減少しています。

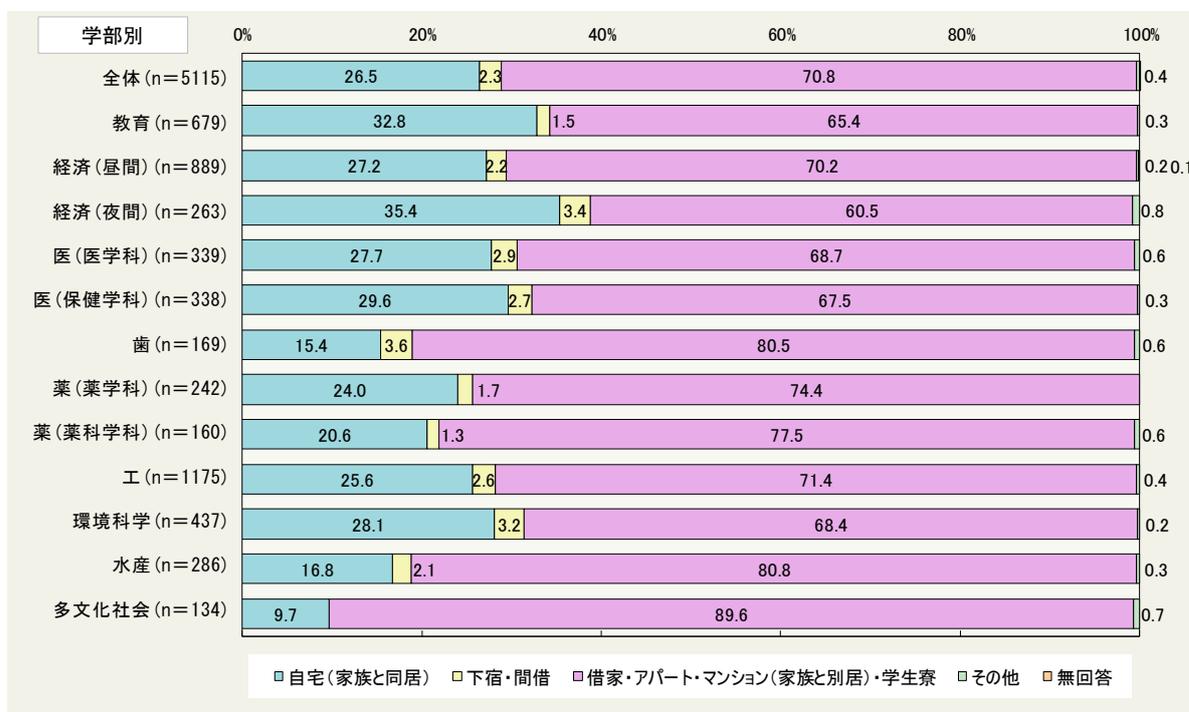


II. 生活状況について

Q6. 現在のあなたの住居は次のどれですか？

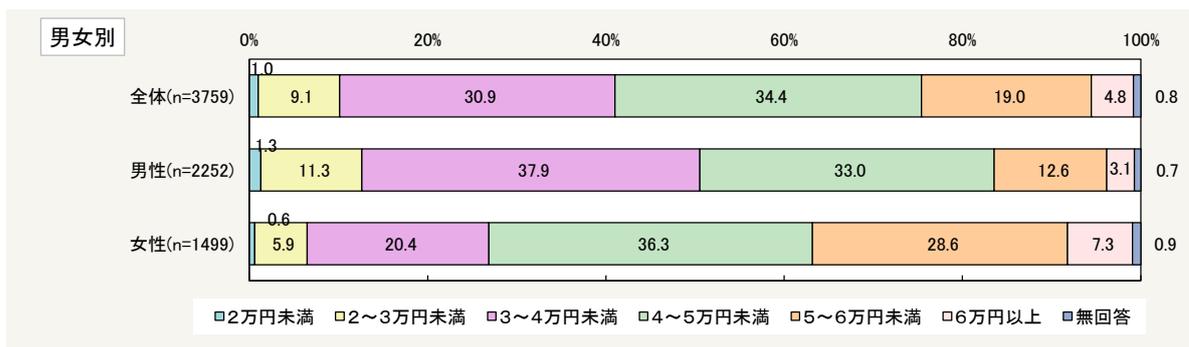
現在の住居形態に関して、「借家・アパート・マンション(家族と別居)・学生寮」が最も高く70.8%を占め、次に「自宅(家族と同居)」26.5%、「下宿・間借」2.3%となりました。この全体の結果は前回の調査と同様の傾向でしたが、「自宅(家族と同居)」が減少しました(前回29.0%)。

学部別にみると「自宅(家族と同居)」は「経済学部(夜間)」35.4%および「教育学部」32.8%が高く、「多文化社会学部」が9.7%と顕著に低くなっています。一方、「多文化社会学部」は「借家・アパート・マンション(家族と別居)・学生寮」89.6%と最も高くなっています。「借家・アパート・マンション(家族と別居)・学生寮」に関しては「多文化社会学部」に続いて「水産学部」80.8%、「歯学部」80.5%となっています。Q5で示されているように、これらの学部では県外出身者の割合が高いことが反映されていると思われます。なお、この結果は前回の調査と同様の傾向でした。

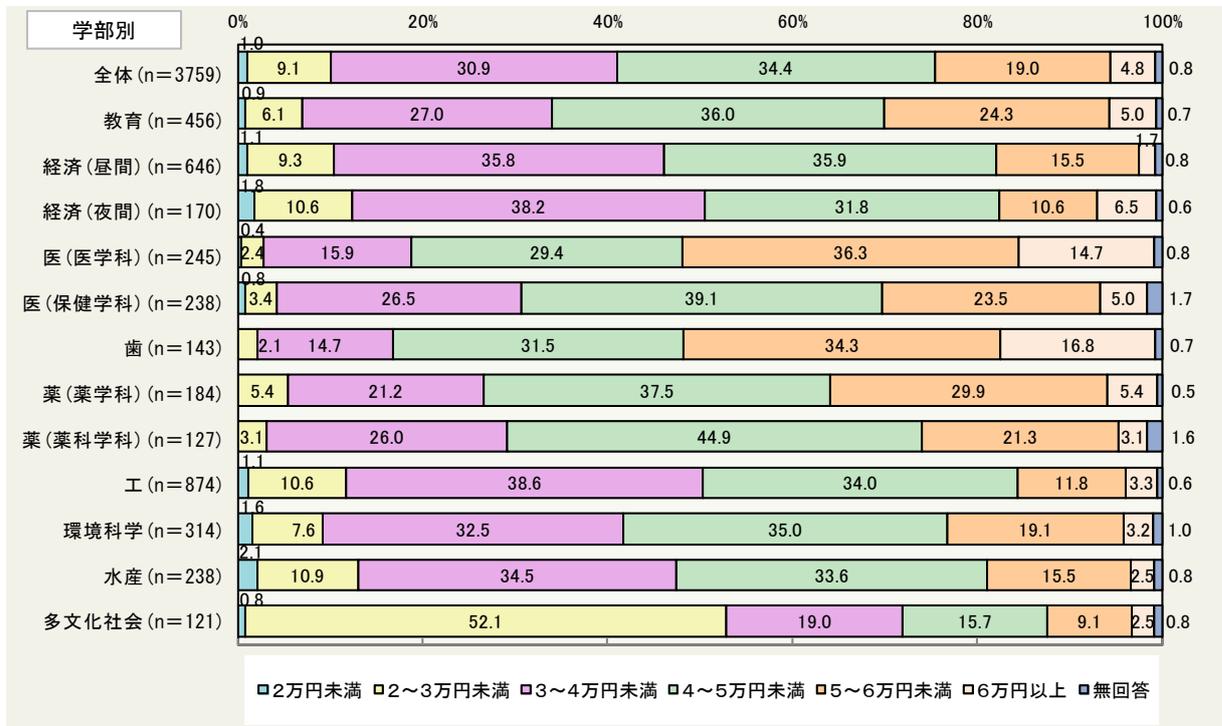


Q7. 【前問で自宅以外と答えた方】家賃は？

Q6で自宅以外と回答した中で、現在の住まいの家賃についての回答は、「4~5万円未満」が34.4%と最も高く、続いて「3~4万円未満」(30.9%)となりました。性別で比較すると、女性は男性に比べて特に5万円以上の回答が多くなっています。

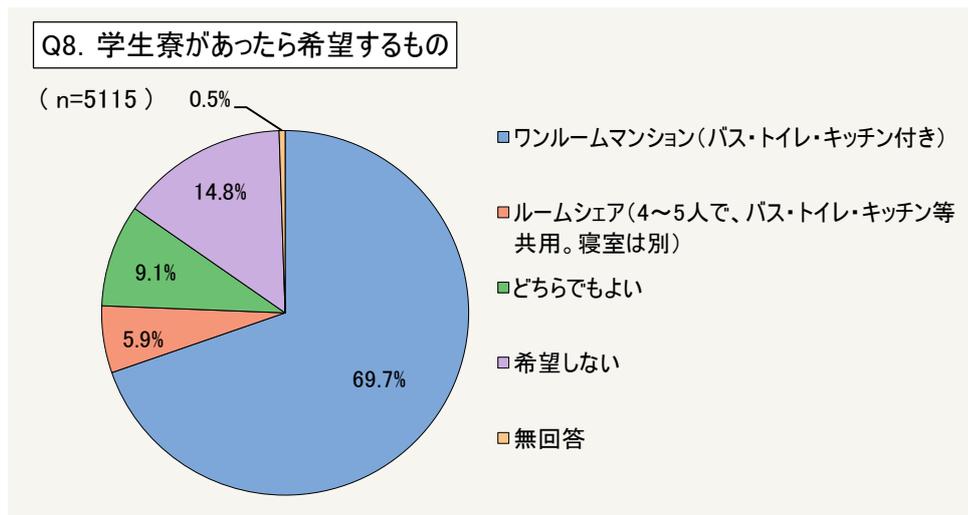


学部別でみると「4万円未満」が多いのは、「経済学部」、「工学部」、「水産学部」、「多文化社会学部」でした。「多文化社会学部」は1年生が全員学生寮に入るためです。5万円以上が多いのは「医学部（医学科）」と「歯学部」でした。



Q8. 長崎大学の近くに次のような本学の「学生寮」があったらどれを希望しますか？

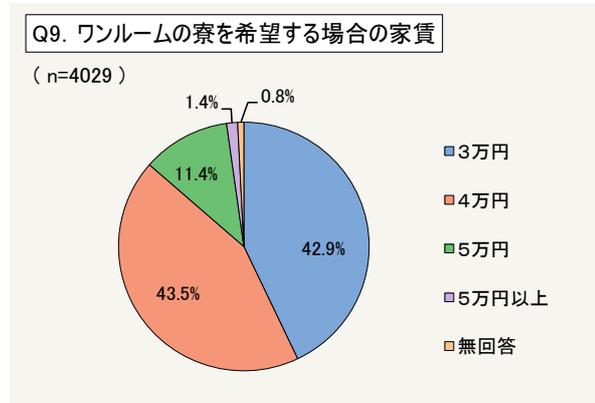
学生寮があった場合、「ワンルームマンション（バス・トイレ・キッチン付き）」を希望する学生が最も多く、前回（69.7%）と同じ結果でした。一方、「希望しない」と回答した学生は14.8%となりました。



Q9. 【前問で1又は3と答えた方】

ワンルームの寮の家賃はいくらまでなら入居を希望しますか？(水道光熱費別)

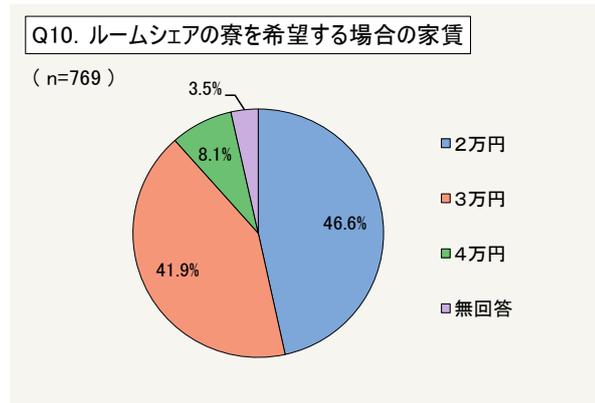
Q8において、「ワンルームマンション」または「どちらでもよい」と回答した学生の中で、ワンルームの寮を希望する場合いくらまでなら入居を希望するのか調べたところ、「3万円」までは42.9%、「4万円」までは43.5%となりました。前回とほぼ同じでした。



Q10. 【Q8で2又は3と答えた方】

ルームシェアの家賃はいくらまでなら入居を希望しますか？(水道光熱費別)

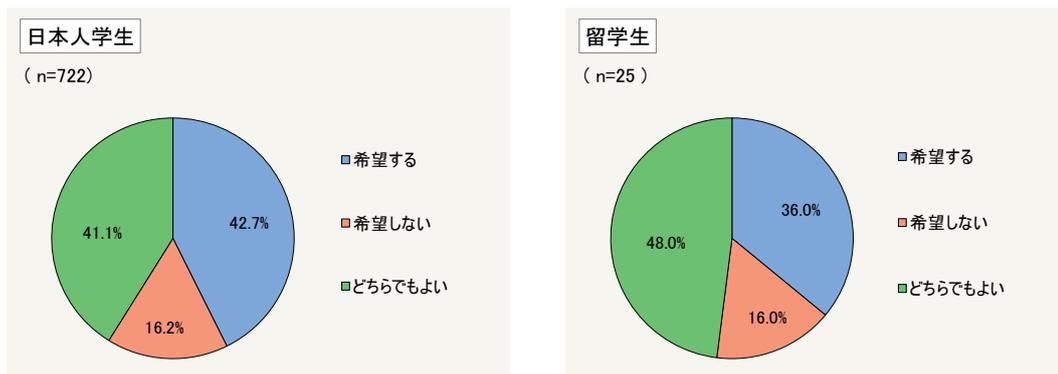
Q8において、「ルームシェア」または「どちらでもよい」と回答した学生がルームシェアの寮を希望する場合、いくらまでなら入居を希望するのかについては、「2万円」までが46.6%、「3万円」までが41.9%となりました。



Q11. 【Q8で2又は3と答えた方】

ルームシェアの寮で日本人と留学生が同居する場合、入居を希望しますか？

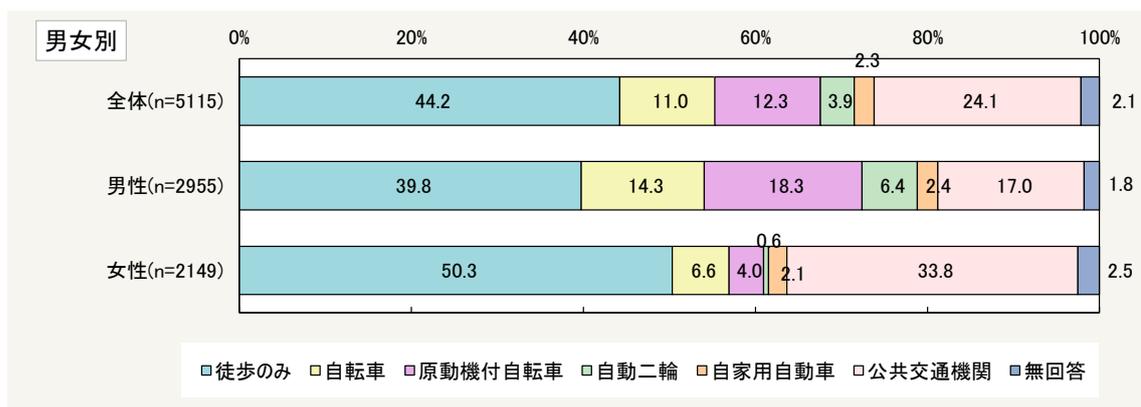
Q8において、「ルームシェア」または「どちらでもよい」と回答した学生がルームシェアの寮を希望する場合、日本人と留学生が同居でも入居を希望する日本人学生は42.7%、希望しない学生は16.2%となりました。一方、留学生の場合は回答数が少ないながらも、36.0%が入居を希望し、希望しない学生は16.0%となりました。



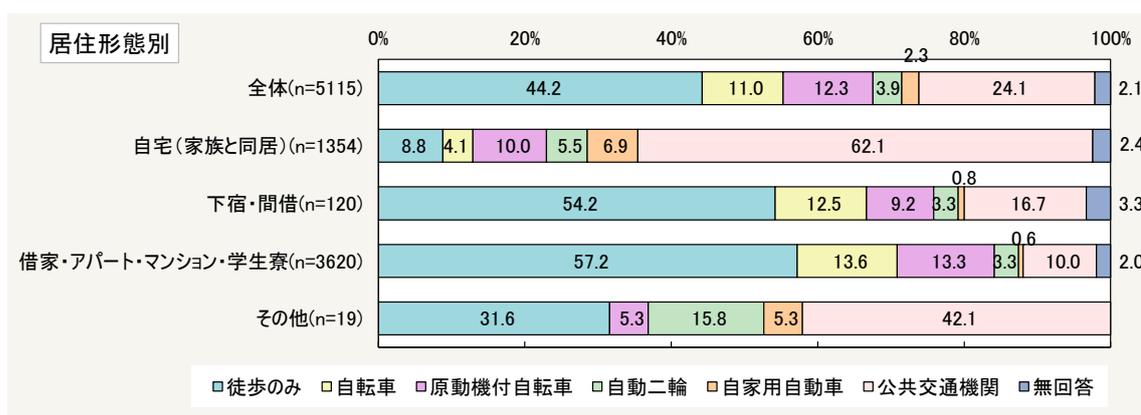
※ただし、日本人学生及び留学生のうち、無回答者22名を除く。

Q12. 主な通学方法は？

通学手段について「徒歩のみ」が44.2%と最も高く、「公共交通機関」24.1%、「原動機付自転車」12.3%、「自転車」11.0%、「自動二輪」3.9%となりました。前回と比較すると「徒歩のみ」が増加し、「原動機付自転車」が減少しました。男女別でみると、男子学生は高い順に「徒歩のみ」39.8%、「原動機付自転車」18.3%、「公共交通機関」17.0%となります。前回の調査より「徒歩のみ」が増加し、「原動機付自転車」が減少しています。一方、女子学生は「徒歩のみ」が50.3%、続いて「公共交通機関」が33.8%と男子学生に比べて顕著に高く、「原動機付自転車」(4.0%)および「自動二輪」(0.6%)は低い傾向になりました。前回の調査と比べると「徒歩のみ」が増加し、「自転車」および「原動機付自転車」で通学している女子学生の割合が減少しています。



通学手段を住居形態別にみても、「徒歩のみ」で通学しているのは「借家・アパート・マンション(家族と別居)」からの学生が最も高く57.2%を占め、続いて「下宿・間借」が54.2%となりました。「自宅(家族と同居)」の学生は「徒歩のみ」で通っている割合が8.8%と低いことがわかりました。さらに「借家・アパート・マンション(家族と別居)・学生寮」および「下宿・間借」学生(13.6%および12.5%)は「自宅」学生(4.1%)に比べて「自転車」使用の通学率が高い傾向が示されています。一方、「自宅」学生は「公共交通機関」の使用率が非常に高く、62.1%も占めています。これとは対照的に「借家・アパート・マンション(家族と別居)・学生寮」および「下宿・間借」学生の「公共交通機関」の通学使用率は少なくなっています(10.0%および16.7%)。これらの結果は前回とほぼ同様です。

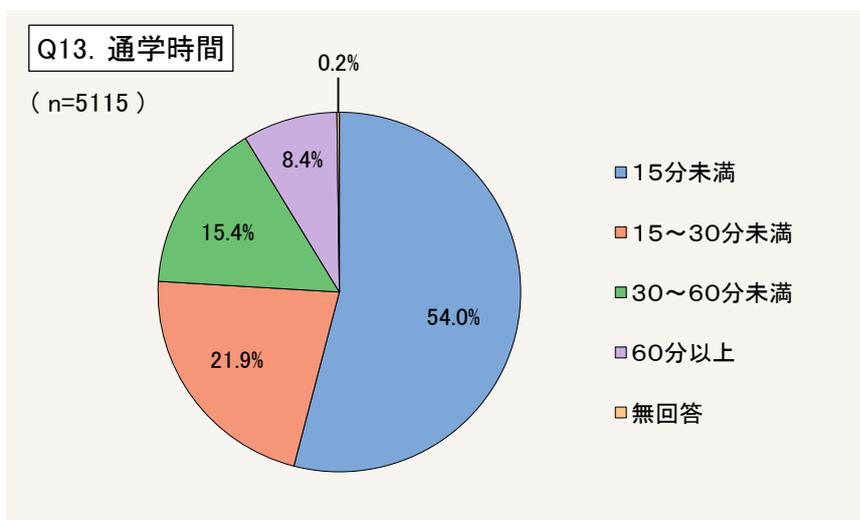


学部別でみると、多くの学部が「徒歩のみ」で通学している割合が50%前後を推移していますが、「経済学部（昼間）」「経済学部（夜間）」は「徒歩のみ」および「自転車」での通学が他学部より顕著に低く、逆に「原動機付自転車」および「公共交通機関」で通っている割合が比較的高い傾向です。「工学部」は「経済学部（昼間）」に続いて「原動機付自転車」の割合が高く（15.1%）、「自動二輪」での通学率（6.1%）は学部間で最も高い値です。「自転車」の通学率が高いのは「多文化社会学部」（20.1%）で、続いて「薬学部」が両科ともそれぞれ19.4%となっています。

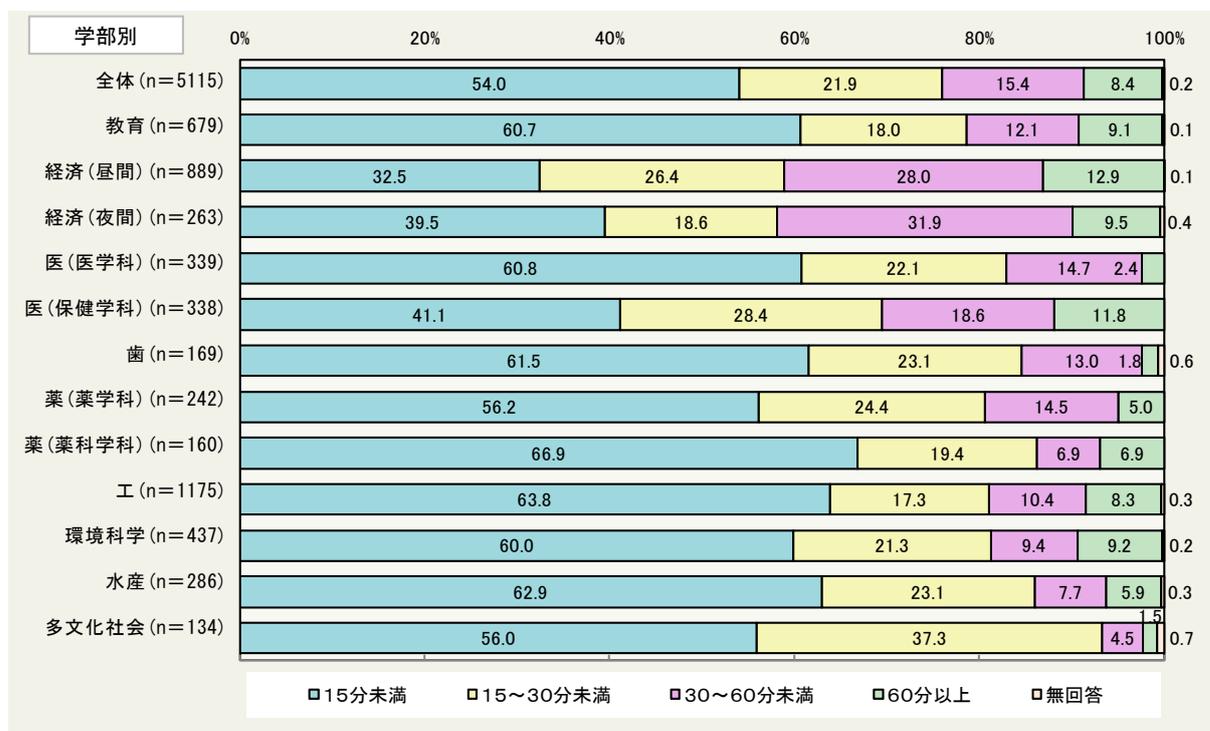


Q13. 住居から大学までの通学時間は？

住居からの通学時間をみると、「15分未満」が半数以上（54.0%）を占めており、続いて「15～30分未満」が21.9%、「30～60分未満」が15.4%となり、「60分以上」かけて通学している学生が8.4%います。

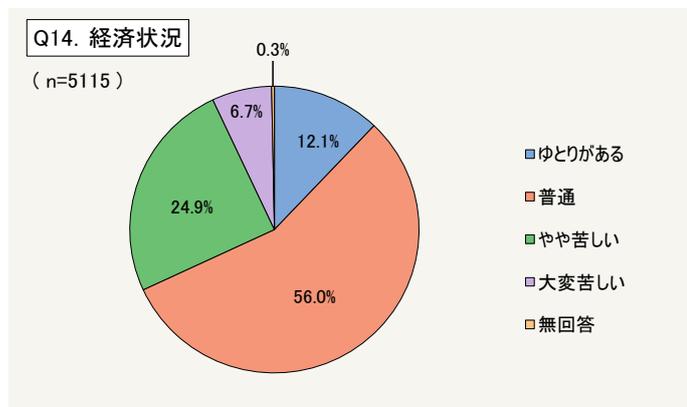


学部別でみると、「15分未満」は「薬学部（薬科学科）」が66.9%と最も高く、続いて「工学部」が63.8%、「水産学部」が62.9%となっています。その分、「薬学部（薬科学科）」、また「多文化社会学部」において30分以上通学にかけている学生割合は、13.8%および6.0%と他学部に比べて低い傾向になりました。「経済学部（昼間）」「経済学部（夜間）」および「医学部（保健学科）」は「15分未満」の割合が低く、それぞれ32.5%、39.5%、41.1%となっています。



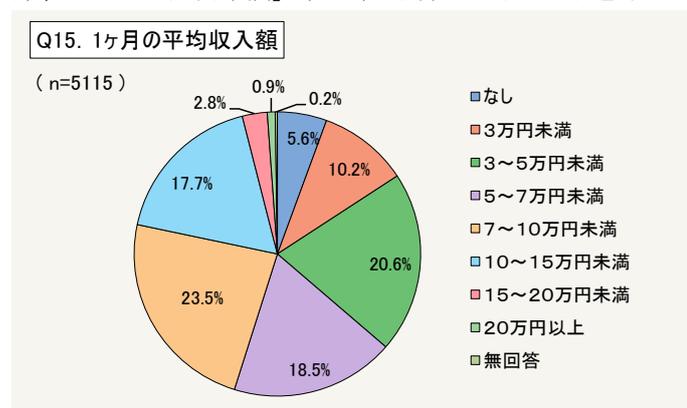
Q14. 現在の経済状況は？

「現在の経済状況」を聞いたところ、「普通」が56.0%と一番多く、次いで「やや苦しい」24.9%、「ゆとりがある」12.1%、「大変苦しい」6.7%と続き、何らかの経済的困難を感じている学生が全体の3割程度いるという結果となりました。



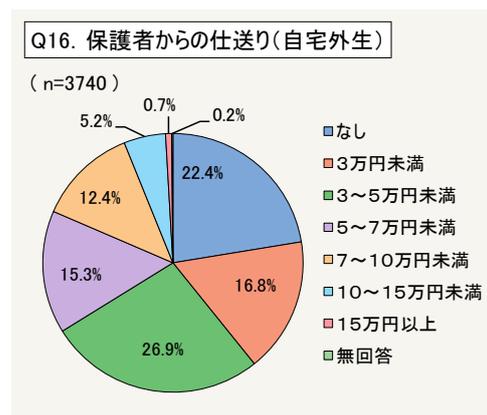
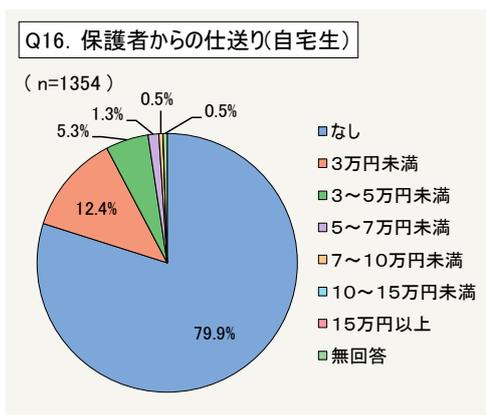
Q15. あなたの1ヶ月の平均収入額(仕送り、奨学金、アルバイトを含む)はどれくらいですか？

親からの仕送りなどを含めた「1ヶ月の平均収入額」を聞いたところ、割合が高い順に「3～5万円未満」(20.6%)、「7～10万円未満」(23.5%)となり、これらの収入がある学生が、それぞれ2割以上いました。次いで「5～7万円未満」が18.5%という結果となりました。「3万円未満」(10.2%)と「なし」を合わせると15.8%となり、3万円未満の収入しかない学生は1割強と前回(18.4%)より少なくなっています。一方、高額収入を得ている学生は「10～15万円未満」(17.7%)、「15～20万円未満」(2.8%)を合わせると20%近くいました。



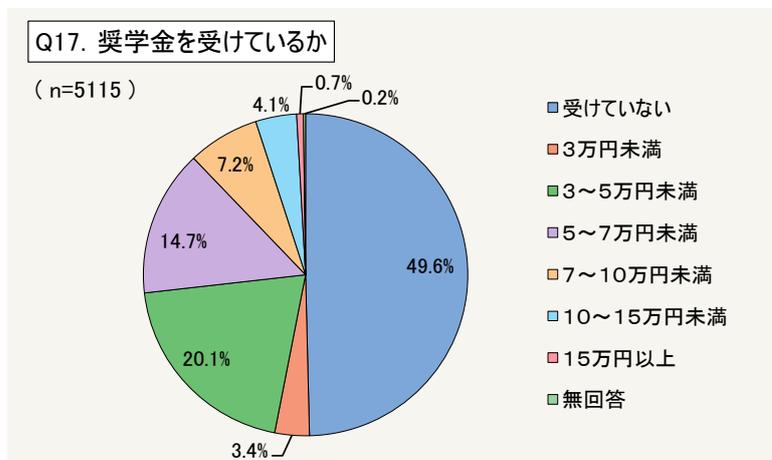
Q16. 保護者からの仕送りは？(月額)

保護者からの仕送り(おこづかい)を自宅生と自宅外生別にみると、自宅生は19.6%、自宅外生は77.4%が保護者からの仕送り(おこづかい)を受けていることがわかりました。自宅外生でみると、「3～5万円未満」が最も高く26.9%で、仕送りを受けていない学生が22.4%いることがわかりました。

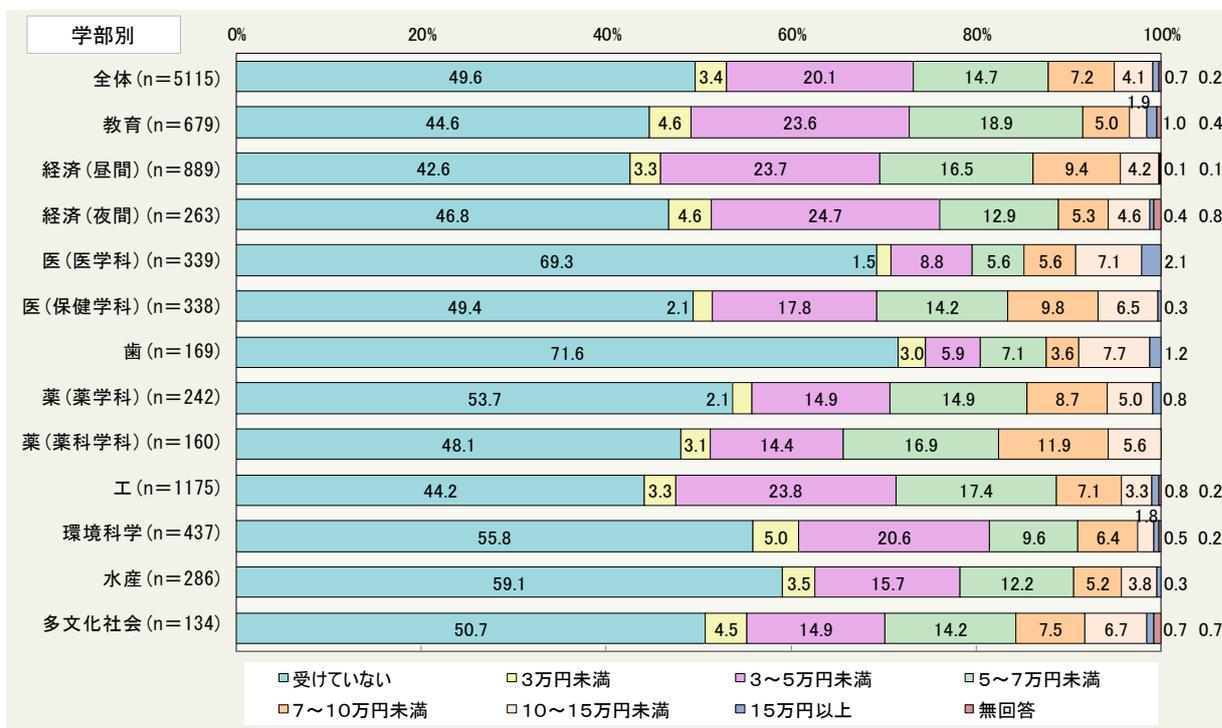


Q17. 奨学金を受けていますか？(月額)

学生全体の約半数 (50.2%) が奨学金を受けていました。奨学金の受給額は、「3万円未満」が3.4%、「3～5万円未満」が20.1%、「5～7万円未満」が14.7%でした。

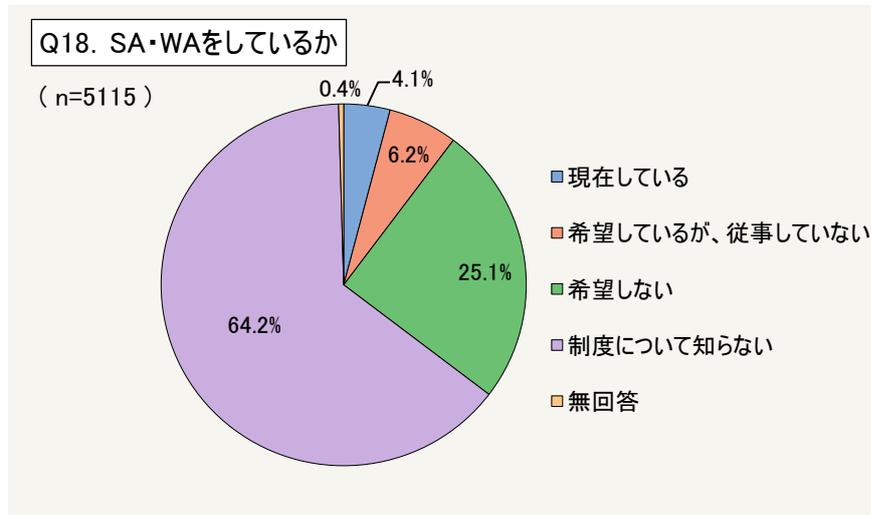


学部別の状況を見ると、「経済学部 (昼間)」と「工学部」では奨学金を受給している学生が6割程度であるのに対して、「医学部 (医学科)」と「歯学部」では約3割が奨学金を受けていることが分かります。また、大学全体では2割を占めた「3～5万円未満」の奨学金を受けている学生が、「医学部 (医学科)」と「歯学部」では、1割未満であることも明らかになりました。



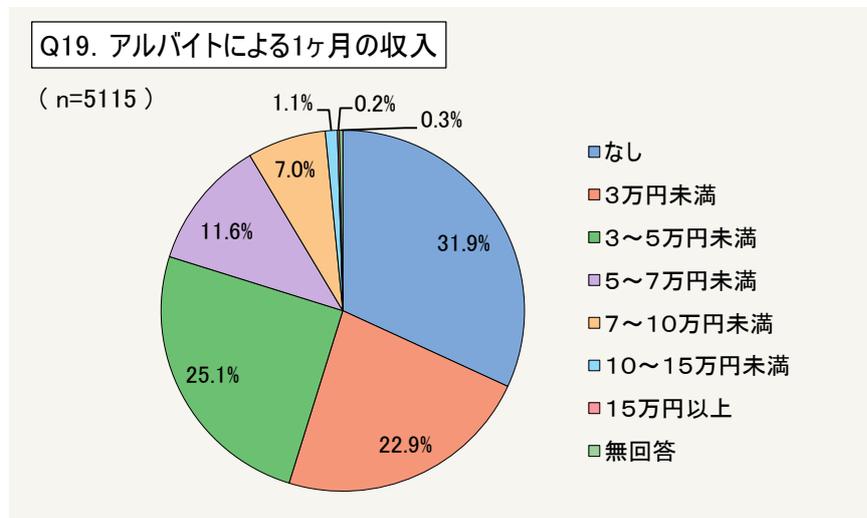
Q18. SA(スチューデント・アシスタント)・WA(ワークスタディ・アシスタント)をしていますか？

「現在している」4.1%、「希望しているが、従事していない」6.2%、「希望しない」25.1%と徐々に割合が増え、「制度について知らない」(64.2%)という学生が全体の6割以上を占める結果となっています。



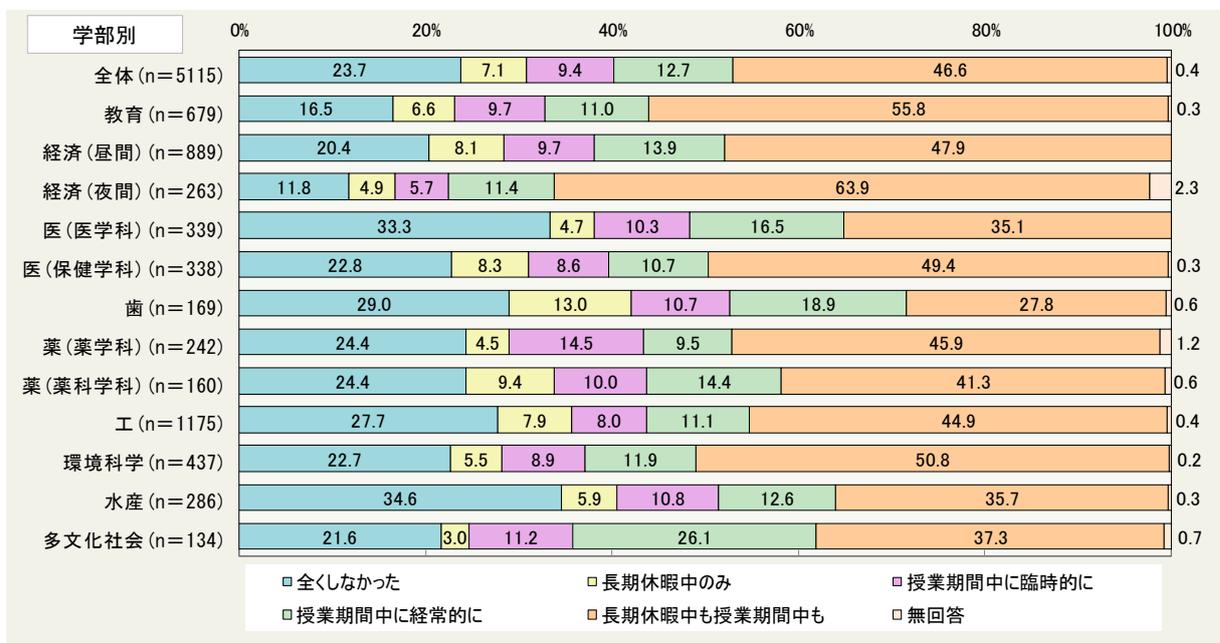
Q19. アルバイトによる1ヶ月平均の収入はいくらですか？

アルバイトによる1ヶ月平均の収入は、「なし」が31.9%と一番高く、続いて「3~5万円未満」が25.1%となりました。



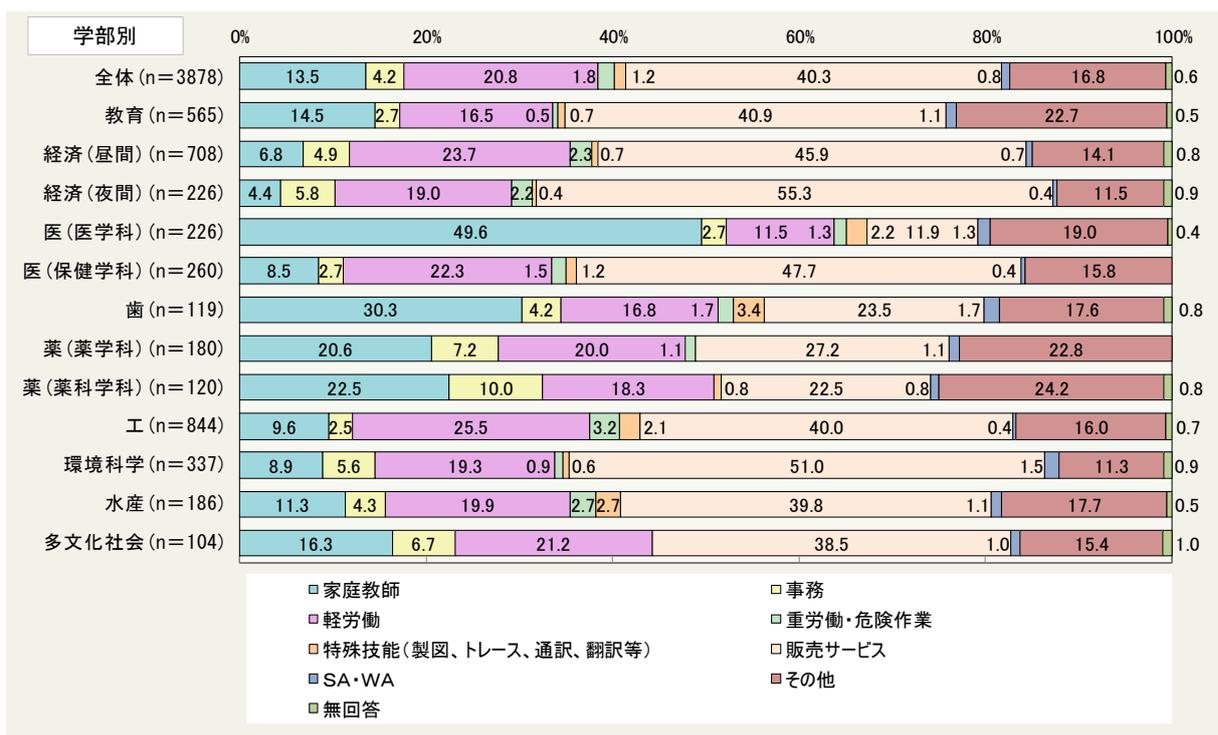
Q20. アルバイトについて[今年4月～現在]

アルバイトに関しては、「全くしなかった」が23.7%、「長期休暇中も授業期間中もした」が46.6%でした。前回はそれぞれ21.1%、47.5%だったので、その傾向に変化はありません。学部別にみると、「医学部（医学科）」、「水産学部」の「全くしなかった」がそれぞれ、33.3%、34.6%と高く、逆に「経済学部（夜間）」、「教育学部」の「長期休暇中も授業期間中もした」がそれぞれ63.9%、55.8%と高いという結果でした。



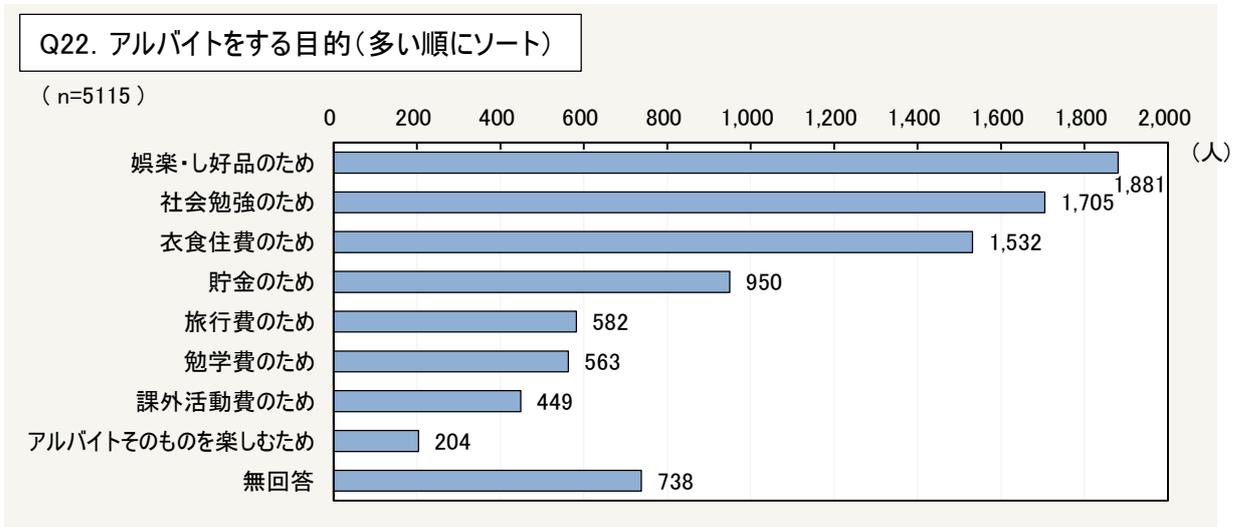
Q21. 【前問で「2～5」と答えた方】アルバイトの主な職種は？

全体では、「販売サービス」が最も高く40.3%、「医学部（医学科）」、「歯学部」では「家庭教師」が高いという結果でした。



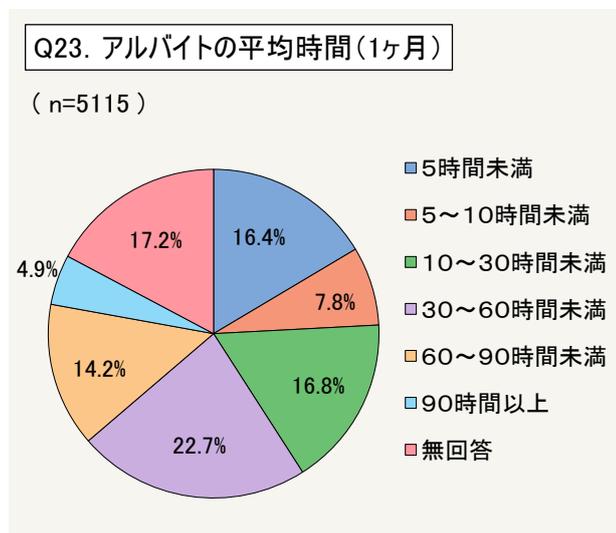
Q22. アルバイトをする目的は何ですか？【主なもの2つまで回答可】

アルバイトの目的は、多い順に「娯楽・し好品のため」1881名（36.8%）、「社会勉強のため」1705名（33.3%）、「衣食住費のため」1532名（30.0%）でした。



Q23. 1ヶ月平均何時間くらいアルバイトをしていますか？〔夏休み等授業のない月を除く〕

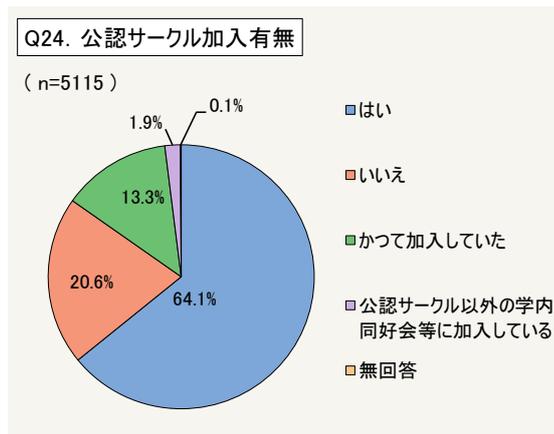
1ヶ月平均のアルバイト時間は、「30～60 時間未満」が最も高く 22.7%で、「10～30 時間未満」16.8%、「5 時間未満」16.4%と続きました。前回の結果では、それぞれ 22.4%、17.6%、15.4%だったため、その傾向に大きな変化は見られません。



Ⅲ. 課外活動について

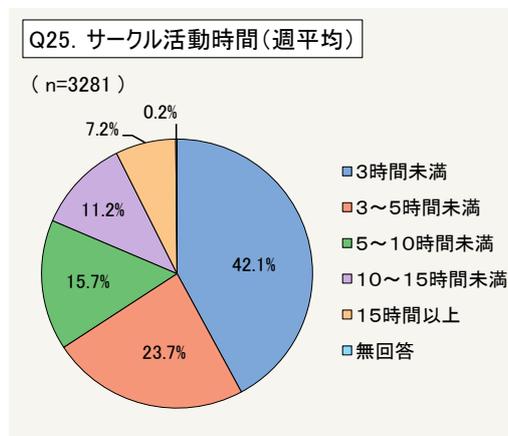
Q24. 全学又は学部の公認サークルに加入していますか？

全学又は学部の公認サークルへの加入状況は、「現在加入している」(64.1%) 学生と「かつて加入していた」(13.3%) 学生を合わせると 77.4%の学生が公認サークルの経験者です。これは前回とほぼ同様の結果です。



Q25. 週平均のサークル活動(時間)は？

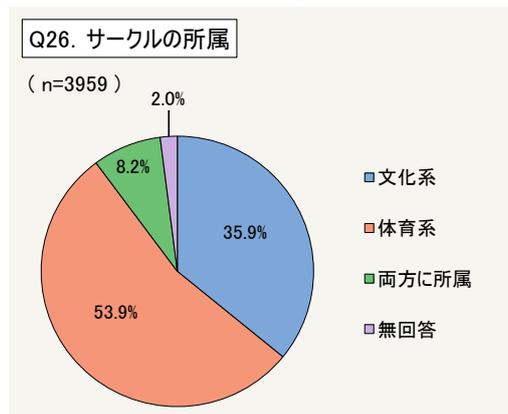
1週間あたりの活動時間は、「3時間未満」(42.1%) と「3～5時間未満」(23.7%) で、合わせて 65.8%でした。他方、「5～10時間未満」、「10～15時間未満」および「15時間以上」の比較的最長い学生の割合は、合わせて 34.1%となり、前回の 38.2%から減少し、活動時間が比較的短くなっている傾向にあります。



Q26. 【Q24で「はい」又は「かつて加入していた」と答えた方は設問26～28を回答してください】

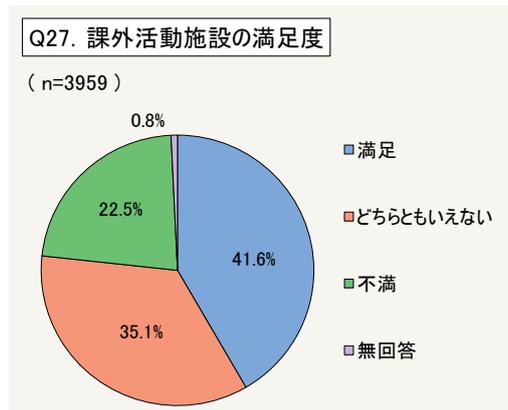
どれに所属していますか(いましたか)？

ジャンル別では「文系」(35.9%)、「体育系」(53.9%)、「両方に所属」(8.2%) となり、前回調査と比べてもほぼ同様の結果となりました。



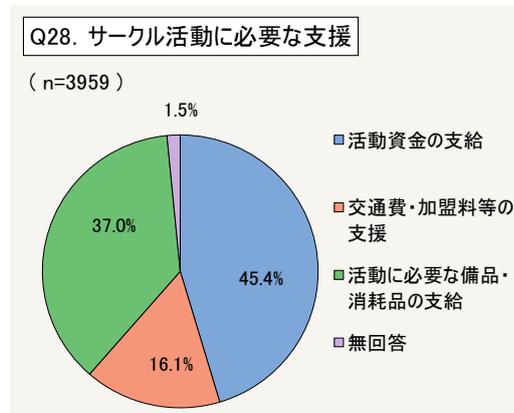
Q27. 課外活動施設(サークル施設等)の満足度は？

課外活動施設に関する満足度では、「満足」が 41.6%となり、前回の「満足」(46.7%) と比べ割合が少し減少しました。「どちらともいえない」は 28.8%から 35.1%と増加しています。「不満」「どちらともいえない」を合わせると 57.6%となることから、半数以上の学生が何らかの不満を持っていることが分かります。



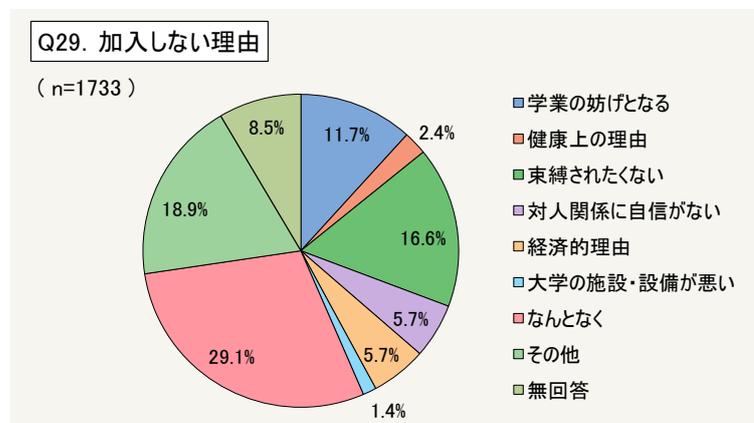
Q28. サークル活動にどのような支援が必要ですか？

サークル活動に必要な支援として、「活動資金の支給」が最も高く 45.4%となりました。前回最も高かった「活動に必要な備品・消耗品の支給」は 37.0%となり、入れ替わりました（前回それぞれ 29%と 44%）。「交通費・加盟料等の支援」（16.1%）は、前回とほぼ同様の結果となりました。



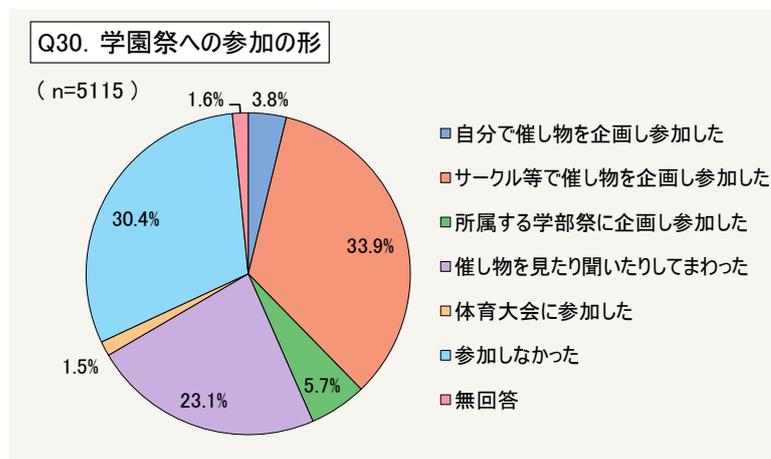
Q29. 【Q24で「いいえ」又は「かつて加入していた」と答えた方】加入しない理由は？

公認サークルに加入していない理由や、公認サークルを止めた理由は、「なんとなく」といった漠然とした理由が最も多く 29.1%です。次いで、「束縛されたくない」（16.6%）、「学業の妨げとなる」（11.7%）、「経済的理由」「対人関係に自信がない」がともに（5.7%）といった理由があげられています。



Q30. 昨年の学園祭にはどのような形で参加しましたか？（1年生は今年の手定で）

学園祭への参加形態は、「自分で催し物を企画し参加した」（3.8%）、「サークル等で催し物を企画し参加した」（33.9%）、「所属する学部祭に企画し参加した」（5.7%）、「催し物を見たり聞いたりしてまわった」（23.1%）となっています。前回最も高かった「参加しなかった」が33.1%から30.4%と減少傾向にあり、何らかの形で参加するようになっていることがわかります。男女では大きな差はありませんでした。

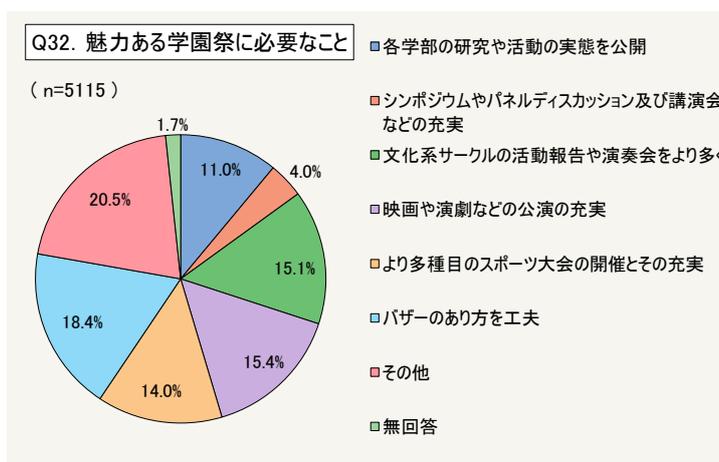
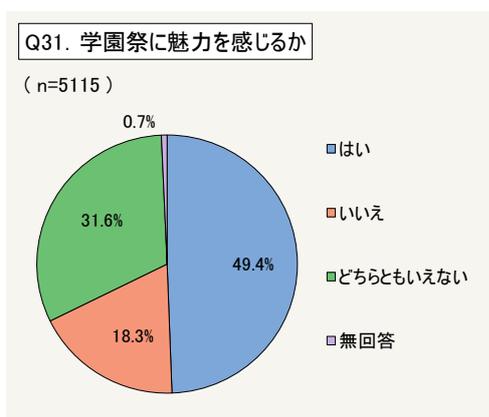


Q31. 学園祭に魅力を感じますか？

Q32. 魅力ある学園祭にするためには、どのようなことが必要だと思いますか？

学園祭に魅力を「感じる」は49.4%となり、前回の「感じる」（46.3%）に比べ増加しました。また、「感じない」は18.3%で、前回の「感じない」（22.5%）に比べ減少したため、今回のほうが魅力的に感じた学生が多くなりました。学園祭に魅力を「感じる」学生の割合が増加している傾向は、「参加しなかった」学生の減少からみても良い傾向にあります。

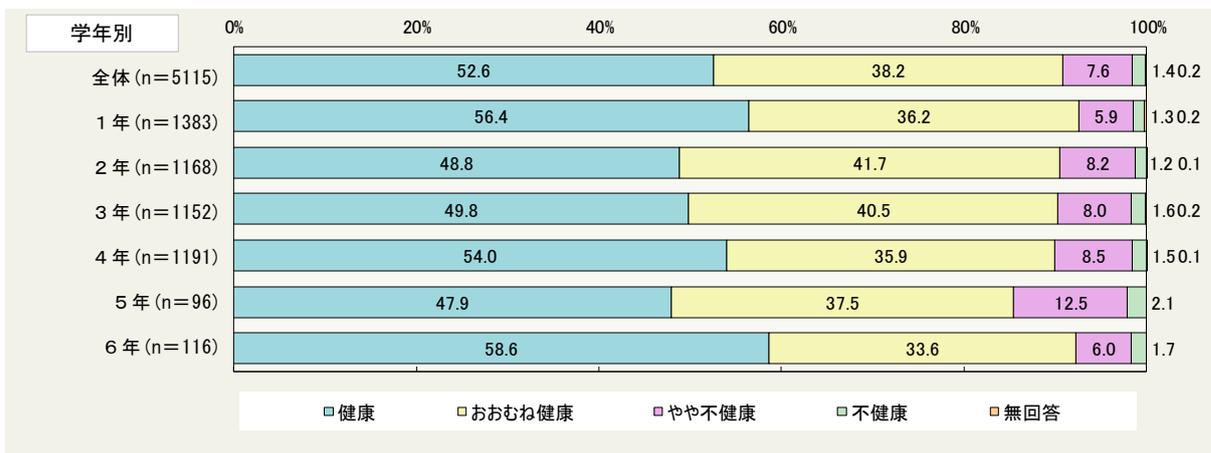
なお、学園祭を魅力的にする企画としては、「バザーのあり方を工夫する」（18.4%）が最も高く、「映画や演劇などの公演の充実」（15.4%）、「文化系サークルの活動報告や演奏会をより多く」（15.1%）などが続きます。



IV. 健康について

Q33. 現在の健康状態は？

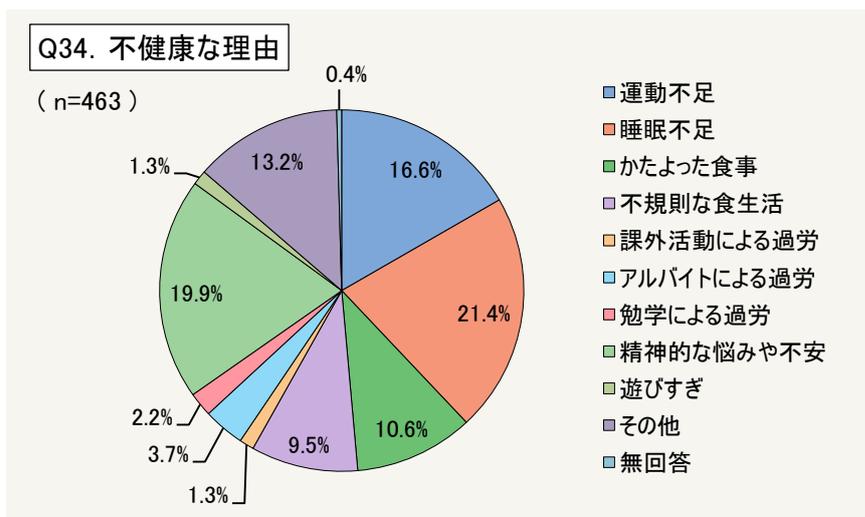
現在の健康状態について、「不健康」もしくは「やや不健康」と答えた学生は合計9.0%で、前回調査時（10.3%）より若干低くなっています。「おおむね健康」は前回38.6%で、今回38.2%とほぼ同じ程度なのに対し、「健康」は前回の50.9%から52.6%とやや増加しています。学年別に見ると、「健康」もしくは「おおむね健康」と答えた学生の割合が一番高かったのは、「1年生」でした。なお、男女間に差はありませんでした。



Q34. 【前問で「やや不健康」又は「不健康」と答えた方】

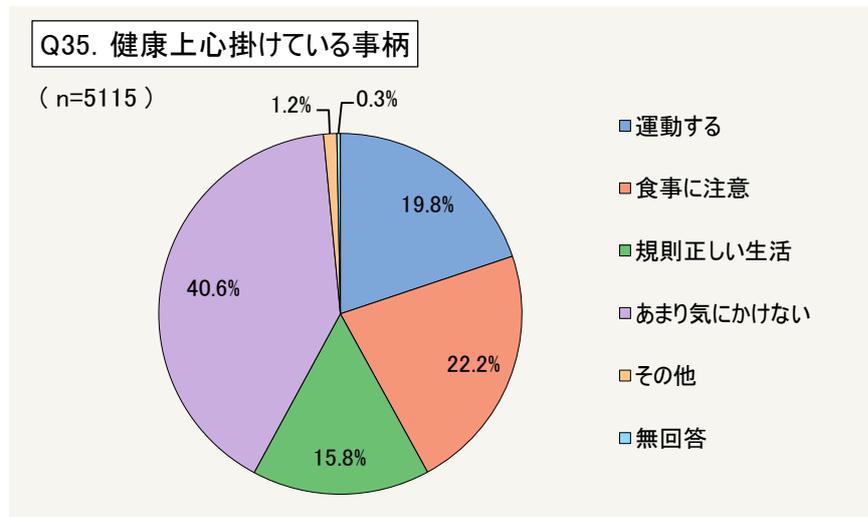
その主な理由は？

「不健康」もしくは「やや不健康」と考える理由は、「睡眠不足」(21.4%)が最も高く、不適切な食生活（「かたよった食事」と「不規則な食生活」）(20.1%)、「精神的な悩みや不安」(19.9%)、ついで「運動不足」(16.6%)となりました。「精神的な悩みや不安」が前回(21.8%)から若干減少した一方で、「睡眠不足」(前回20.1%)、「運動不足」(前回12.8%)、「かたよった食事」(前回8.5%)が増加していました。



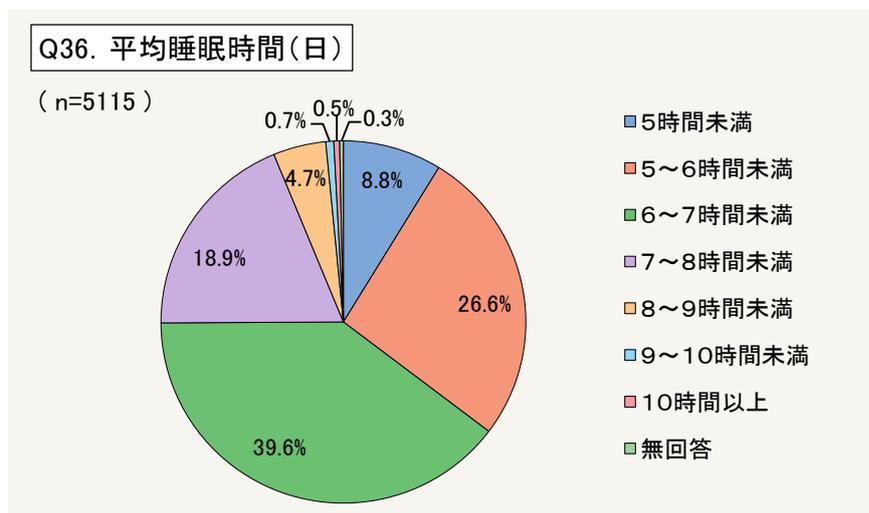
Q35. 日頃、健康上心掛けている事柄は？

健康への心掛けについては、多い順に「食事に注意する」22.2%、「運動をする」19.8%、「規則正しい生活」15.8%となっており、前回と比べてほとんど変化はなく、また、Q34「不健康の理由」と一致していました。



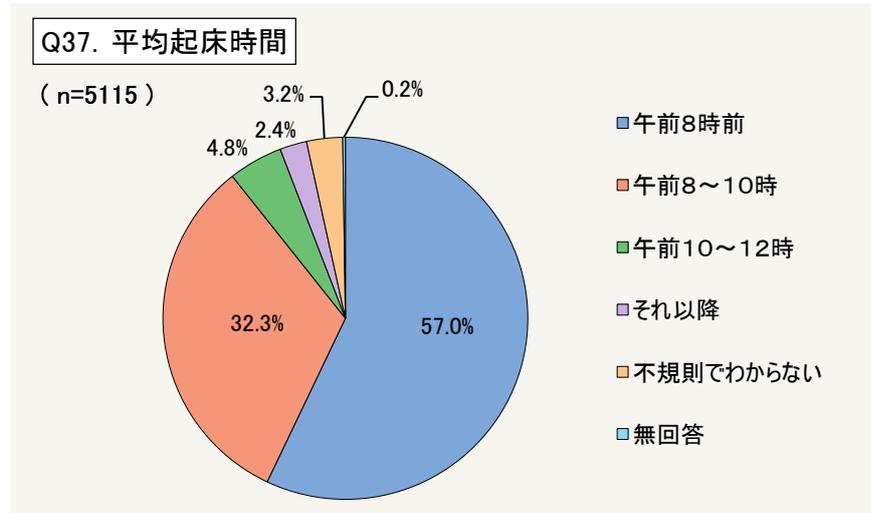
Q36. 1日の平均睡眠時間は？

睡眠時間は「5時間未満」が前回の11.9%からさらに減少し、今回8.8%となりました。「6～7時間未満」が前回の36.4%から増加し、今回39.6%となり、全体で見ても6時間以上の睡眠をとれている学生の割合が、前回58.9%から今回64.3%へ大幅に増加していることがわかります。それにもかかわらず、「睡眠不足」は「不健康」もしくは「やや不健康」と考える最多の理由となっていました。



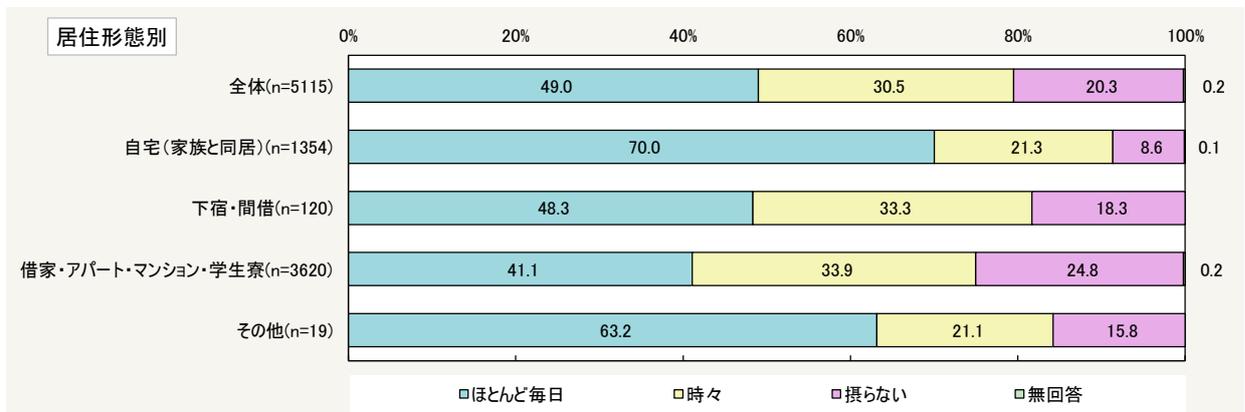
Q37. 平日平均して何時頃に起床していますか？

平日の起床時間は「午前8時前」が57.0%と半数を超えました。次の「午前8～10時」(32.3%)と合計すると、約9割の学生が10時前には起床しています。

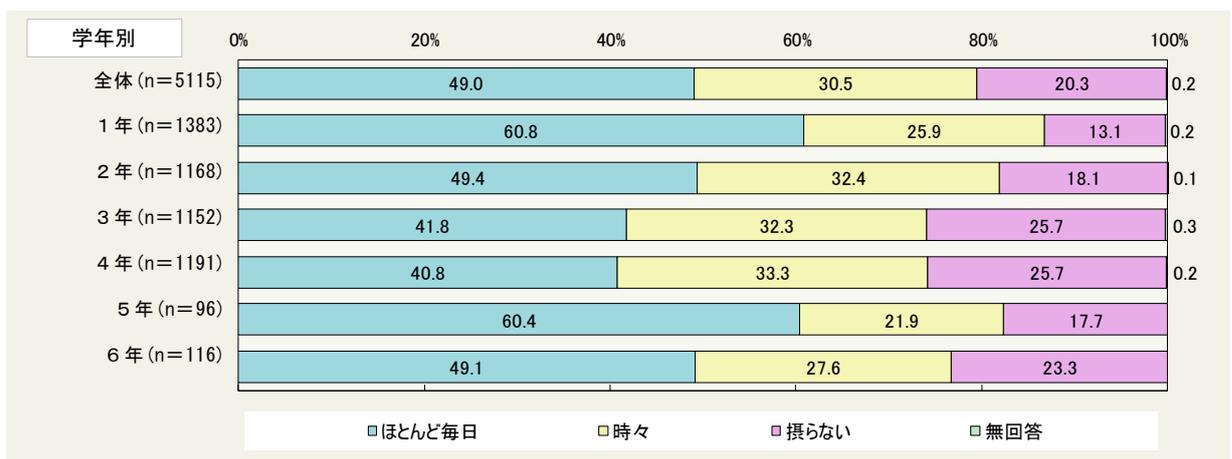


Q38. 朝食を摂っていますか？

朝食の摂取率は全体では「ほとんど毎日」が49.0%で、居住形態別でみると自宅通学生が70.0%といずれも前回よりわずかに少なくなったものの、これまでの低下傾向は鈍くなりました。「下宿・間借」が48.3%、「借家・アパート・マンション(家族と別居)・学生寮」が41.1%と前回と同様でした。



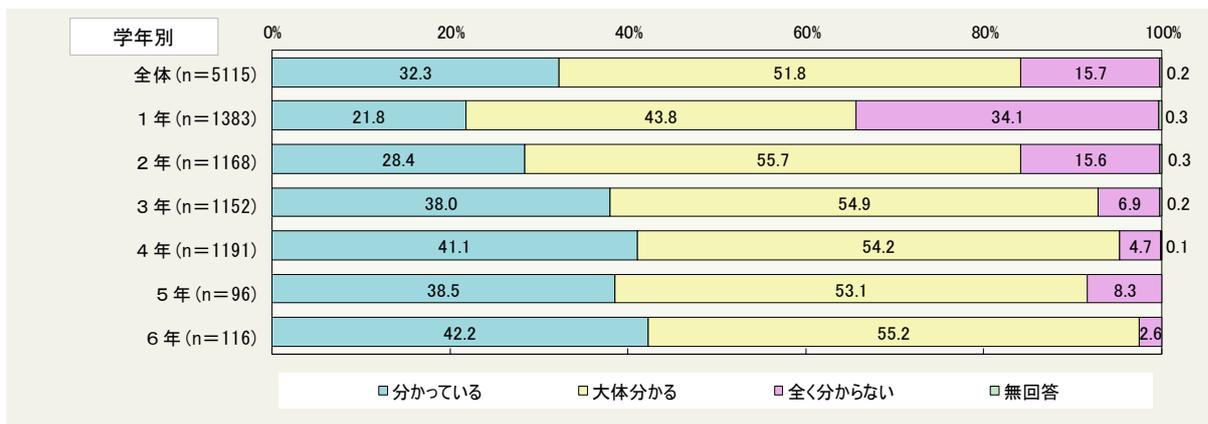
「ほとんど毎日」摂取している割合はすべての学年で前を下回っており、学年が上がるほど低下しています(「ほとんど毎日」は、1年生60.8%、2年生49.4%、3年生41.8%、4年生40.8%)。



以下の飲酒に関わる質問については、1年生のうち2割強が既に成人に達していますが、未成年の飲酒を示唆するデータが見受けられます。長崎大学では飲酒対策（注意喚起）を行っているものの、ここでは、実態調査としての真のデータを記載しています。

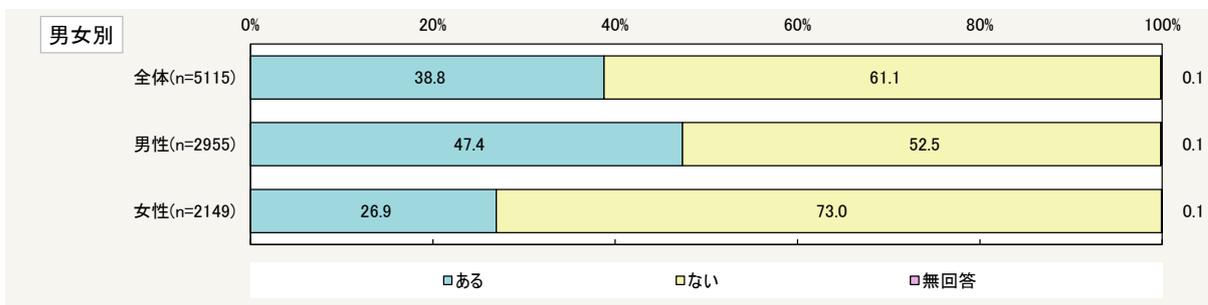
Q39. 飲酒について、自分の飲酒の適量がわかりますか？

自分の飲酒の適量は、「分かっている」と「大体分かる」をあわせて84.1%となっており、前回同様8割以上の学生が自覚しています。1年生は65.6%とそれほど高くありませんが、学年が上がるにつれて増加しています。

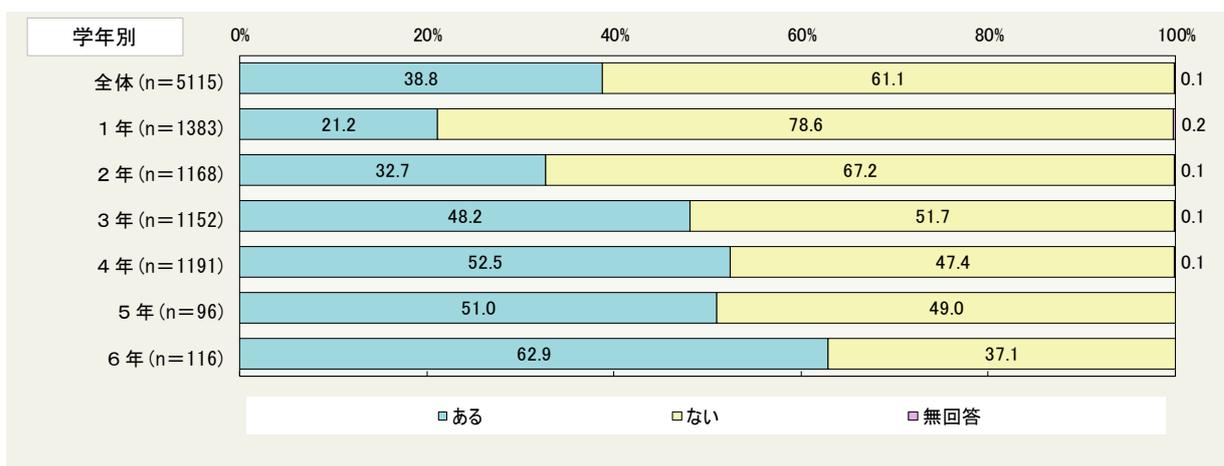


Q40. 一気飲みの経験は？

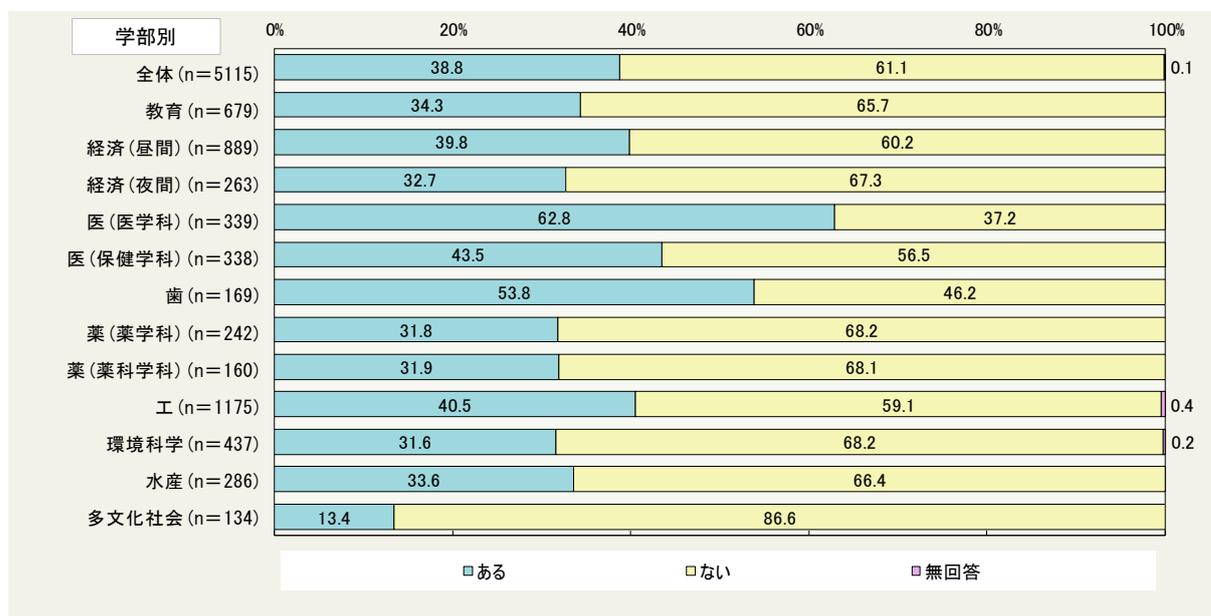
一気飲みの経験については、全体で38.8%と、前回(52.5%)と比較して大幅に減少し、男女別で見ると男子で47.4%、女子で26.9%となっており、前回(男女それぞれ62.4%、38.7%)同様、男性の方が多い状況ですが、それでも50%を下回っています。



一気飲みの経験を学年別で見ると、すべての学年で前回は下回っていましたが、「適量が分かっている」は、上の学年ほど一気飲みを経験する率が高くなっています。前回1年生だった今回の4年生は、1年時の30.5%から今回52.5%と3年間で1.5倍以上に増加していました。

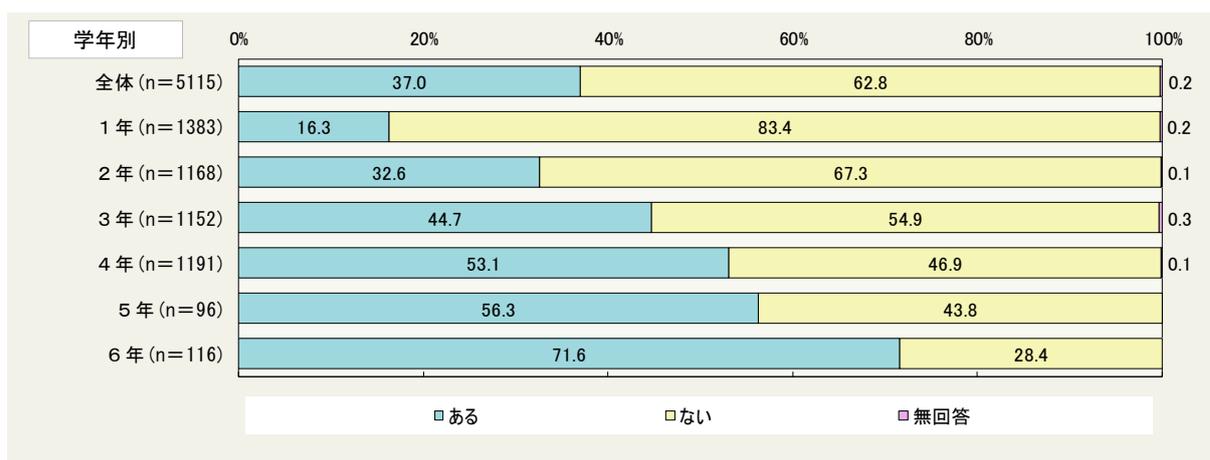


学部別でみると、前回同様最も多かった医学部（医学科、62.8%）は、前回（70.7%）よりは減少。次に多かった歯学部（53.8%）も同様に前回（62.5%）から減少し、全体的に一気飲みの経験をしなくなっている傾向がうかがえます。



Q41. 泥酔した経験は？

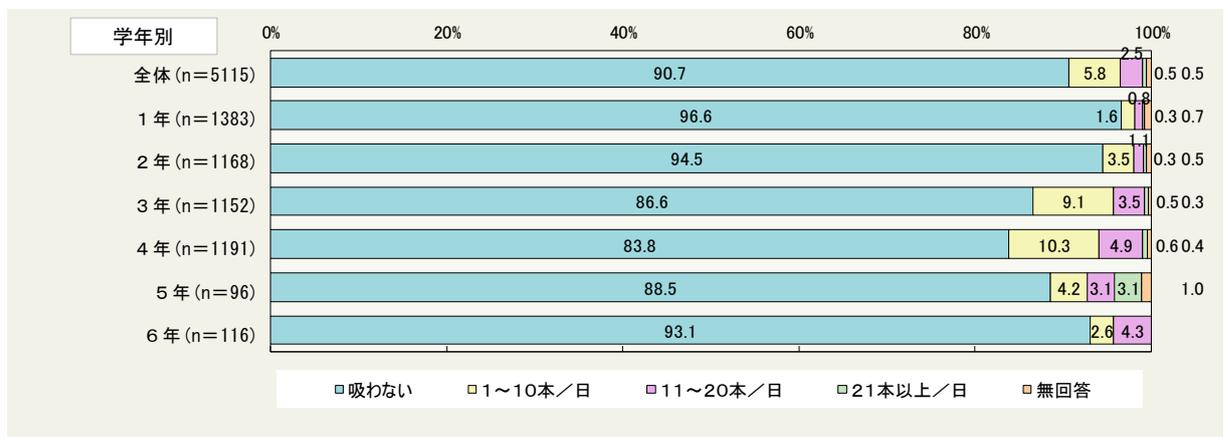
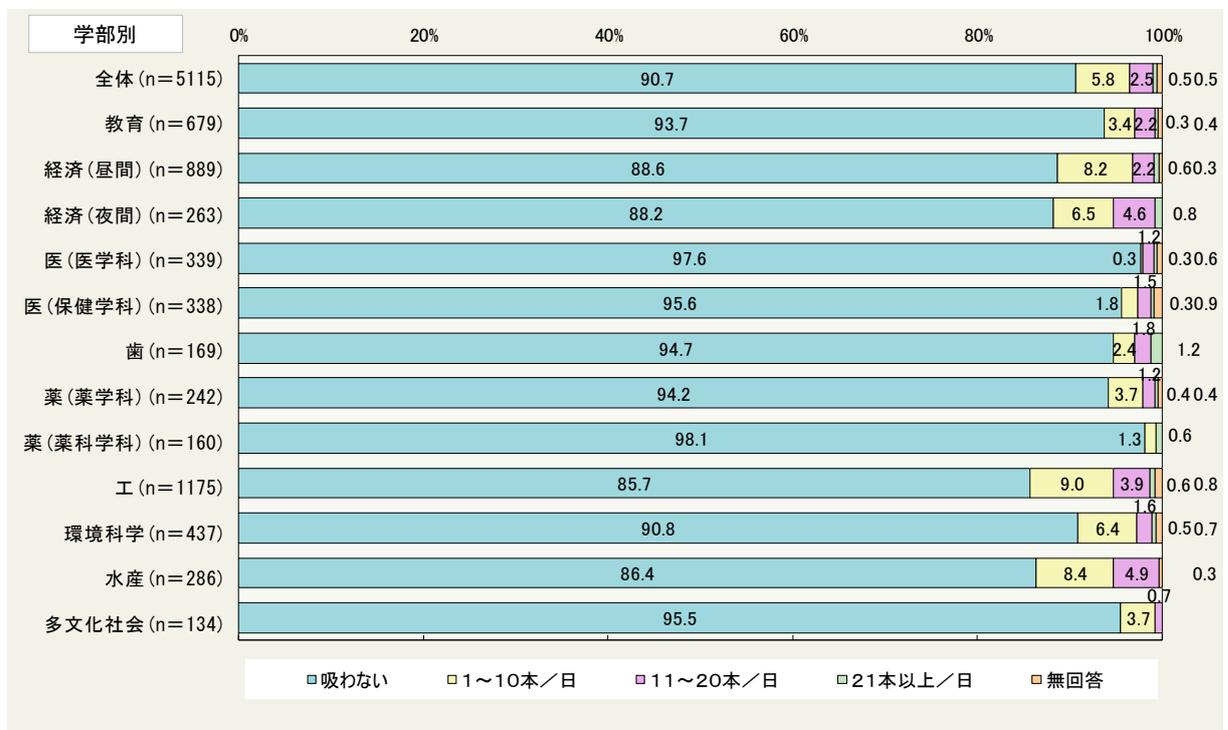
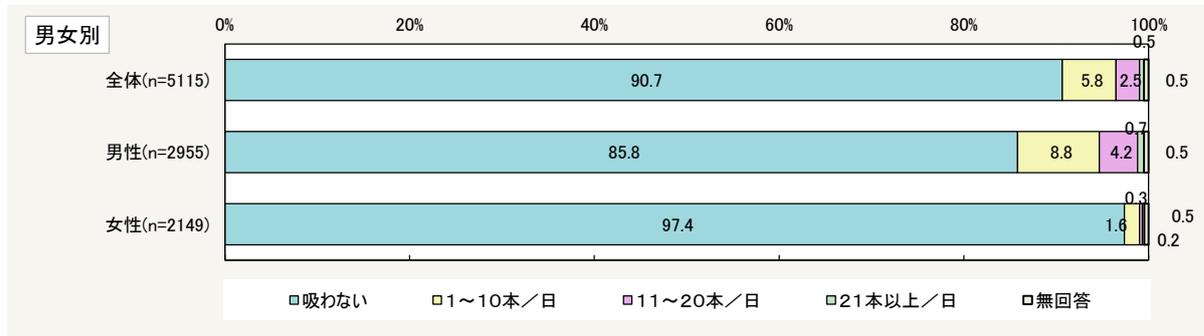
泥酔した経験は、前回の4割強（44.3%）と比較して、今回は（37.0%）と減少しています。また、学年別で見ると、一气飲みの経験と同じく、すべての学年で前回を下回っていましたが、学年が上がるほど泥酔を経験する率が高くなっています。前回1年生だった今回の4年生は、1年時の22.8%から53.1%と3年間で2倍以上に増加していました。



以上の飲酒に関する結果を受け、大学として、未成年の飲酒に対して新入生オリエンテーションなどで更なる注意喚起が必要であり、一气飲みや泥酔の経験が学年が上がるにつれて増えている状況については、何らかの対策が必要であると言えます。

Q42. たばこを吸いますか？

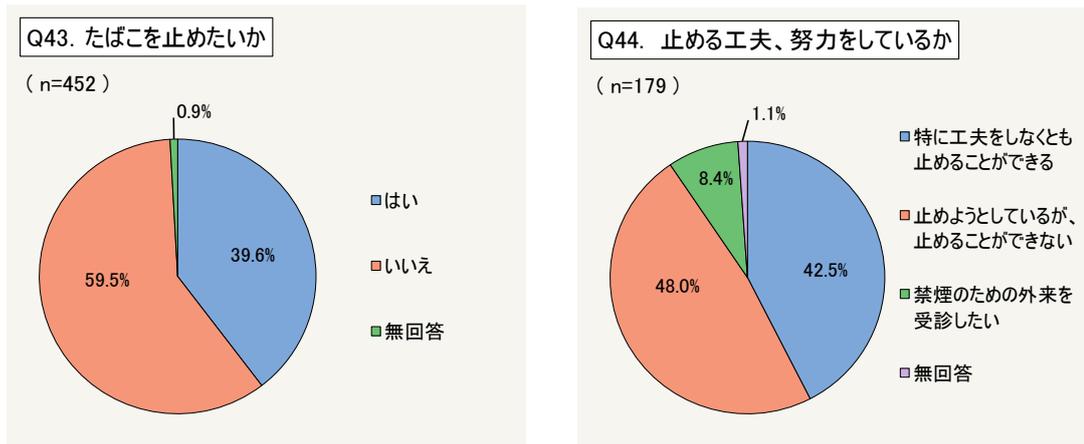
喫煙については、タバコを吸う学生が前回の 10.9%に対して、今回合計 8.8%と減少しています。すべての学部で減少していますが、前回同様、工学部が最多でした。学年別では、4 年生が最も喫煙が多い傾向です。



Q43. 【前問で「吸う」と答えた方】たばこを止めたいと思っていますか？

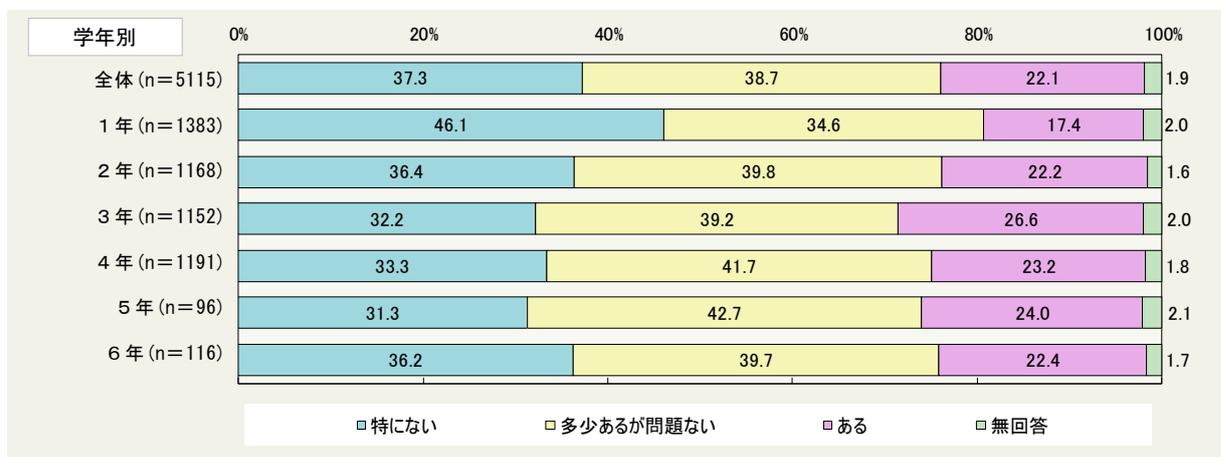
Q44. 【前問で「はい」と答えた方】止める工夫や努力をしていますか？

「止めようと思っていない」と答えた学生は、前回 54.6%だったのに対し、今回 59.5%と増加、タバコを吸う学生が減少する一方で、喫煙者は「止めようと思っていない」ことがわかります。また、喫煙を止めたいと思っている学生の半数（48.0%）が止めようとしているが止めることができないと答えています。前回1年生だった今回の4年生の喫煙率は、1年時の4.7%から15.5%と3年間で3倍以上に増加していました。「禁煙のための外来を受診したい」も割合が増加していません。まず学年が上がるに従い上がる喫煙率を食い止め、入学後新たな喫煙者を生まないような禁煙活動が求められます。



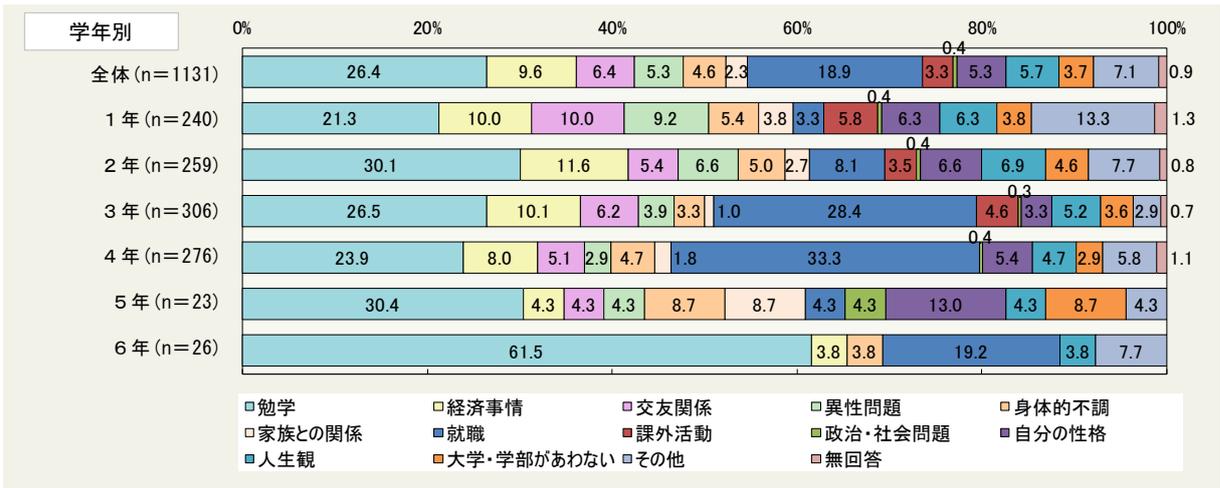
Q45. 現在悩みや不安がありますか？

「悩みや不安」が「ある」学生は、22.1%であり、前回（24.1%）からやや減少しました。



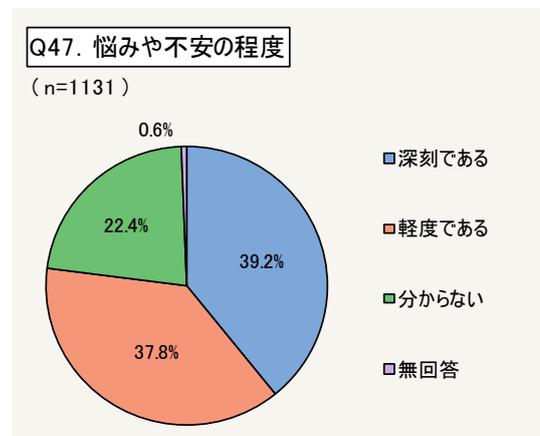
Q46. 【前問で「ある」と答えた方】悩みや不安は主にどんなことについてですか？

その内容は、「勉学」（26.4%）と「就職」（18.9%）が圧倒的に多く、前回と比較すると「勉学」が増加し「就職」がやや減少したことで、前回と順位が入れ替わりました（前回それぞれ 20.1%、22.4%）。前回、特に3年生で、「就職」が24%から35%に増えていましたが、今回28.4%と減少しました。



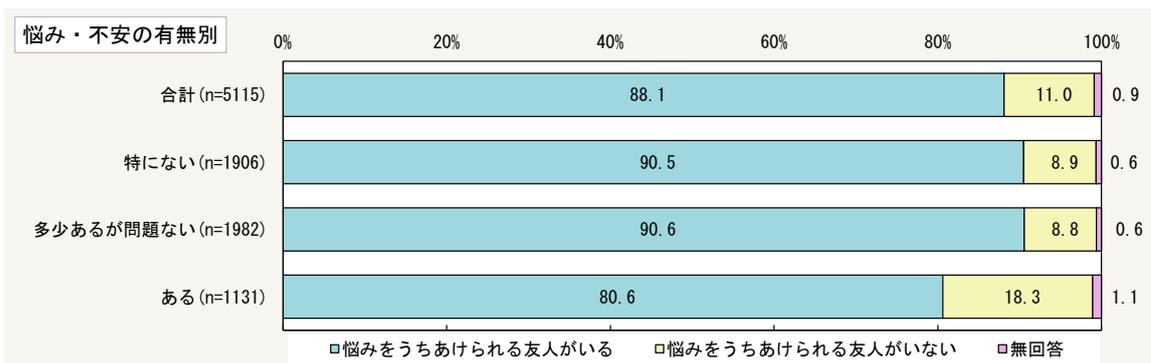
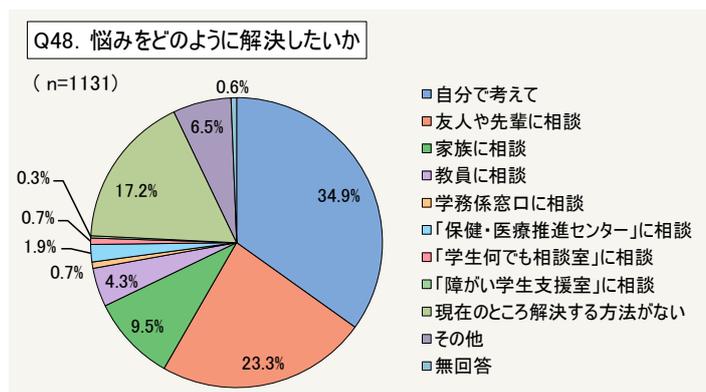
Q47. 悩みや不安の程度は？

悩みや不安がある学生の不安や悩みの程度は、「深刻である」39.2%、「軽度である」37.8%、「分からない」22.4%となっており、前回（それぞれ39%、36%、24%）とほぼ同様でした。



Q48. 今の悩みや不安を主としてどのように(解決・相談)して解消したいですか？

その解消方法は、「自分で考えて解決する」(34.9%)という人が前回(36%)よりやや減少しています。前回同様、「解決方法がない」(17.2%)と答えた学生とあわせて、50%以上の学生が適切な相談相手を見出せずにいます。また、悩みや不安のある学生は、「特にない」学生に比べて悩みをうちあけることのできる友人がいない割合が18.3%と2倍ほど高くなっていました。



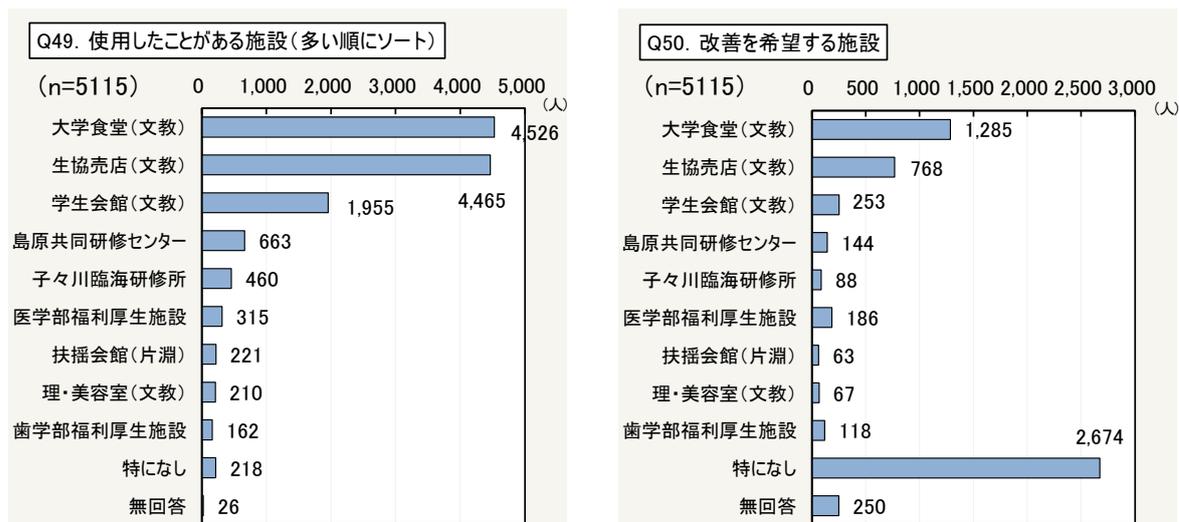
縦軸：Q45. 悩みや不安の有無 横軸：Q99. 悩みをうちあけられる友人の有無

V. 福利厚生施設について

Q49. 福利厚生施設の中で、使用したことがある施設は？【複数回答可】

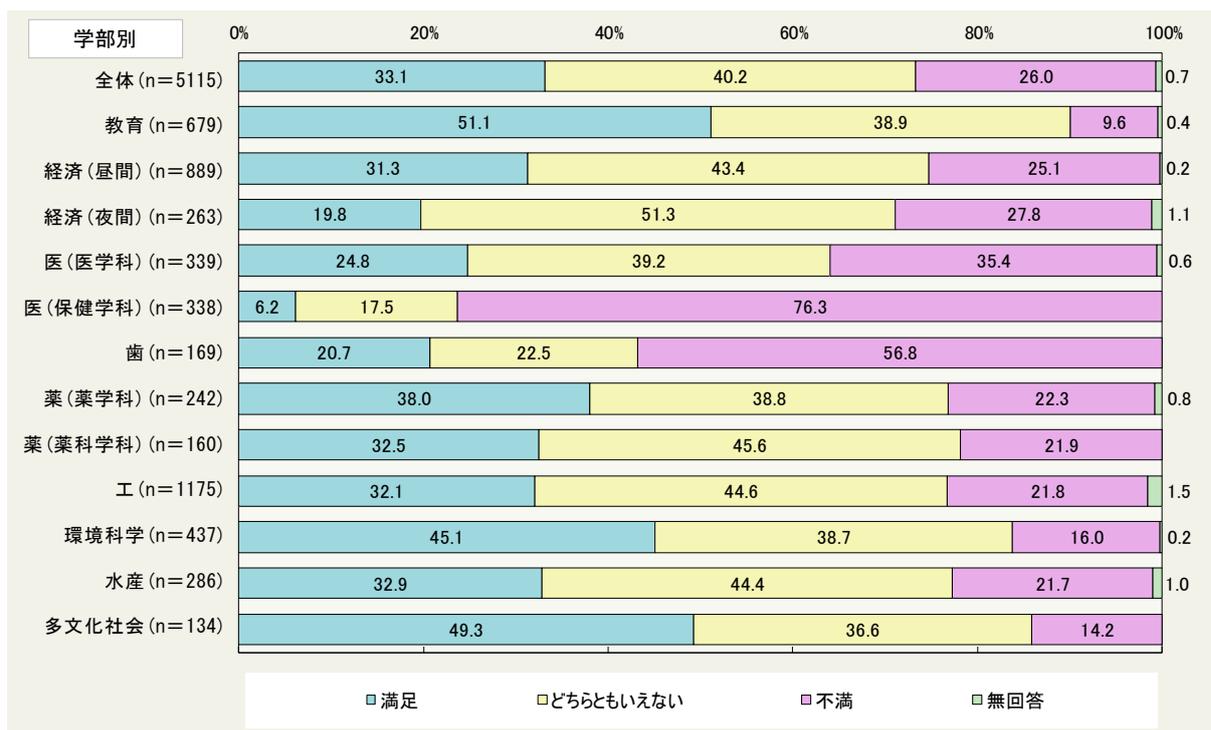
Q50. 福利厚生施設の中で、改善を希望する施設は？【複数回答可】

文教地区の大学食堂と生協売店の利用率は非常に高い値となっています。なお、歯学部福利厚生施設の利用率（162名、3.2%）が低いのは、当該施設を利用する学部の学生数の割合が大学全体の3.3%（169名）と低いからと考えられます。改善を希望する施設については大学食堂（文教地区）が最も高く28.4%（1285名）となっていますが、前回の調査結果（39.1%）から1割以上も減少し、大幅に改善されたと感じていることがうかがえます。



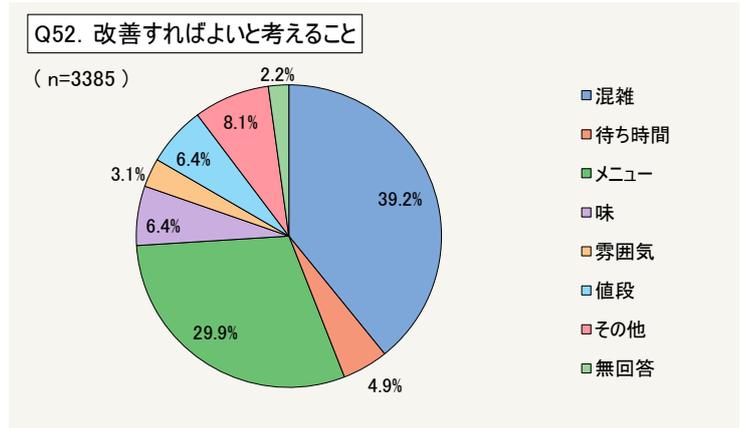
Q51. あなたの所属する学部の学内食堂(大学食堂)について満足していますか？

大学食堂に対する全体の満足度(「不満」のひと「無回答」を除いた割合)は、73.3%と比較的高いようです。学部別にみると、「医学部(保健学科)」が、部局の学生食堂に対する満足度が6.2%程度となり、他の部局に比べても著しく低い結果となっています。



Q52. 【前問で「不満」又は「どちらともいえない」と答えた方】何を改善すればよいと考えますか？

同施設に改善を希望する項目としては、前回に引き続き「混雑」39.2%（前回43.7%）が指摘されましたが減少傾向にあります。また、「メニュー」の改善については29.9%と、前回（24.9%）にも増して改善要望が高くなっています。

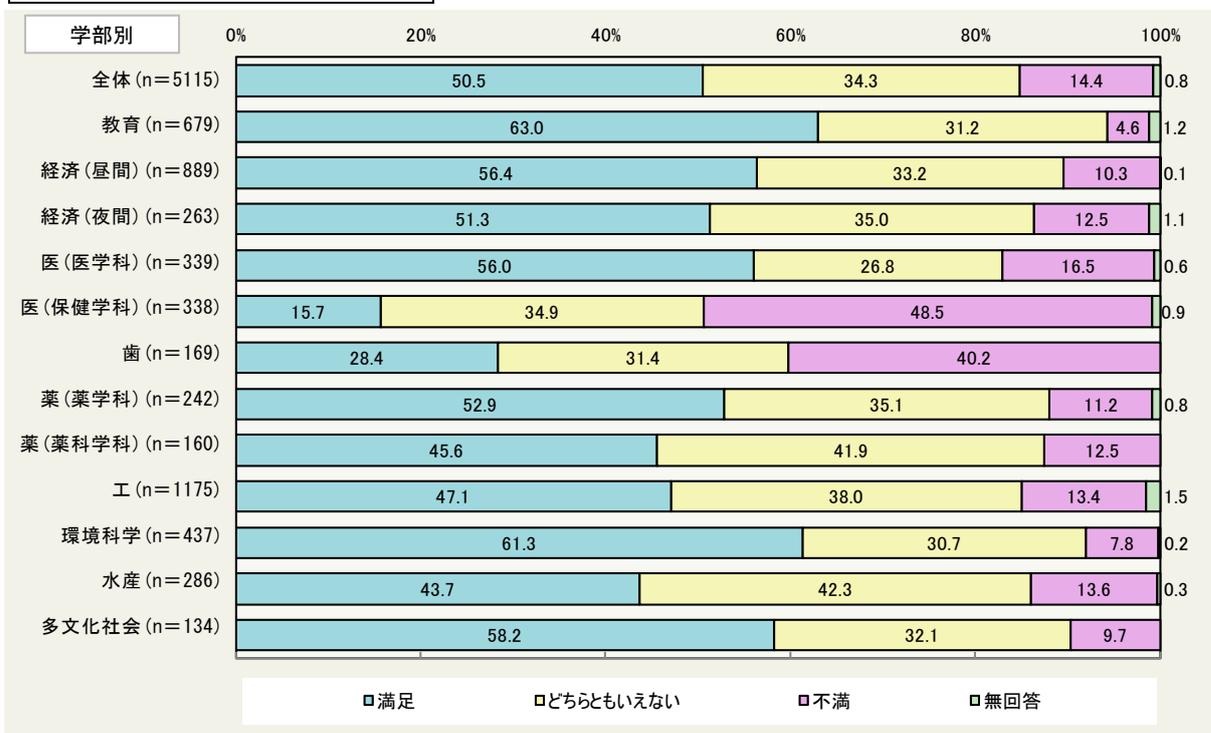


Q53. あなたが所属する学部にある生協売店について、満足していますか？

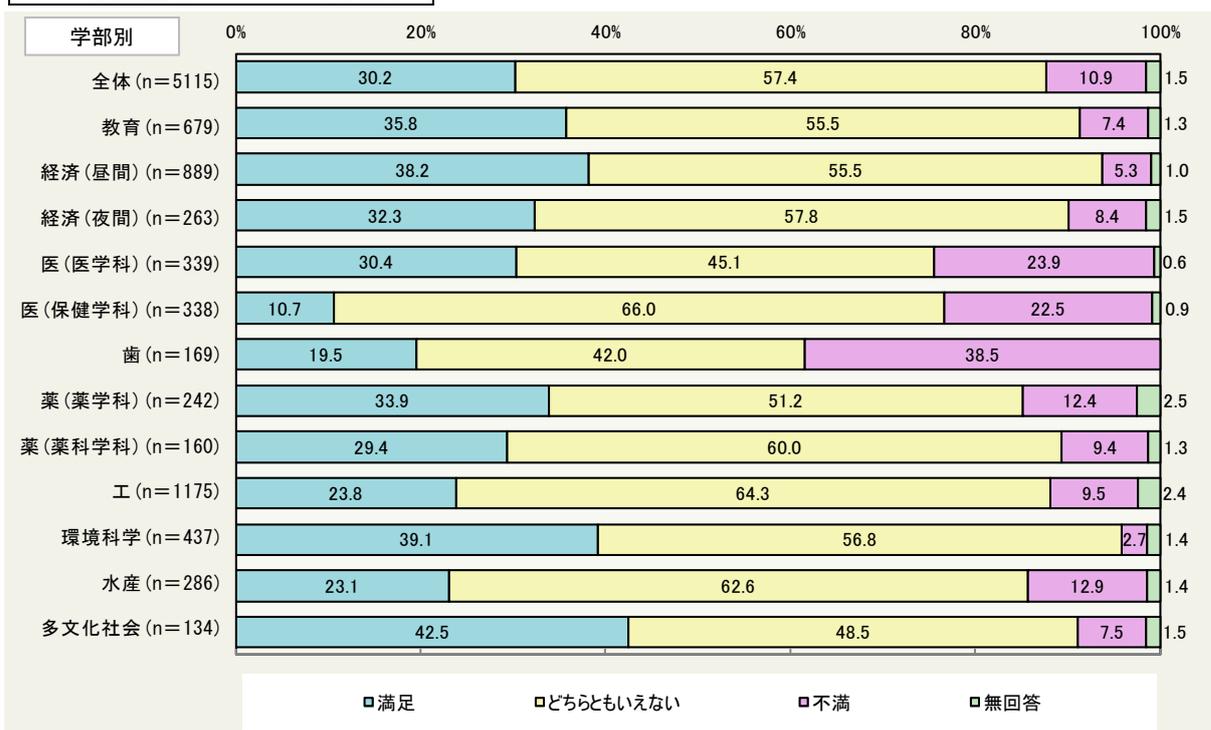
Q54. あなたが所属する学部にある談話室等について、満足していますか？

所属する学部の生協売店の満足度について、全体としては、「満足」が50.5%、「不満」が14.4%でした。談話室についての満足度は、「満足」が30.2%、「不満」が10.9%でした。「医学部（保健学科）」の学生の「満足」を見ると、生協売店で15.7%、談話室で10.7%と、他の部局に比べて著しく低くなっています。

Q53. 生協売店についての満足度



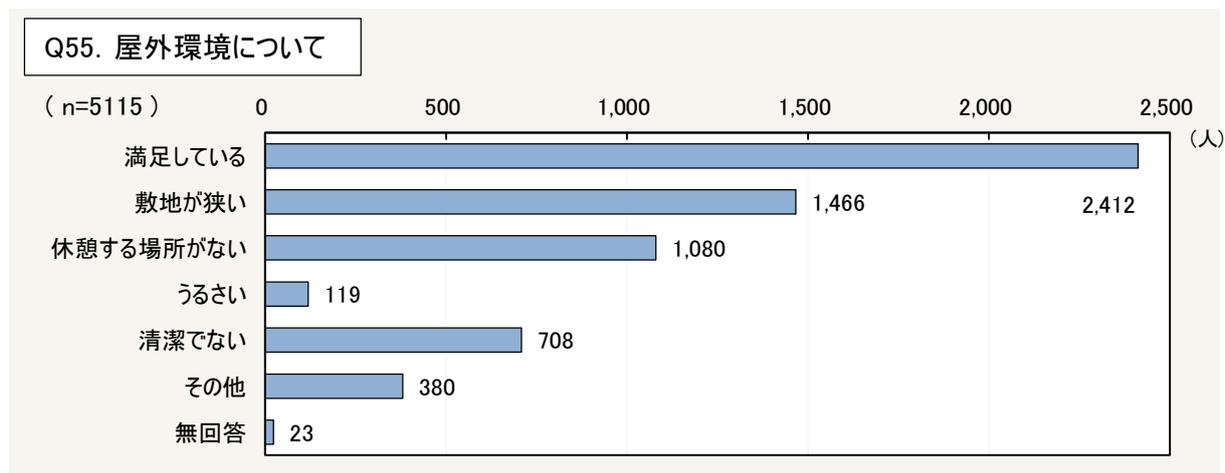
Q54. 談話室等についての満足度



VI. キャンパス全般について

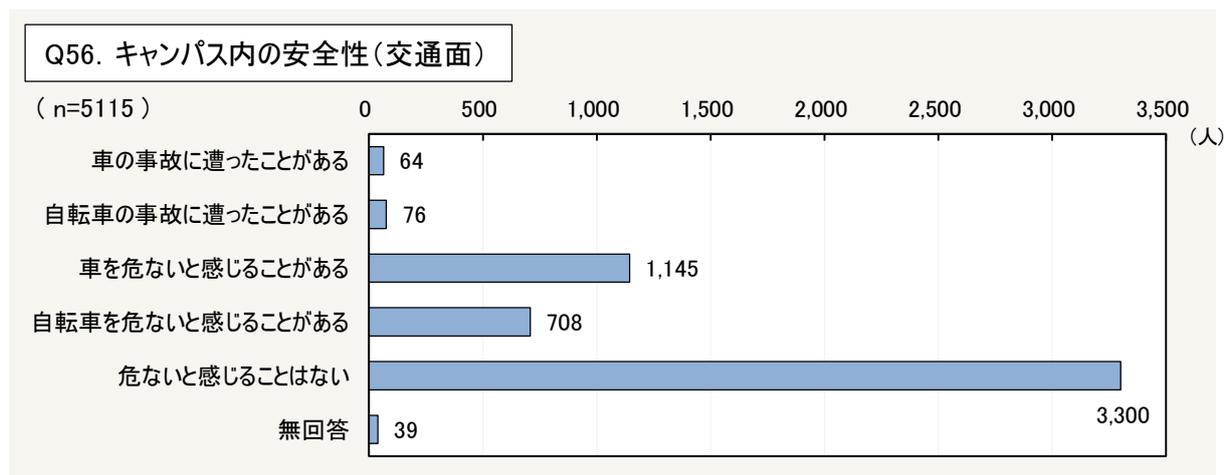
Q55. 屋外の環境について、あなたの所属する学部キャンパスの屋外環境については？【主なもの2つまで回答可】

屋外環境については、全体では「満足している」が最も多く2412名（47.1%）でした。不満点としては、「敷地が狭い」が一番多く1466名（28.7%）、次いで「休憩する場所がない」が1080名（21.1%）、「清潔でない」が708名（13.8%）となりました。「清潔でない」については、大学や部局の今後の改善も然ることながら、ごみの放置を無くすなど、キャンパスを使っている人全員で清潔に保つための心がけも重要です。



Q56. キャンパス内の交通面での安全性について(複数回答可)

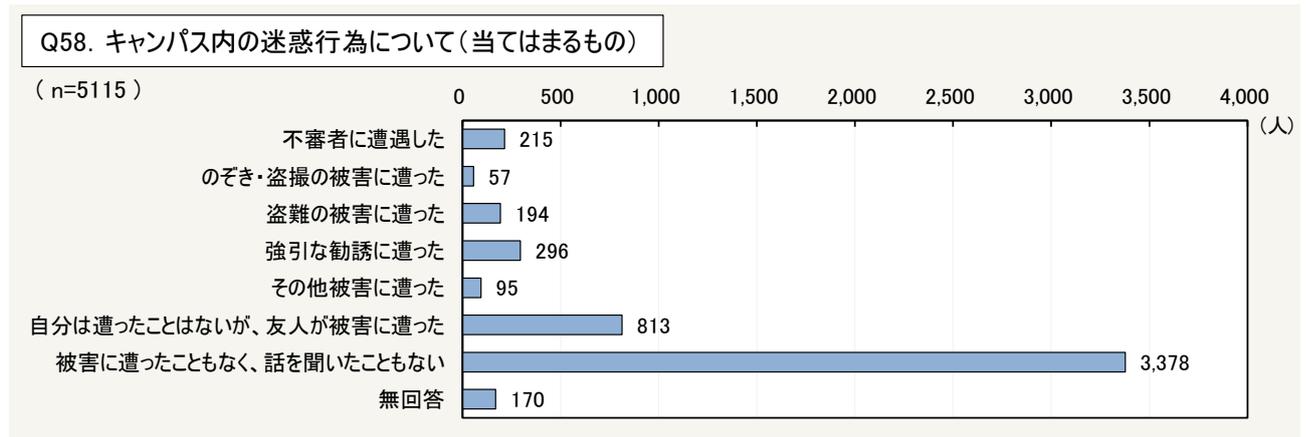
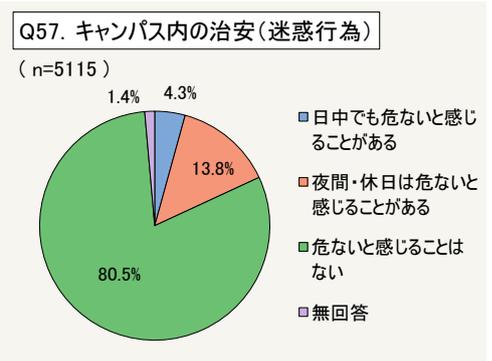
キャンパス内の交通面での安全性については、「危ない」と感じたことがある人が少なくありません（車22.4%、自転車13.8%）。また、実際に事故に遭ったことがある割合も車で1.3%、自転車で1.5%あり、車道と歩道の区別を明確化するなど、事故を無くすための改善をしていく必要があります。



Q57. キャンパス内の治安(迷惑行為)について

Q58. キャンパス内の迷惑行為について、どれに当てはまりますか？
(複数回答可)

キャンパス内の治安(迷惑行為)について、日中、夜間を通して危ないと感じることがあると回答した学生が、18.1%いました。また、実際に迷惑行為を経験したことがある学生は少なかったですが、全回答者の15%に当たる学生が、友人の被害を見聞きしている結果となりました。



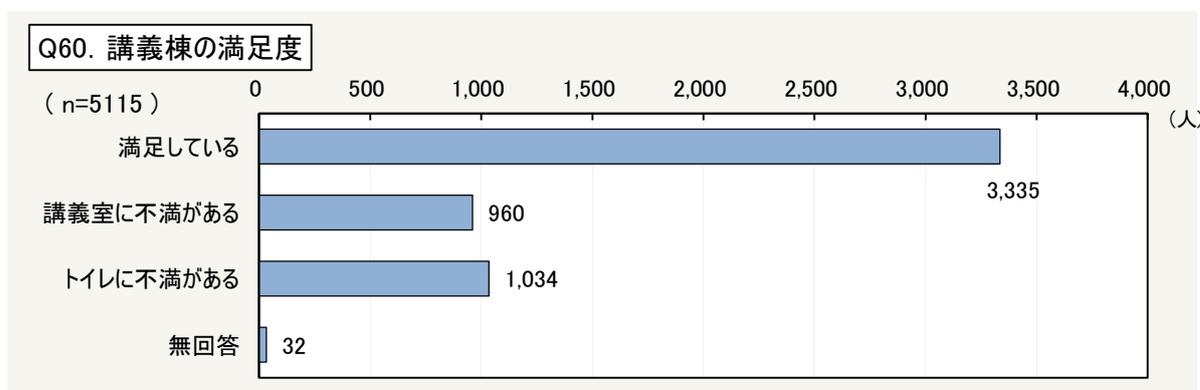
Q59. 駐輪場について満足していますか？

駐輪場の全体の満足度は、20.5%と低い値です。特に、教育学部、医学部(医学科)、医学部(保健学科)、歯学部、環境科学部、多文化社会学部の学生の満足度は10%台と、さらに低くなっています。



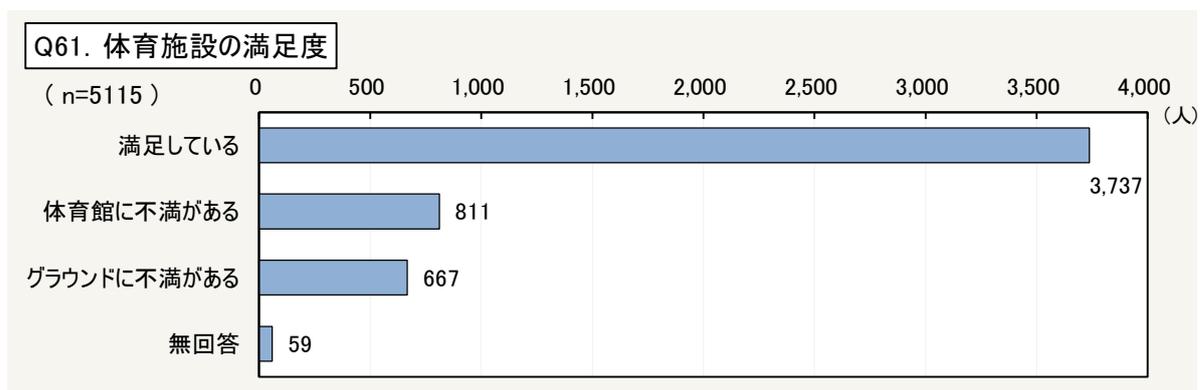
Q60. 講義棟(講義室・トイレ)について満足していますか？(複数回答可)

講義棟に対する満足度について、「満足している」と回答した学生は3335名(65.2%)と前回(56.2%)と比較して満足度が上がった結果となりました。



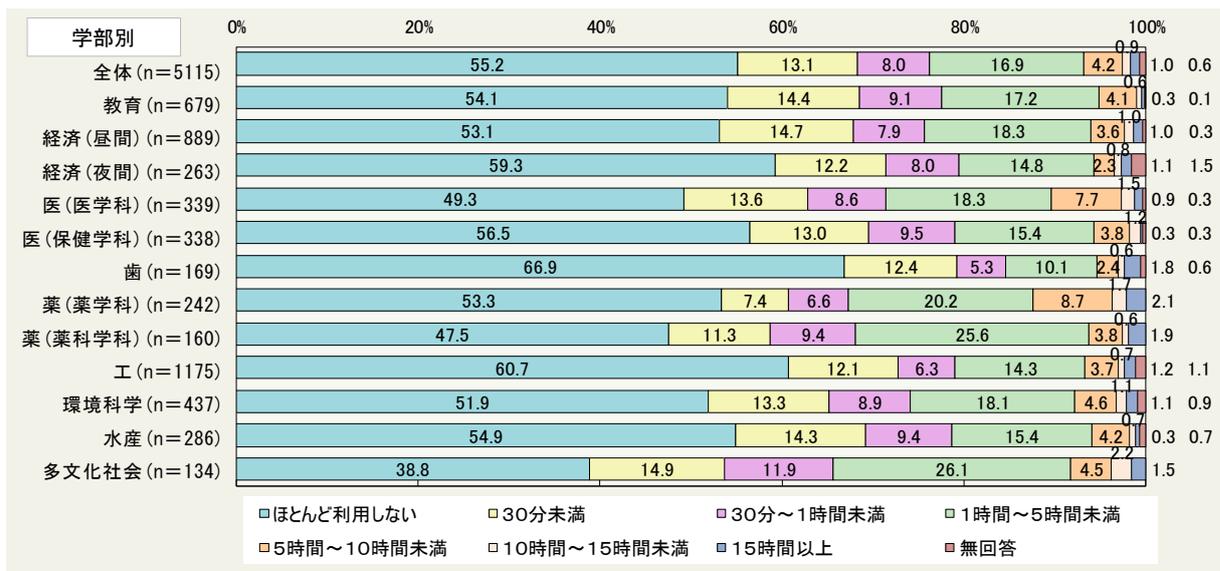
Q61. 体育施設(体育館・グラウンド)について満足していますか？(複数回答可)

体育施設に対する満足度については、3737名(73.1%)と前回(41.3%)と比較して大幅に満足度が上がった結果となりました。



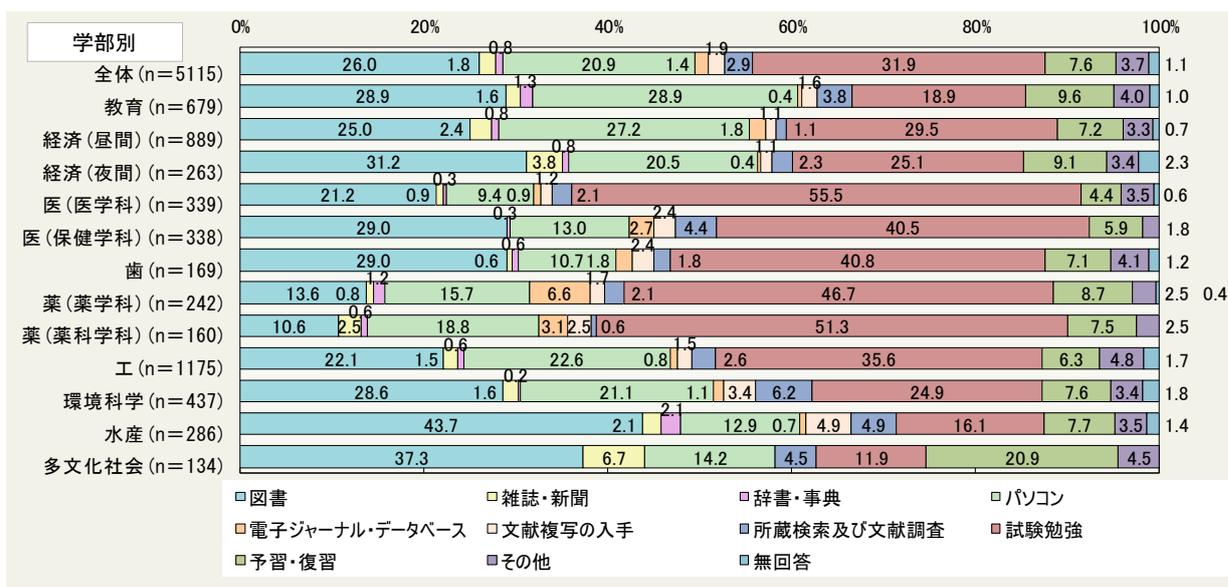
Q62. 附属図書館(分館等を含む)および電子ジャーナル・データベースの利用について、週平均何時間くらい利用していますか？

附属図書館の利用については、全体として、利用している学生が 44.2%で「ほとんど利用しない」という学生が 55.2%でした。利用している学生の週平均利用時間は、「30分未満」13.1%、「30分～1時間未満」8.0%、「1時間～5時間未満」16.9%、「5時間～10時間未満」4.2%、「10時間～15時間未満」0.9%、「15時間以上」1.0%という状況でした。部局によって大きな差は認められませんでした。前回と比較して、「ほとんど利用しない」という学生が62%から大きく減少していました。附属図書館の改修工事が平成25年1月で完了したことで、前回より利用者が増加したと考えられます。



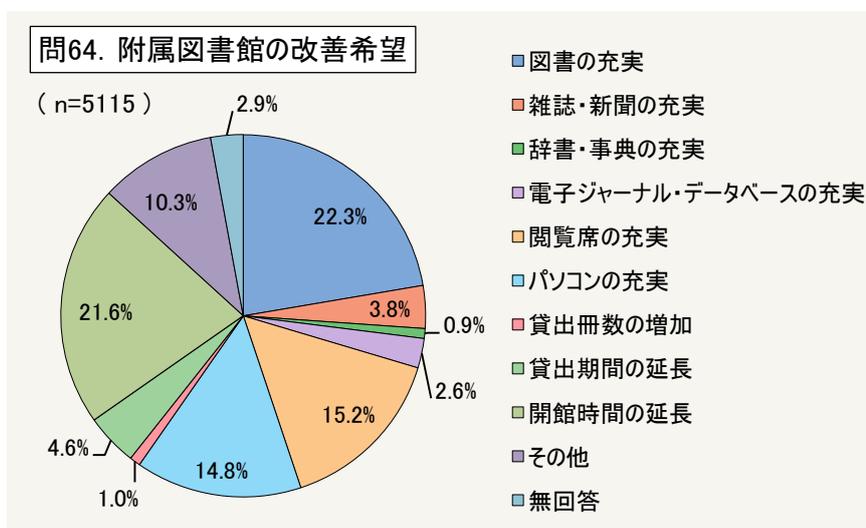
Q63. 附属図書館の主な利用目的は？

図書館の主な利用目的は、全体として、「試験勉強」が31.9%、「図書」が26.0%、「パソコン」が20.9%でした。前回(それぞれ22%、30%、26%)と比較すると、試験勉強の比率が大幅に増えたことがわかります。



Q64. 附属図書館で最も改善を希望することは？

今後の改善を希望する項目として、「図書の充実」を望む割合が 22.3%と最も多く、「開館時間の延長」21.6%、「閲覧席の充実」15.2%、「パソコンの充実」14.8%と続いています。



Q65. キャンパス内でバリアフリー化すべき施設はありますか？

なお、キャンパス内でバリアフリー化すべき施設は、まだ「ある」との回答が 4.7%で、前回の 10%からやや減少しました。一方で、「意識したことがない」との回答が 79.3%であったことについては、今後、学生を啓蒙する必要があると思われます。

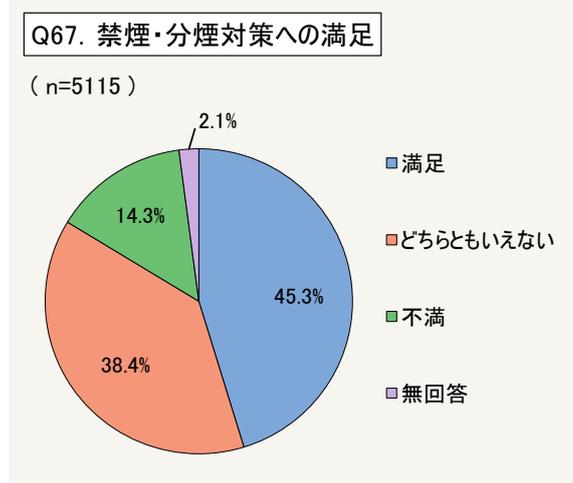
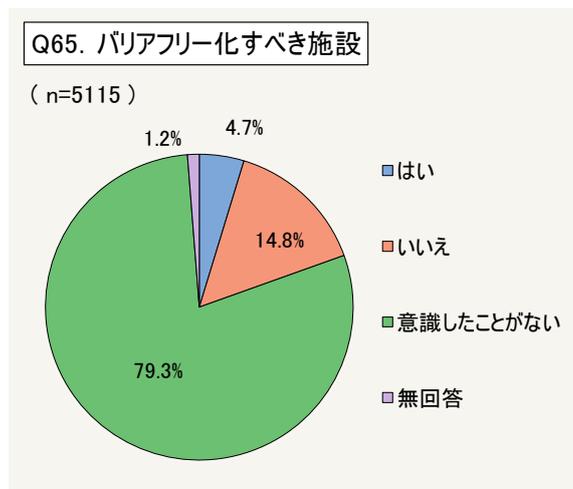
Q66. 【前問で「はい」と答えた方】それはどの施設ですか？

Q66 では、【前問で「はい」と答えた方】を対象に、バリアフリー化すべき施設を自由意見で聴取し、次のとおり複数寄せられた意見がありました。

- ・道路がデコボコしている
- ・全学的にエレベーターが狭く、台数も不足している
- ・保健学科（立地）

Q67. キャンパス内の禁煙・分煙対策に満足していますか？

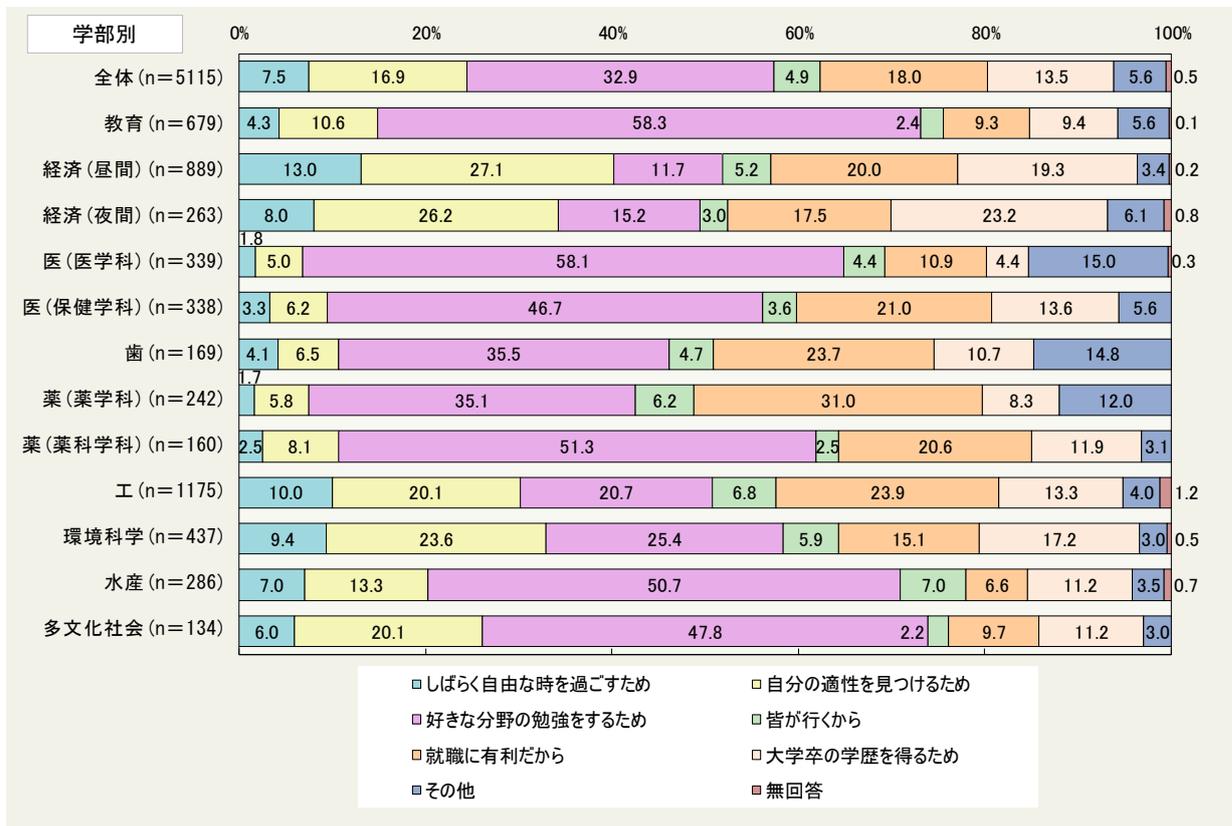
キャンパス内の禁煙・分煙対策に対して満足していない学生の割合が前回の 27%に対して、今回 14.3%と大幅に減少、禁煙・分煙対策については改善されてきていることがうかがえます。



VII. 入学・修学について

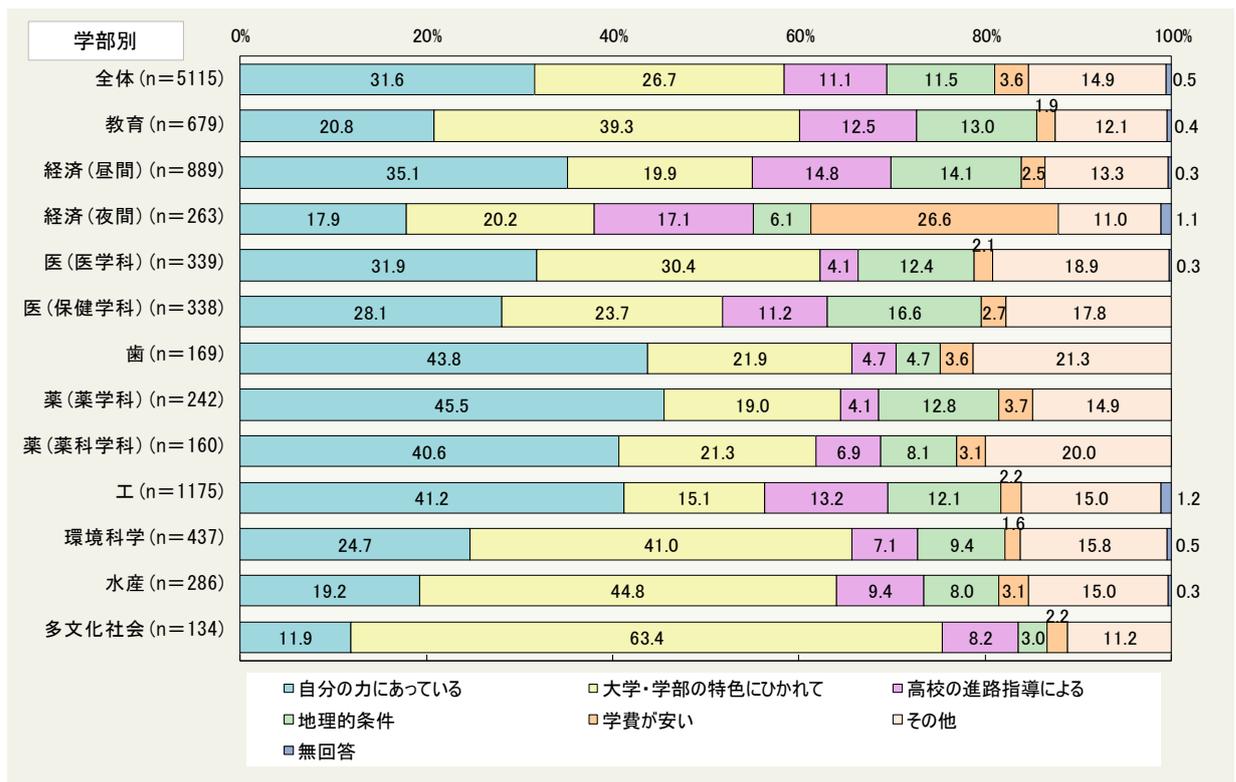
Q68. 大学に進学しようとした最も大きな理由は？

大学進学理由は「好きな分野を勉強するため」が前々回・前回と同様に最も多くなっています。しかし学部別に見ると少し状況が異なり、「経済学部」、「工学部」、「環境科学部」では「好きな分野の勉強をするため」と同等かそれ以上に「自分の適性を見つけるため」または「就職に有利だから」という理由が多くなっています。



Q69. 本学の学部を志望した最も大きな理由は？

学部選択の理由は前々回、前回同様に「自分の力にあっている」が多くなっていますが、教育学部、環境科学部、水産学部、多文化社会学部では「大学・学部の特色にひかれて」が最も高くなっています。特に、多文化社会学部の「大学・学部の特色にひかれて」は63.4%と6割を超え、学部の特色に魅力を感じている学生が多いことがわかります。経済学部(夜間)は「学費が安い」が26.6%と最も高いのが特徴的です。



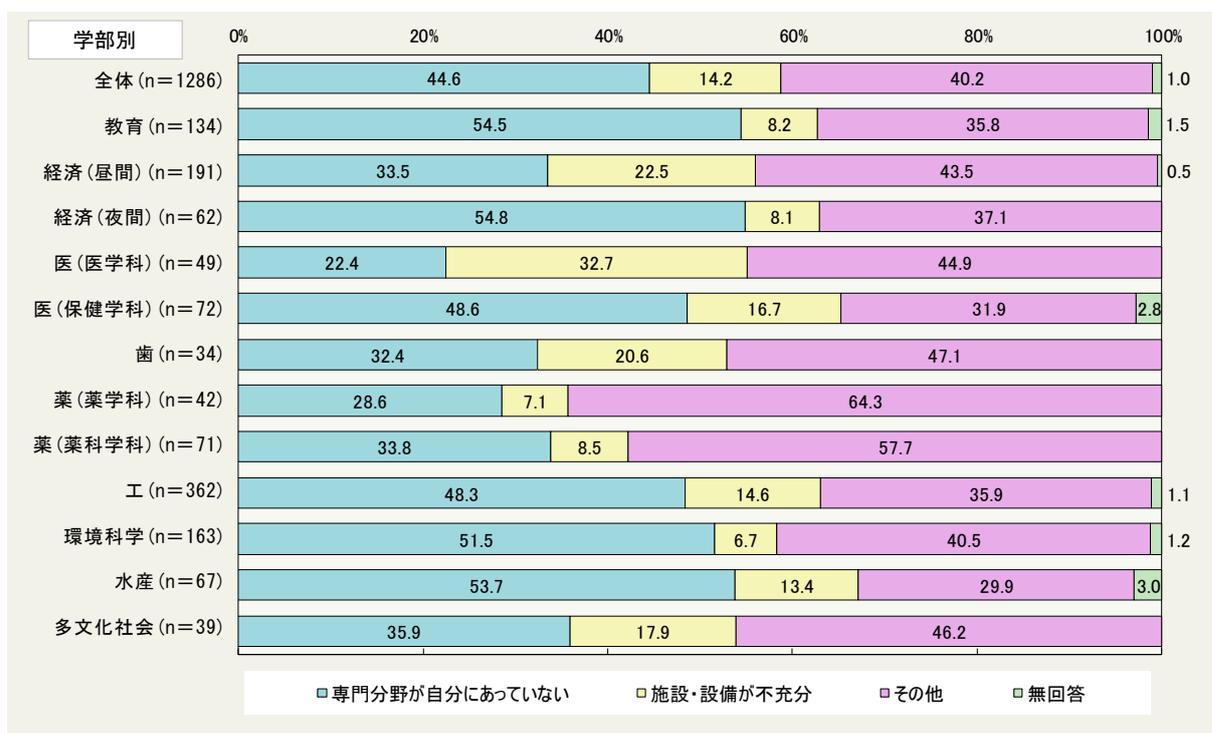
Q70. あなたは、現在の学部・学科等を変わりたいですか？

回答者全体では、「変わりたいとは思わない」が前回とほぼ同様で74.2%でした。しかし、全体の4人に1人は大学、学部または学科を変わりたいと答えており、さらに学部別にみると、薬学部（薬科学科）、環境科学部、工学部生には、その意向が強い人が比較的多いことがわかりました。「変わりたいと思うきっかけ」を学生へのヒアリングを通して明らかにし、学生の不満点の解消に向けた努力・工夫を全学で行う必要があると思われます。



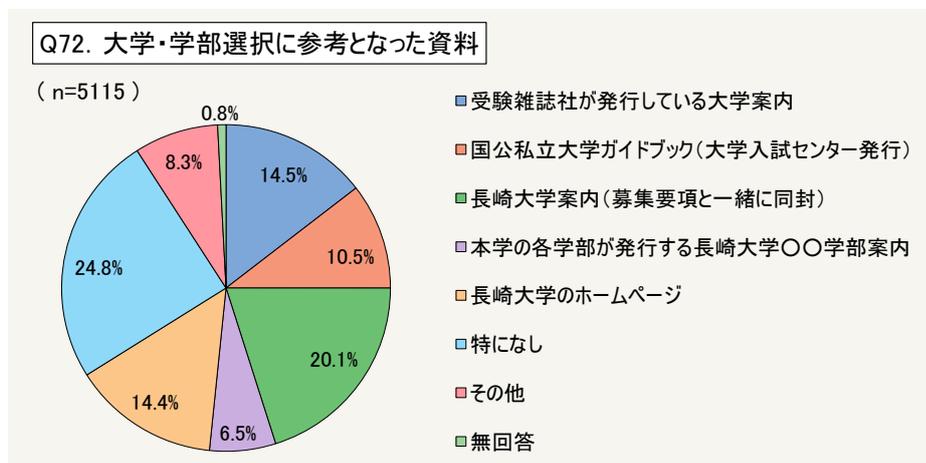
Q71. 【前問で「変りたい」と答えた方】最も大きな理由は？

現在の学部・学科等を変りたい理由として、前回同様「専門分野が自分にあっていない」ことを挙げる学生が全体の半数近くを占めています。学部別にみると、教育学部や経済学部（夜間）、環境科学部、水産学部では「専門分野が自分にあっていない」が半数を超え、医学部（医学科）では「設備・施設が不十分」であることが他の学部よりも多くなっています。学科を変りたいと答えた学生の割合が今回も多かった薬学部（薬科学科）や薬学部（薬学科）では、半数以上の学生がその他の理由を挙げており、「その他」の理由が何であるのかを把握することは今後も重要であると思われます。



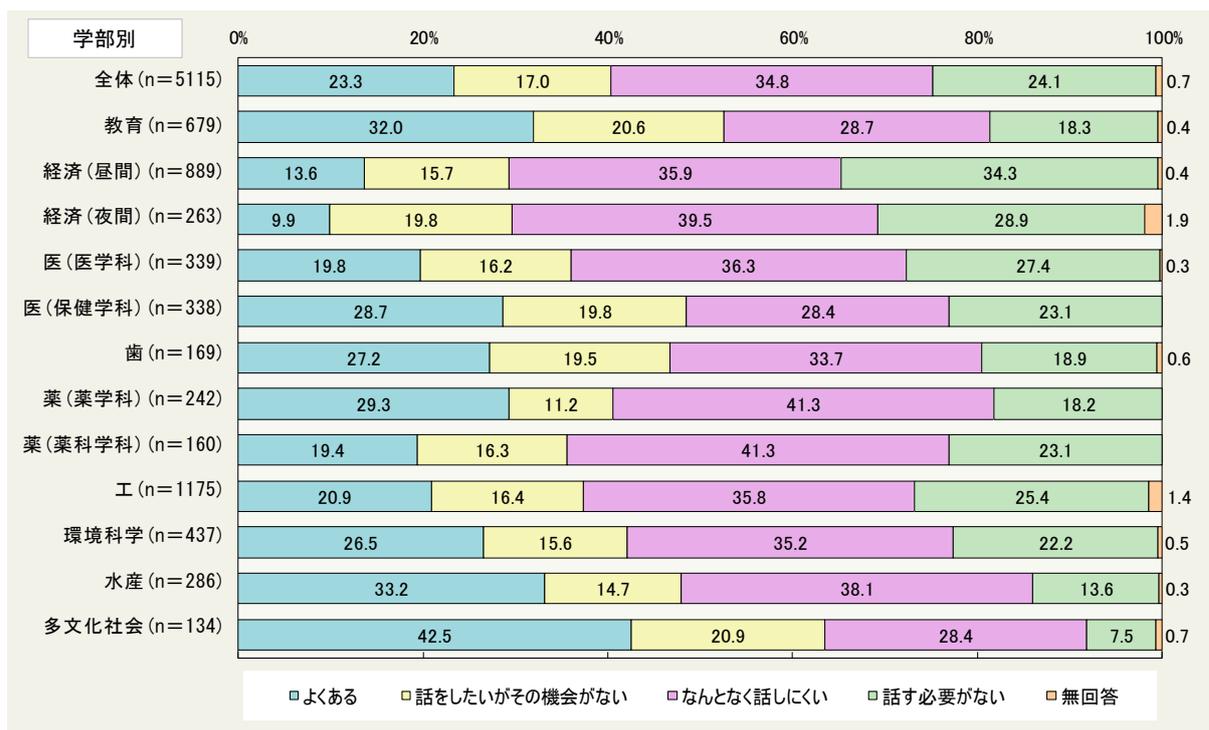
Q72. 大学・学部選択の際に最も参考となった資料は？

大学・学部選択の際に参考になった資料については前回同様「特になし」と答えた人が最も多く、次いで「長崎大学案内(募集要項と一緒に同封)」が挙げられました。学部志望理由において「大学・学部の特色にひかれて」が多くなっていた学部ではこのような文字図表データではなくオープンキャンパスや「高校の進路指導」によって学部選択が行われ、多岐に渡っていることがうかがえます。



Q73. 日頃個人的に教員と話す機会がありますか？

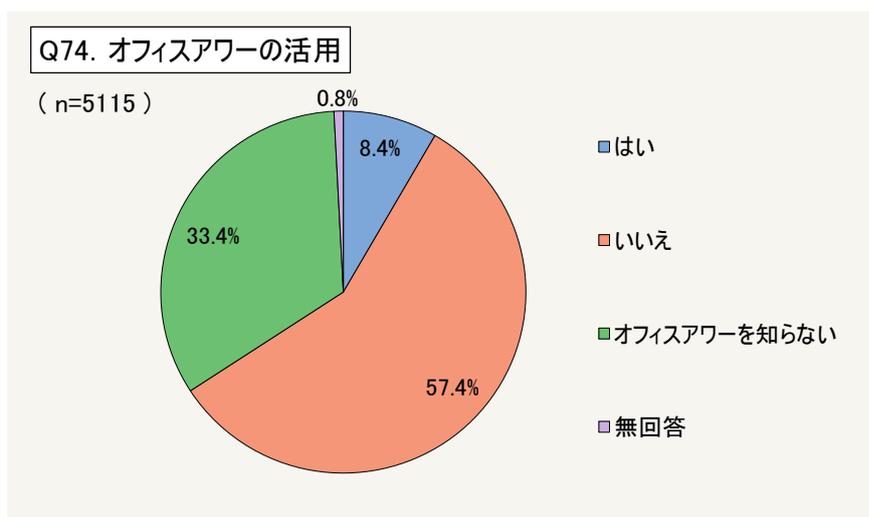
教員と学生の話す機会が「よくある」は全体の23.3%と、前回28.5%と比較すると減少している傾向にあります。「よくある」について学部別にみると、多文化社会学部が42.5%と最も高く、次いで水産学部33.2%、教育学部が32.0%と3割を超え、他の学部と比べ、教員とよく話す機会があることがわかります。ただ「なんとなく話しにくい」が、全体では34.8%と高く、学生との会話の雰囲気作りも必要だと考えられます。一方、「話す必要がない」が前回最も多かった医学部(医学科)は前回33.9%に対して、今回27.4%と改善傾向が見られます。また、「話をしたいがその機会がない」が前回最も多かった医学部(保健学科)に関しても、前回22.3%に対して、今回19.8%と改善傾向が見られます。



Q74. オフィスアワーを有効に活用していますか？

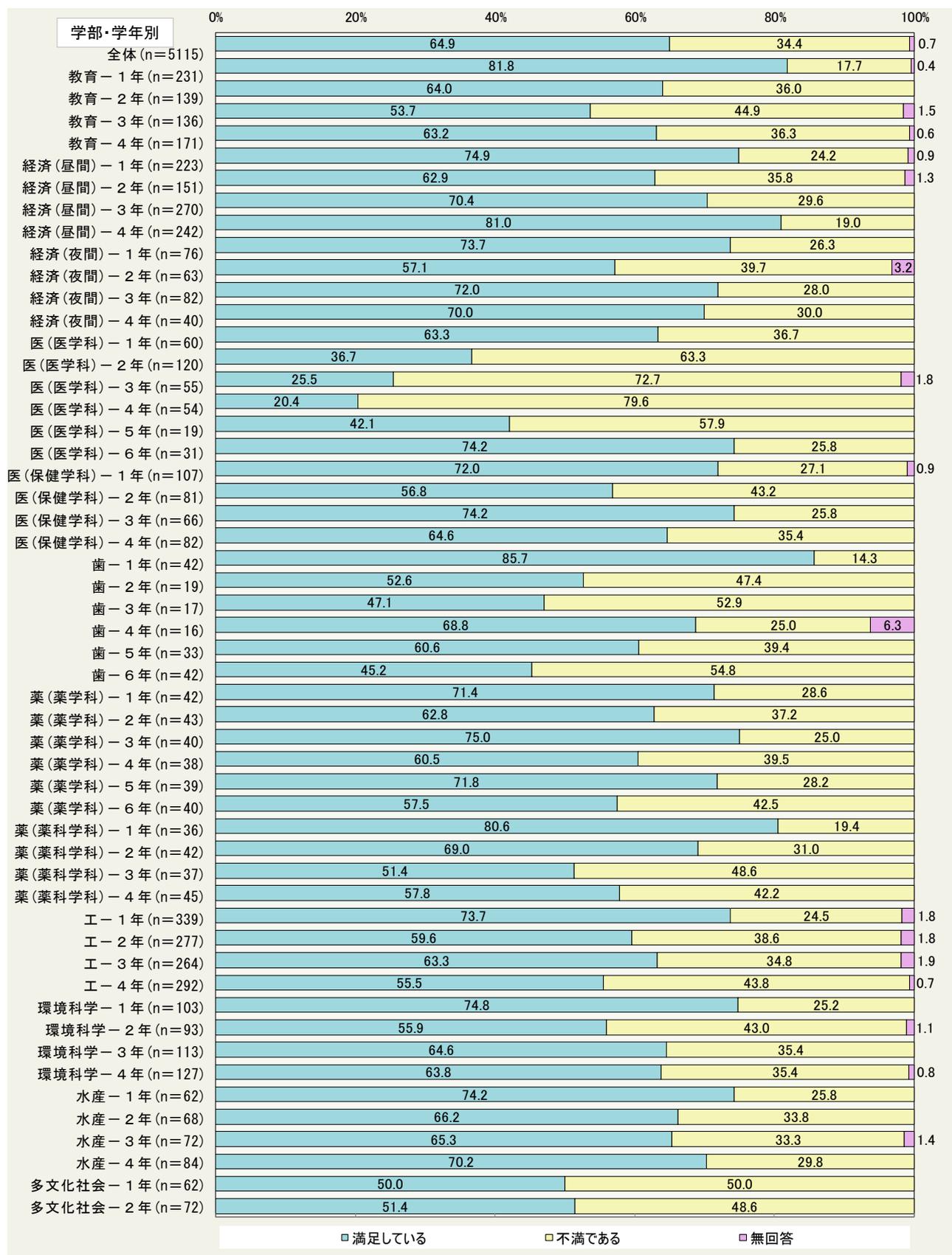
(オフィスアワーとは教員が自室(研究室)で学生からの質問や相談を受けるための時間帯をいいます。)

オフィスアワーを有効に活用しているかとの問いに、「はい」と答えた学生は8.4%、「いいえ」と答えた人が57.4%、「オフィスアワーを知らない」と答えた人が33.4%となりました。前項の質問で、学生と教員が話す機会について「よくある」と答えた人が前回と比較して減少している原因の一つとして、約9割もの学生がオフィスアワーを有効に活用していないか、そのこと自体を知らないことが考えられます。「学生と教員が話す機会」を増やすためにも、オフィスアワーについて学生への周知を徹底させ、有効に活用することが必要と考えます。



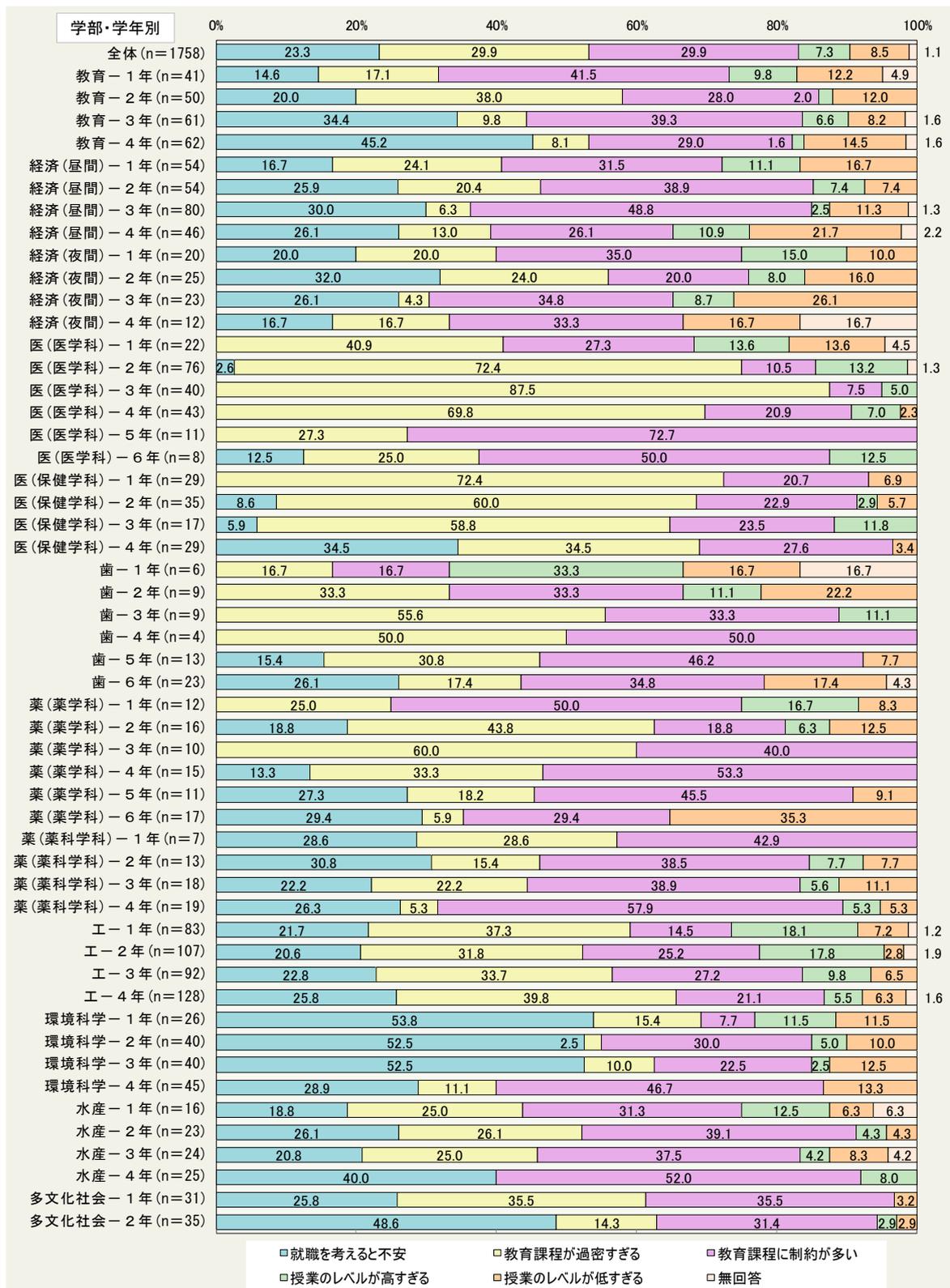
Q75. 授業・カリキュラムについては？

授業・カリキュラムに対する満足度について、回答者全体では、64.9%が「満足している」と答えており、「不満である」と答えた人を上回りました。学部別にみると、「医学部（医学科）」「歯学部」では、学年が進むにつれて「不満である」が増加する傾向にあります。



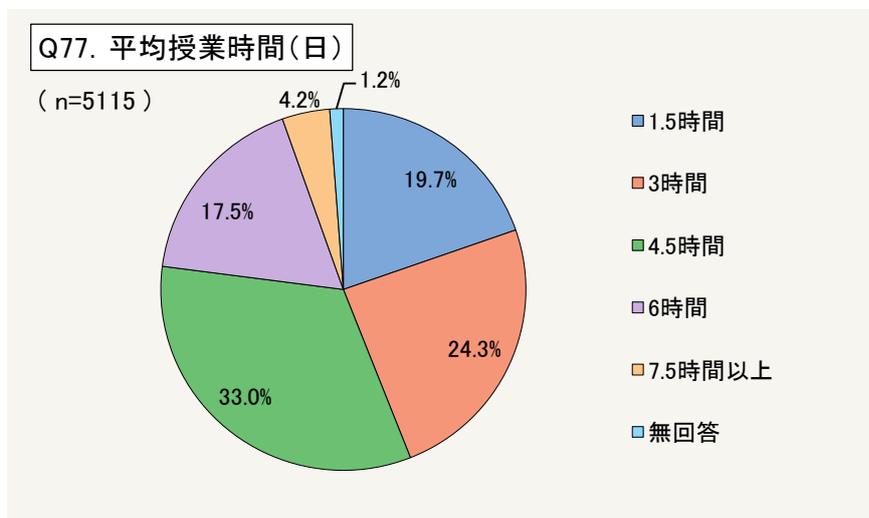
Q76. 【前問で「不満」と答えた方】その理由は？

主な理由を見ると、全体では「教育課程が過密すぎる」、「教育課程に制約が多い」がともに29.9%、「就職を考えると不安」が23.3%という順でした。学部別にみると、医学部（医学科）と歯学部では、「就職を考えると不安」な人はほとんどいないかわりに「教育課程が過密すぎる」と答える人の割合が目立って多いことがわかりました。また、「就職を考えると不安」については、教育学部、工学部、水産学部では、学年が進むにつれ就職に不安を持つ人が増えていく傾向にあり、環境科学部では、他学部に比べて「就職を考えると不安」と答える人が多いことがわかります。いずれの学部においても満足度を上げるために具体的な問題点を抽出し、必要があれば教育課程の見直しや、就職に対する不安解消を図るなど、具体的な改善策を検討する努力が必要でしょう。



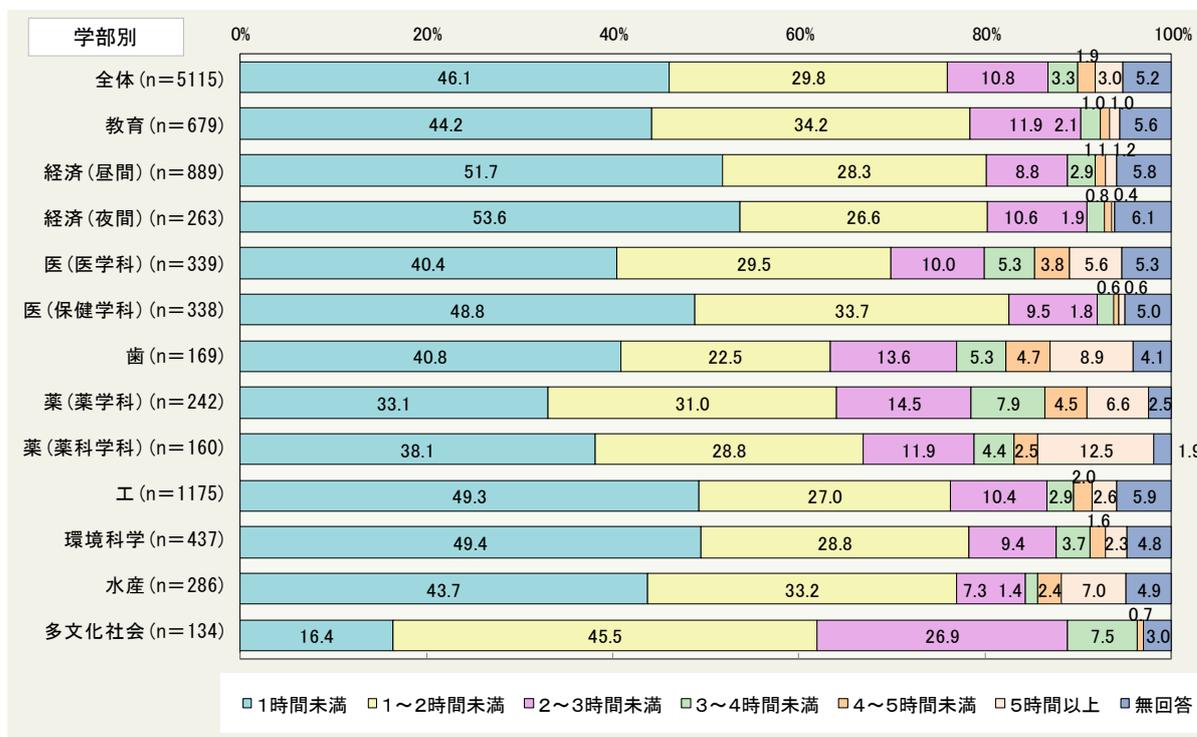
Q77. あなたの1日平均の授業時間はどのくらいですか

1日の授業時間について見てみると、「4.5時間」が最も多く(33.0%)、「3時間」(24.3%)、「1.5時間」(19.7%)の順となりました。



Q78. あなたの1日平均の授業時間以外の学修時間はどのくらいですか？

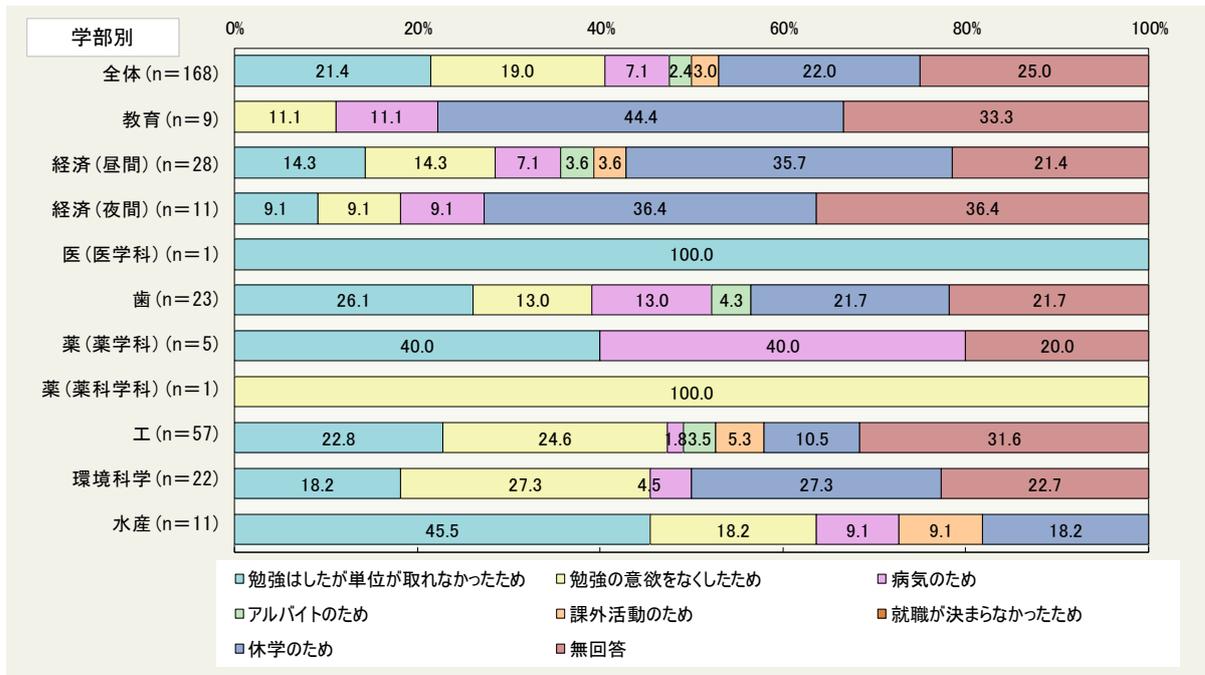
1日の学習時間を学部別にみると、一日当たり1時間未満の学生が全体で46.1%と最も多くなっていました。一日当たり2時間未満の学生をあわせると全体の75.9%であることから、前回同様、学習時間はかなり短い傾向が続いています。一方、多文化社会学部については1時間以上3時間未満の割合が72.4%と、予習・復習(自主学習)時間が比較的多いことがわかります。



Q79. 【平成 23 年度(医学科・歯学部・薬学科については平成 21 年度)以前に入学した方】

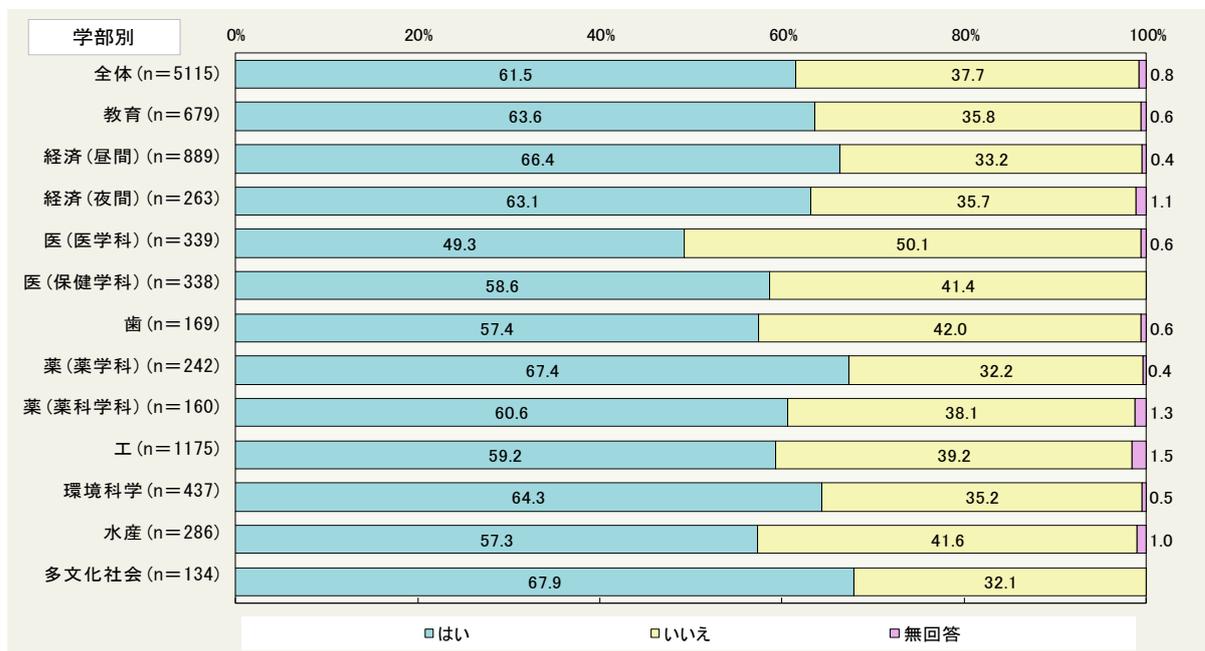
所定の年限で卒業できなかったのは、どう理由からですか？

全体としては、「休学のため」、「勉強はしたが、単位が取れなかったため」、「勉強の意欲をなくしたため」の順に多く挙げられました。しかし、前の質問事項で見ると、全体に学習時間が少ない傾向であることから、十分な学習時間が確保されていない可能性も考えられます。なお学部別は回答数が少なく、学部によるばらつきが非常に大きいため、分析が困難です。



Q80. 本学内既設のパソコンおよびインターネットの環境について、満足していますか？

本学内既設のパソコンおよびインターネット環境の満足度については、学部ごとに差異が見られるものの、「満足している」と答えた人は全体で61.5%と、前回(57.1%)に比べて増加しており、パソコンの設備やネット環境が充実してきたものと考えられます。



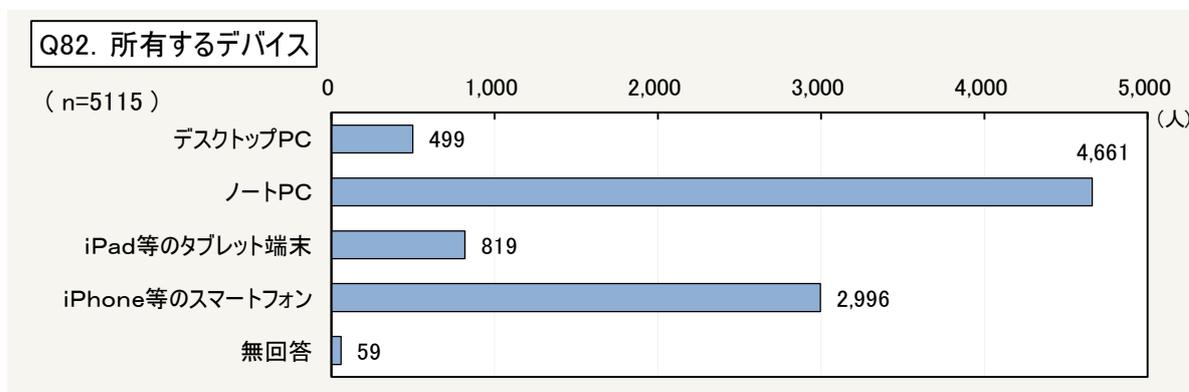
Q81. 自宅等で自学自習に利用できるパソコンを持っていますか？(PC 必携化に関する質問)

「はい」が全体の94.5%を占め、ほとんどの学生が、自宅等で自学自習に利用できるパソコンを持っています。家族と同居する自宅生に比べ、下宿生ではその割合が若干低下しますが、それでも90.8%の学生が保有しています。一般家庭や共同住宅などへの高速回線によるインターネットの普及や、廉価なPCの販売などにより、パソコンはよりいっそう身近なものになっているようです。そこで、学習や学生生活支援などでの効果的な利活用を行うために、PC 必携化の取り組みも今後ますます重要性を帯びてくるものと思われます。



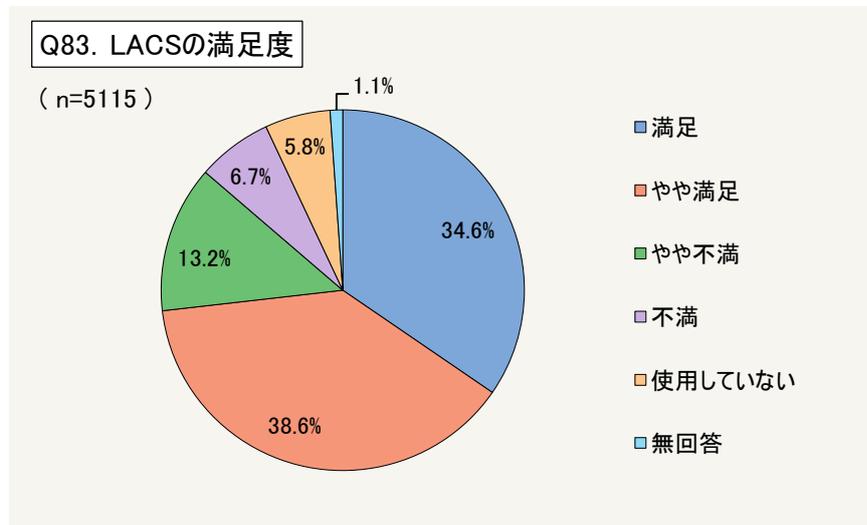
Q82. 次の内、あなたはどれをもっていますか？(複数回答可)

「デスクトップPC」の所有者が前回772名だったのに対し、今回499名と大幅に減少する一方、「ノートPC」が4,661名(前回4,551名)、「iPad等のタブレット端末」が819名(前回311名)、「iPhone等のスマートフォン」が2,996名(前回2,424名)と、それぞれ大幅に増加傾向にあることがわかります。また、回答者母数が5,115名なのに対し、所有数の合計が8,975であることから、一人当たりが複数所有している傾向が顕著に表れています。



Q83. LACSについて満足していますか？

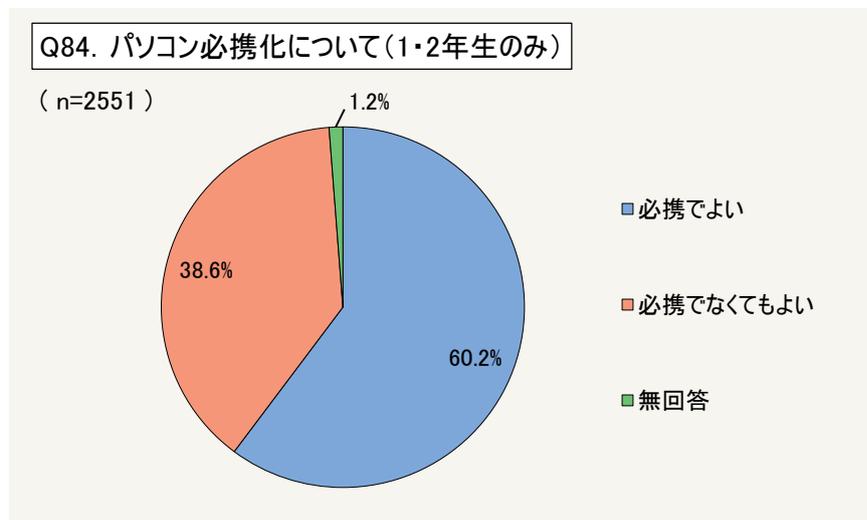
LACSの満足度は「満足」が34.6%、「やや満足」が38.6%となり、合計で7割以上が満足していると回答しています。



Q84. 【1・2年生の方のみ】

パソコンを必携することについてどう思いますか？

パソコンの必携化については、60.2%が「必携でよい」と回答しました。

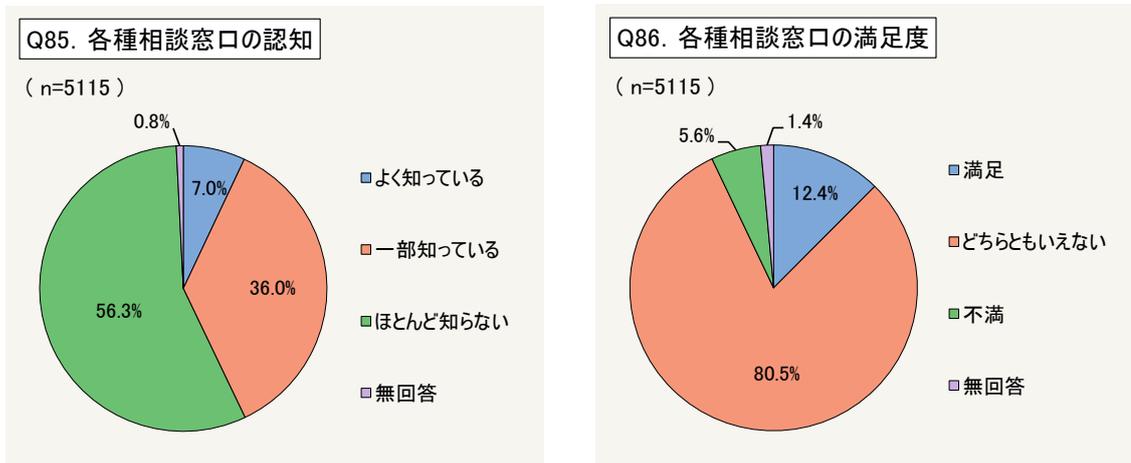


VIII. 学生相談体制について

Q85. 各種相談窓口(学生相談体制)について、知っていますか？

Q86. 各種相談窓口(学生相談体制)について、満足していますか？

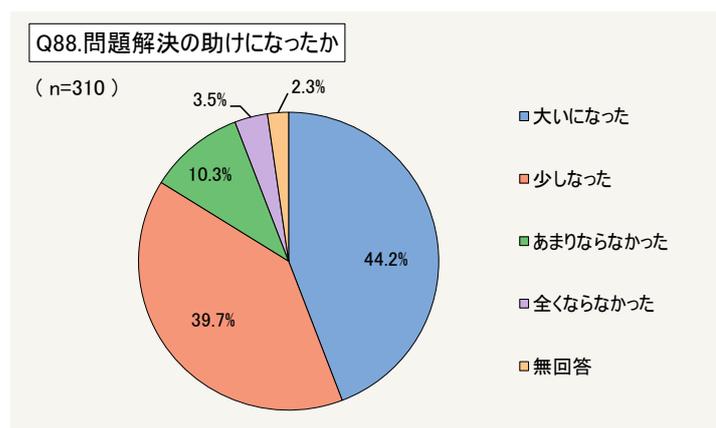
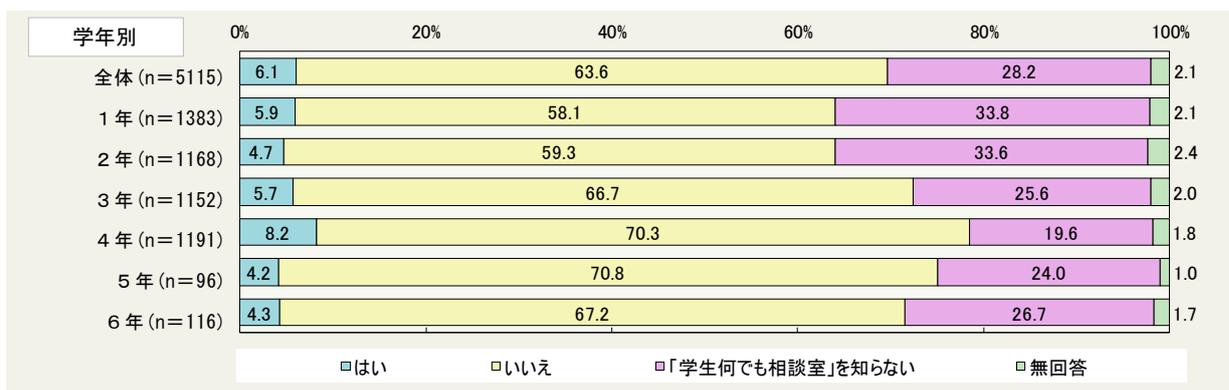
学生相談の体制について「ほとんど知らない」学生が56.3%とまだ半数をこえており、「よく知っている」学生は前回と大差なく7.0%に留まりました。学生相談体制への満足度を質問したところ、「どちらでもない」が80.5%、「不満」は5.6と、「満足」に至るための改善の余地がありそうです。



Q87. あなたは「学生何でも相談室」を利用したことがありますか？

Q88. 【前問で「はい」と答えた人について】「学生何でも相談室」への相談はあなたの悩みや問題解決の助けになりましたか？

「学生何でも相談室」を知らない学生は28.2%と、前回(20.2%)と比べて増加傾向にあり、今後も周知が必要です。また、実際の利用者は、6.1%(310名)でした。「学生何でも相談室」を利用した学生の大半は、問題解決の助けになった(「大いになった」44.2%、「少しなった」39.7%)と回答しています。



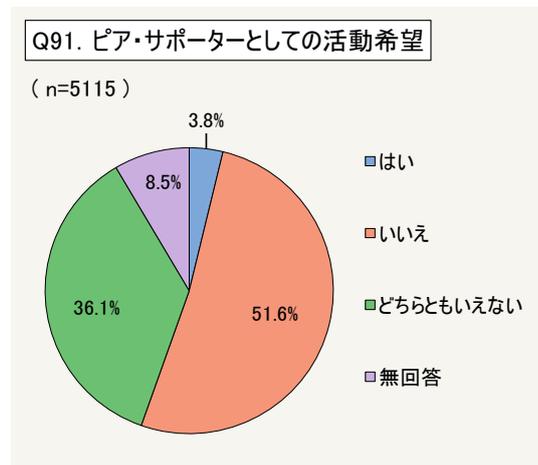
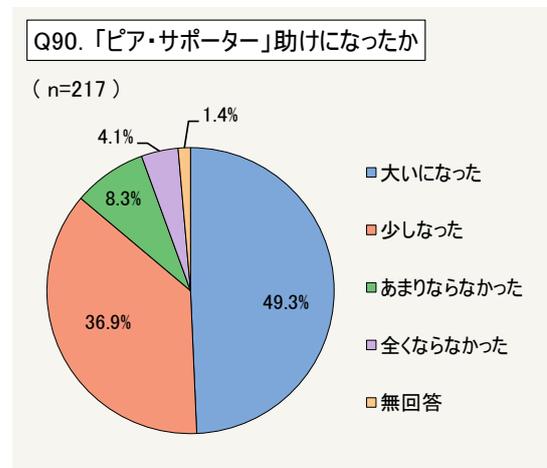
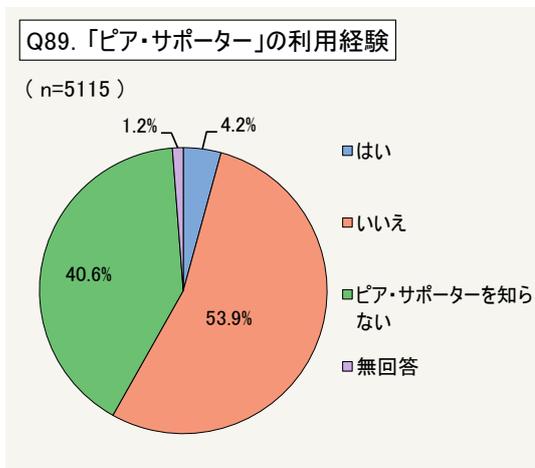
Q89. あなたは「ピア・サポーター」を利用したことがありますか？

Q90. 前問で「はい」と答えた人について、「ピア・サポーター」への相談はあなたの悩みや問題解決の助けになりましたか？

Q91. あなたは、「ピア・サポーター」として活動したいと思いますか？

「ピア・サポーター」の利用経験は、「はい」が4.2%に留まり、半数以上が経験無しでした。また、4割が「ピア・サポーター」の存在を知らないという結果になりました。認知については、前回（38.8%）よりも「知らない」と答えた方が増えており、存在を広く知らしめる必要があります。利用経験者は、前回（4.5%）より減少しています。「ピア・サポーター」の利用者の86.2%（「大いになった」＋「少しなった」）が問題解決の助けになったと回答しています。

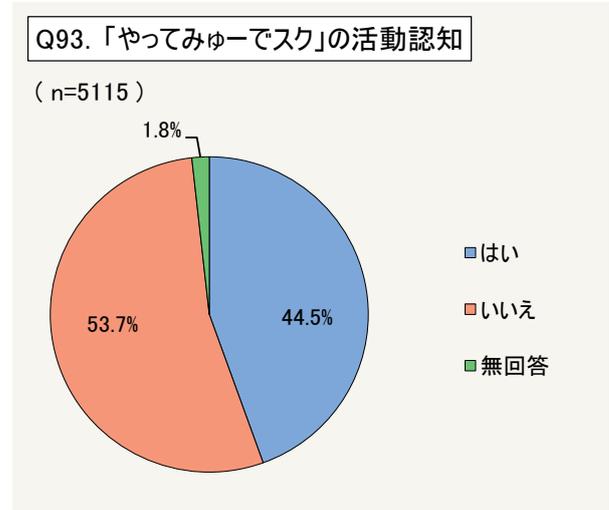
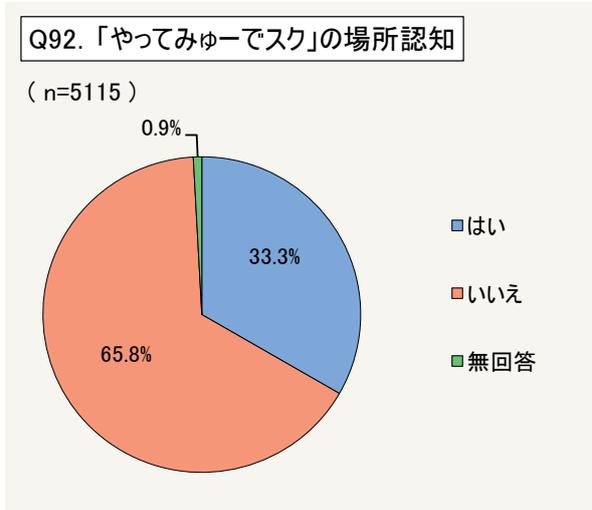
「ピア・サポーター」の認知はこの調査に参加した学生の半数以上いるにも関わらず、利用や、ピア・サポーターとして活動したいと思う学生は少ないようです。それでも193名もの「活動したい」と思う学生がいるので、いかに活動に繋げられるか、またサポーターを養成していくかが今後の課題といえます。



Q92. 「やってみゅーでスク」の場所を知っていますか？

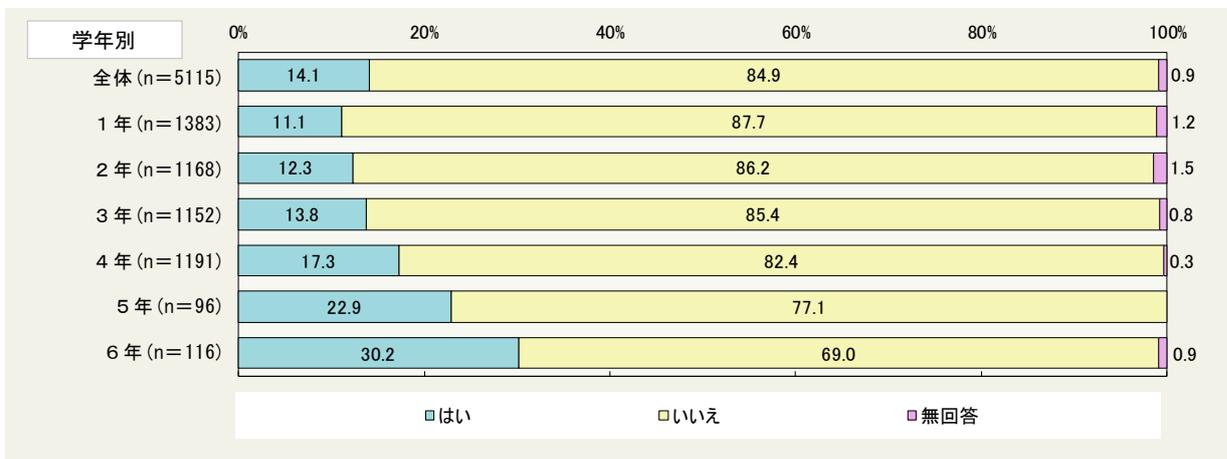
Q93. 「やってみゅーでスク」は学生の社会参加、地域貢献を支援するところだと知っていますか？

「やってみゅーでスク」の「場所」および何をするとところか「知らない」学生は65.8%と前回（37.3%）より大幅に増加しています。一方で、活動内容については4割以上の学生に認知されている結果となりました。



Q94. ハラスメント相談員の制度を知っていますか？

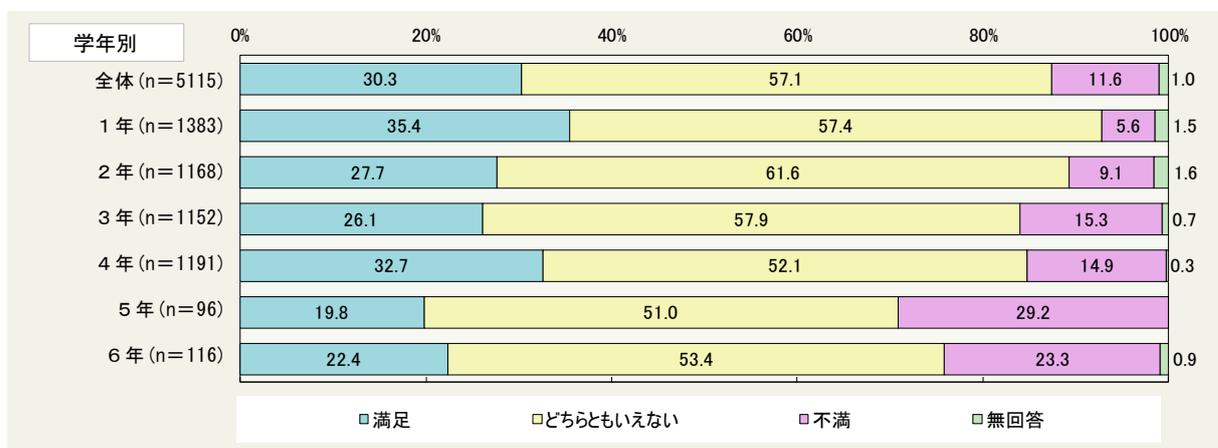
ハラスメント相談員制度を「知らない」学生（84.9%）も、前回（82%）より増加しました。



前回同様、多くの学生が、大学の学生相談の体制について知らないことから、いかに知名度を上げられるかが課題であると考えられます。

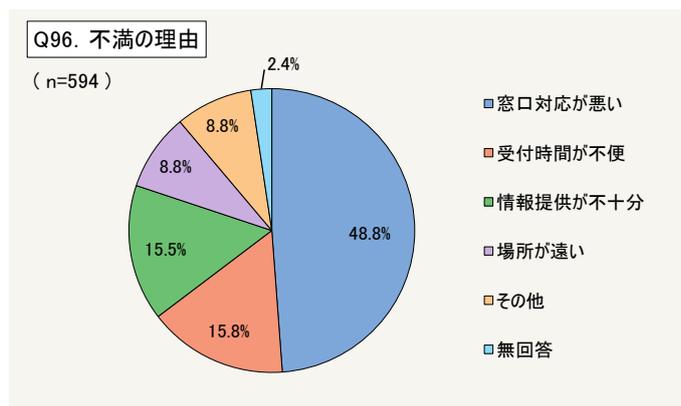
Q95. 窓口サービス(学生支援センター・学部学務班等)に満足していますか？

窓口サービスに「満足している」学生は、30.3%で前回(39.4%)より減少しました。「不満」と回答した学生についても11.6%(前回21.4%)と減少しており、「どちらともいえない」学生が増加しています(前回38.3%、今回57.1%)。



Q96. 前問で「不満」と答えた方、その主な理由は？

不満足の原因のトップは、「対応が悪い」(48.8%)で前回同様ですが、前回(54.0%)と比較すると減少しています。続いて「受付時間が不便」(15.8%)、「情報提供が不十分」(15.5%)となっていました。どのような情報提供が求められているかを明らかにしつつ、学生窓口の対応については、全学の窓口のみならず、各学部の窓口も含めての改善が望まれます。

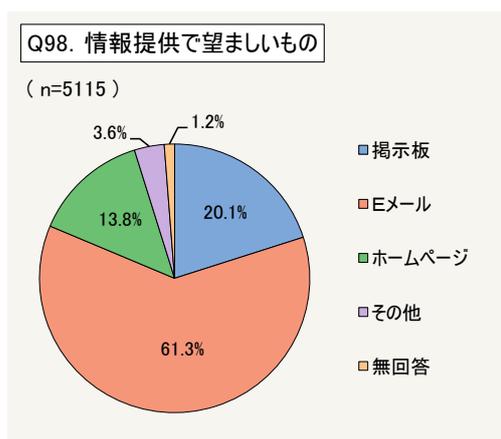
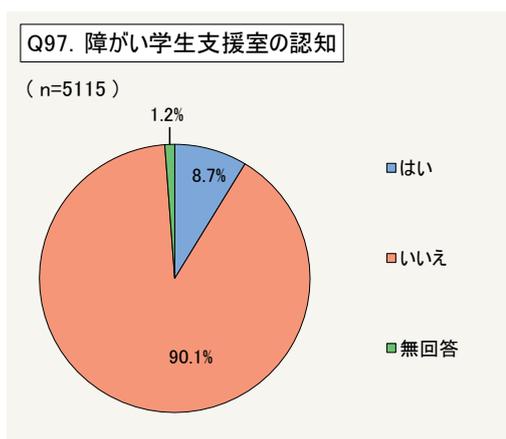


Q97. 障がい学生支援室を知っていますか？

Q98. 大学からの情報提供はどの方法が望ましいですか？

障がい学生支援室の認知について調査したところ、9割以上が「いいえ(90.1%)」と回答していることから、認知向上にむけた情報提供が必要といえます。

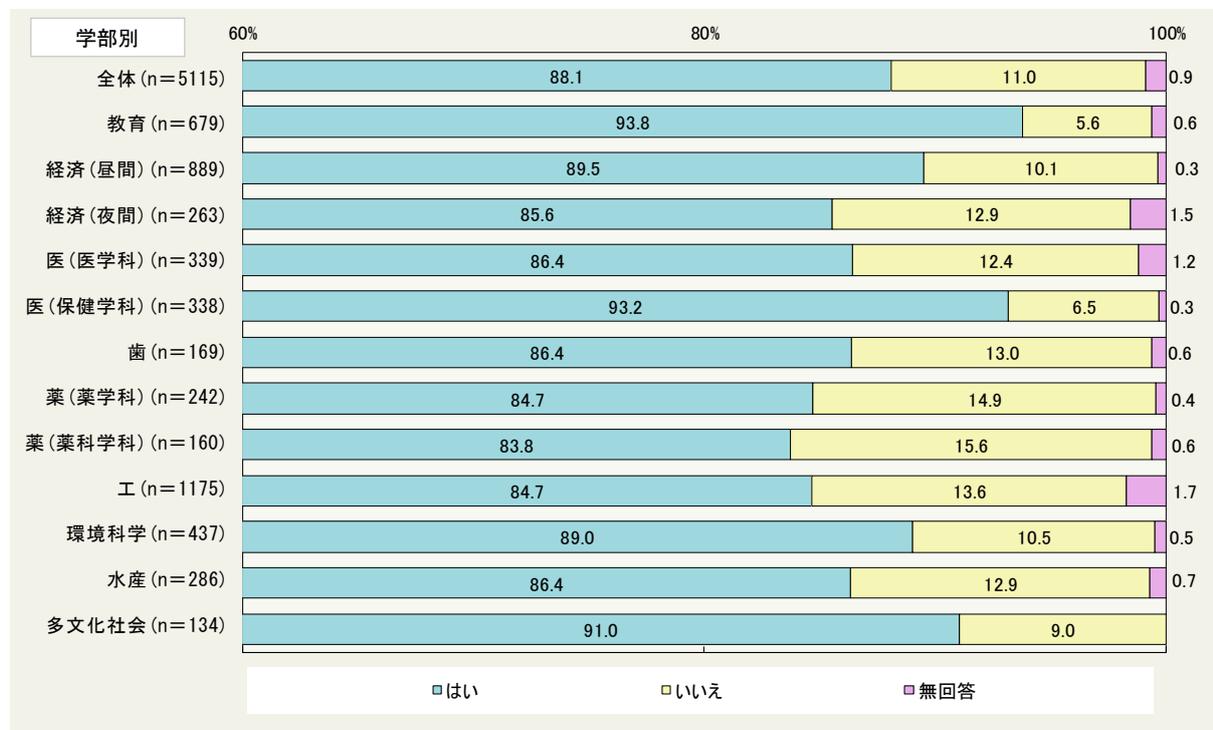
大学からの情報提供については、半数以上の学生(61.3%)がEメールでの提供が望ましいとしています。



Ⅸ. 大学生活について

Q99. あなたは悩みを打ちあけることができる友人がいますか？

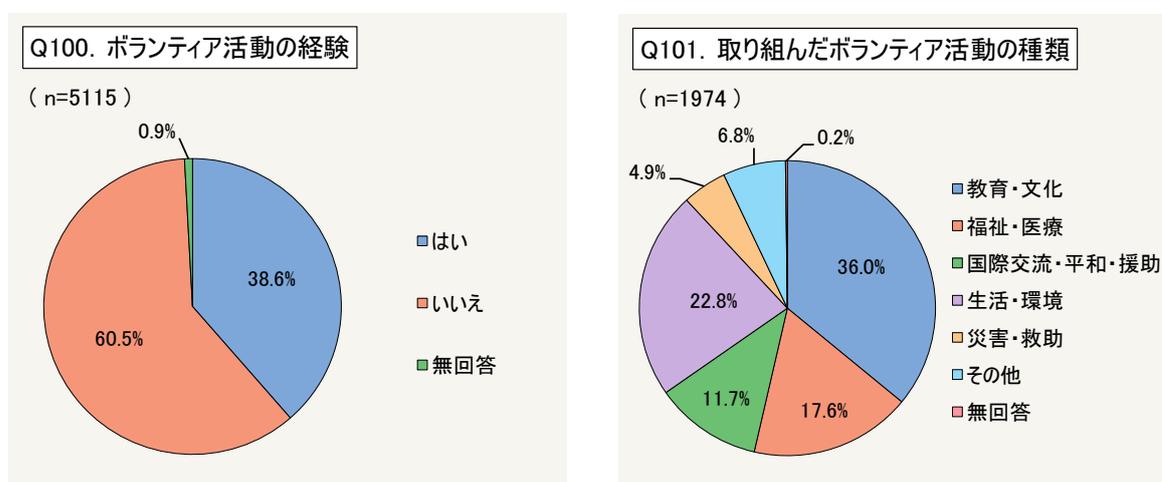
友人関係について、全体では 88.1%が「悩みを打ち明けることができる友人がいる」と答えています。学部別でも大きな差はありませんが、教育学部（93.8%）、医学部（保健学科）（93.2%）がやや高くなっています。



Q100. ボランティア活動に取り組んだことがありますか？

Q101. 前問で「はい」と回答した人について、どのような活動ですか？

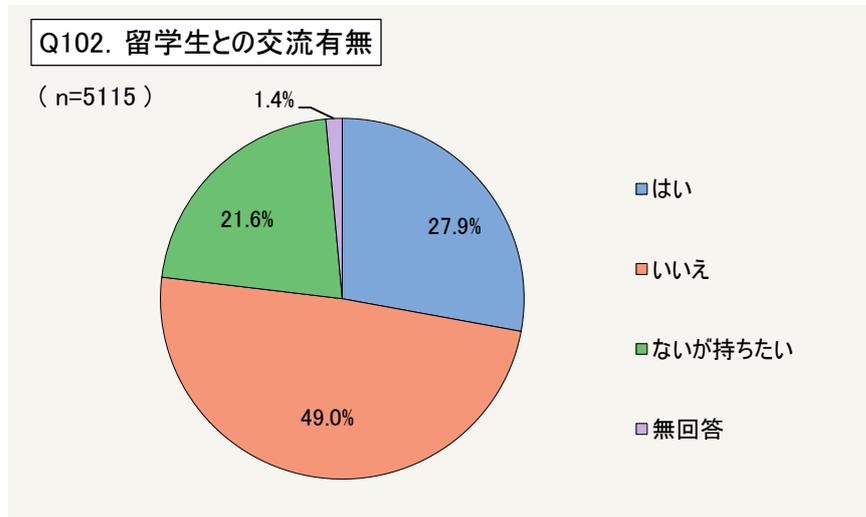
現在ボランティア活動に取り組んでいる学生は 38.6%で前回（44%）より減少しています。活動の内容については、「教育・文化」（36.0%）が最も多く、「生活・環境」（22.8%）、「福祉・医療」（17.6%）、「国際交流・平和・援助」（11.7%）、「災害・救助」（4.9%）となっています。「教育・文化」が増加（前回 32.6%）し、「生活・環境」と「福祉・医療」が減少（前回 24.0%、18.5%）しています。



Q102. あなたは本学に所属する留学生と交流を持っていますか？

【日本人の方は留学生との交流、留学生は他国の留学生との交流】

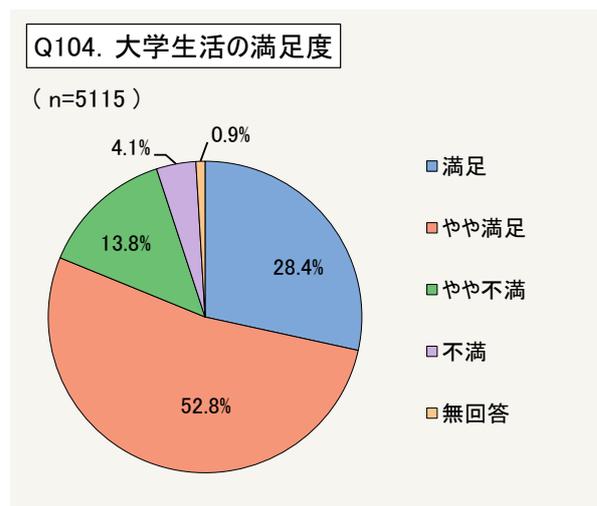
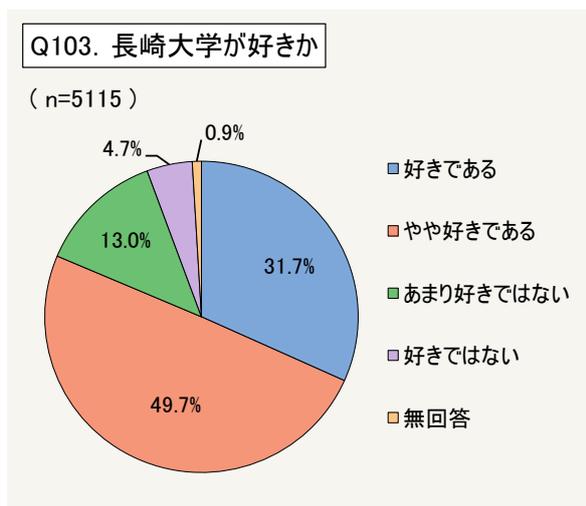
留学生との交流は、「ある」27.9%、「ない」49.0%、「ないが持ちたい」21.6%となり、「ないが持ちたい」が前回(19.3%)に比べて2.3%増加していますが、「ある」が前回(32.0%)より4.1%も減少していることから、交流を「持ちたい」と思いながらもできていない状況がうかがえます。



Q103. あなたは長崎大学が好きですか？

Q104. 現在の大学生生活に満足していますか？

長崎大学を「好き」または「やや好き」と回答した学生は81.4%と前回(82.6%)とほぼ同じでした。また、現在の大学生生活に「満足」「やや満足」と回答した学生は81.2%でした。



X. 進路・就職について

Q105. 将来就職したい職種については？

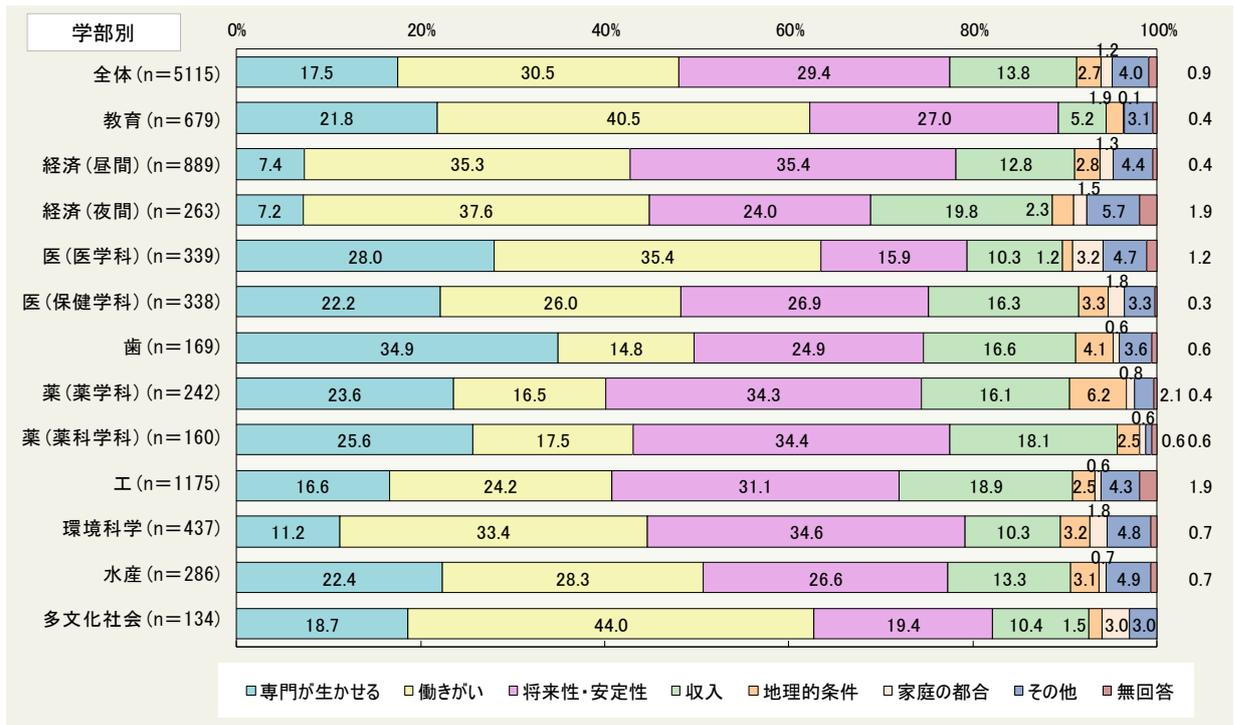
最初に希望職種を学部別に見てみます。医学部（医学科）、医学部（保健学科）、歯学部、薬学部（薬学科）は70%以上が国家試験にもとづく専門職を希望しており目的意識が明快です。教育学部では7割以上が教員を目指していますが、他の学部の学生は様々な職種に分散しています。薬学部（薬科学科）および工学部では、教育研究職および企業の研究技術職が約5割を占め、専門分野ベースの職種への指向性が強く、薬科学科ではさらに専門職への希望が21.2%もありますが、工学部では専門職以外は、様々な職種に分散しています。水産学部では、教育研究職および企業の研究技術職へ44.0%と工学部、薬学部（薬科学科）に次いで専門分野ベースの職種への指向性が認められますが、大学・官公庁の教育・研究職への希望も17.8%と他学部と比較すると高くなっていました。経済学部では企業の事務・営業職への希望が第1位で42.9%（昼間）、34.2%（夜間）あり、次いで行政職（公務員）への希望が24.0%（昼間）、16.7%（夜間）で上位となっています。環境科学部では行政職（公務員）が第1位（25.6%）で、他学部と比較すると高くなっていました。



Q106. 就職を決めるにあたり最も重視する点は？

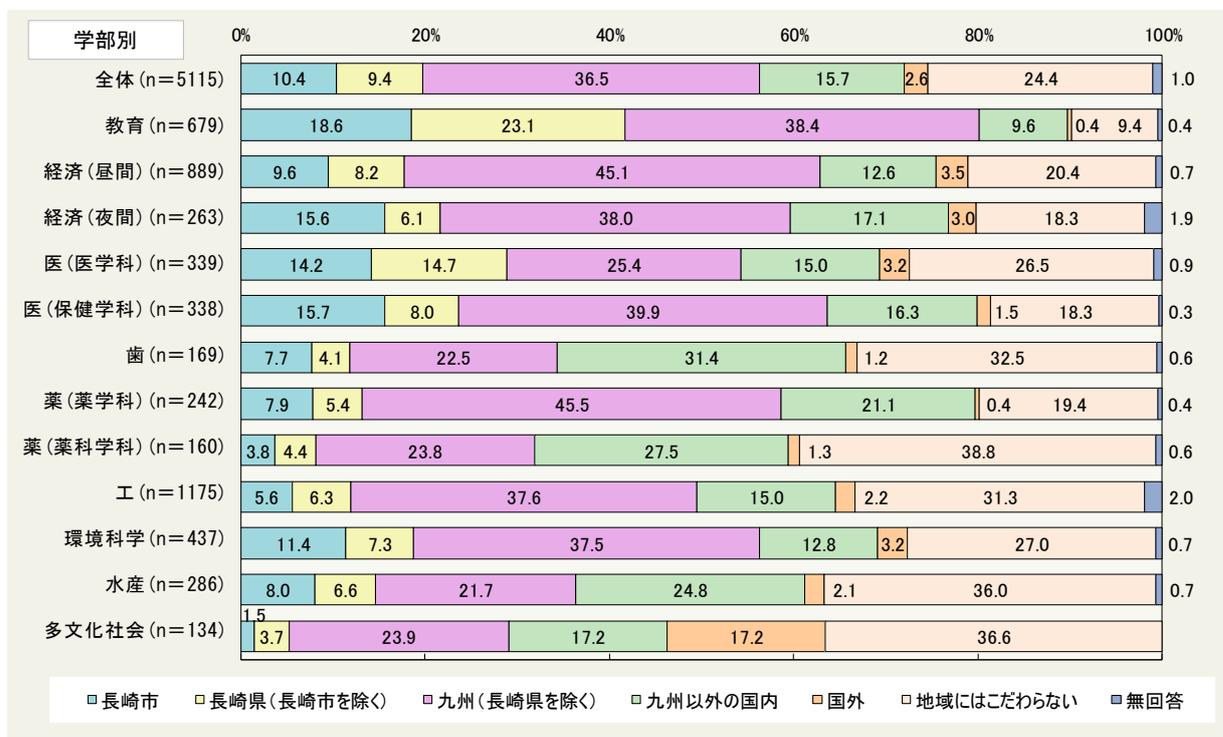
就職決定の要素を見てみると、全体では 30.5%が働きがい、29.4%が将来性と安定性を重視しており、専門性 17.5%、収入 13.8%と続いている、前回の調査とほぼ同値を示しました。学部別に見ると、「働きがい」を最も重視しているのは多文化社会学部(44.0%)、教育学部(40.5%)の順に高くなっています。次いで経済学部、医学部(医学科)、環境科学部が35%前後を示しています。また、「将来性・安定性」については経済学部(昼間)、薬学部(薬学科)、環境科学部が35%前後を示しており、「専門性」については歯学部が最も高く34.9%となっています。

就職を決めるにあたり最も重視する点としては、地理的条件や家庭の都合はいずれの学部でも関心が低めでしたが、希望する地域をみると、地域的要因もかなり重要視されているのが実際のようなようです。

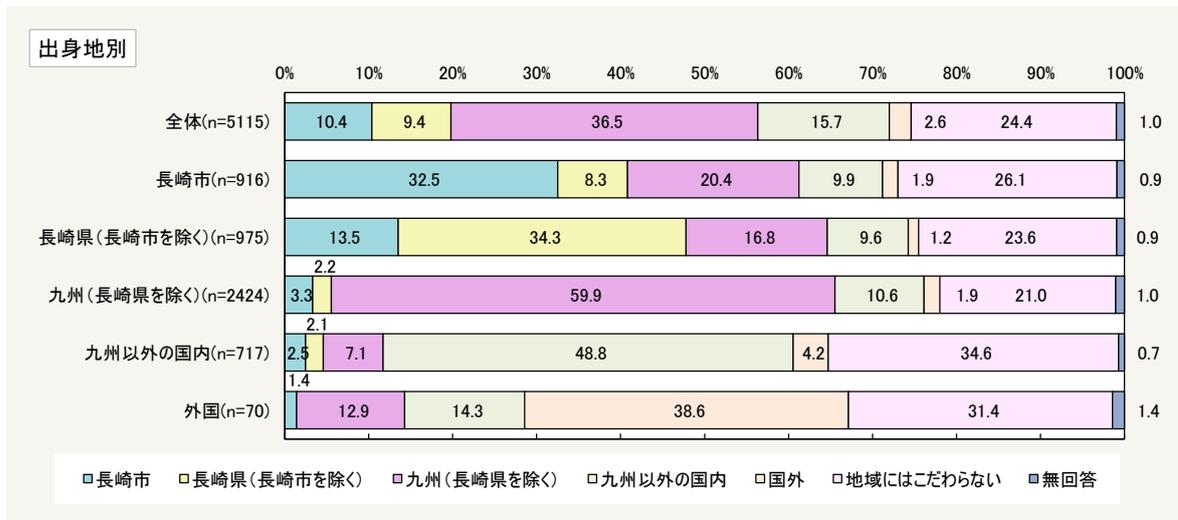


Q107. 就職を希望する地域は？

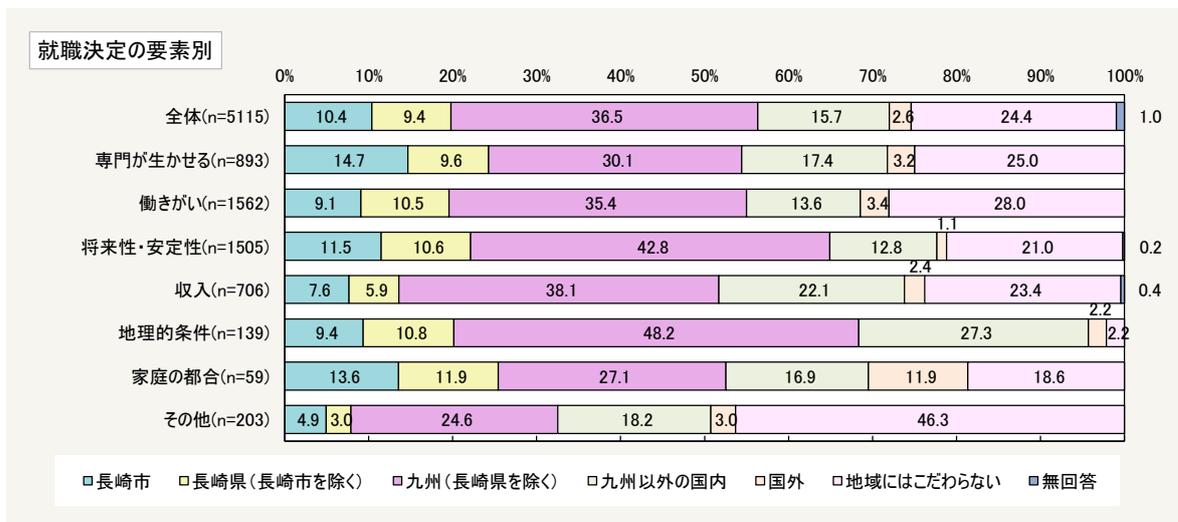
就職希望地域では、長崎県を含む九州地区を希望する学生が多くなっています。特に、教育学部が最も多く80%以上、次いで医学部（保健学科）、経済学部、薬学部（薬学科）、環境科学部、医学部（医学科）で50%を超えており、このように地元のために働きたいという意思が強いと考えられます。学生の出身地は医学部（医学科）、歯学部、薬学部（薬科学科）、水産学部、多文化社会学部を除いた全学部で80%以上が九州出身であることから、出身地が大きく影響しているようです。



出身地別に就職希望地域を見ると、それぞれの出身地域への就職を希望する傾向があることがわかります。長崎市出身者の32.5%が長崎市、長崎市外長崎県内出身者の34.3%が長崎県内、長崎県外九州圏内出身者の59.9%が九州圏内、九州以外の国内出身者の48.8%が九州以外の国内へそれぞれ希望しています。これは、いわゆる里帰り就職の要望の強さを示しており、それぞれの地域で相応しい就職先があれば相当数の学生が出身地へ帰っていくと推測されます。また、いずれの出身地からの学生も、総じて20~30%の学生が「地域にこだわらない」としています。外国出身者（留学生）について見ると、国外に就職を希望するものは38.6%と、前回（28%）よりさらに増加していることがわかり、留学生が国外で行う就職活動に対して、支援体制の検討が必要と言えます。以上の結果は、国外を除いて、前回とほとんど変化がありませんでした。

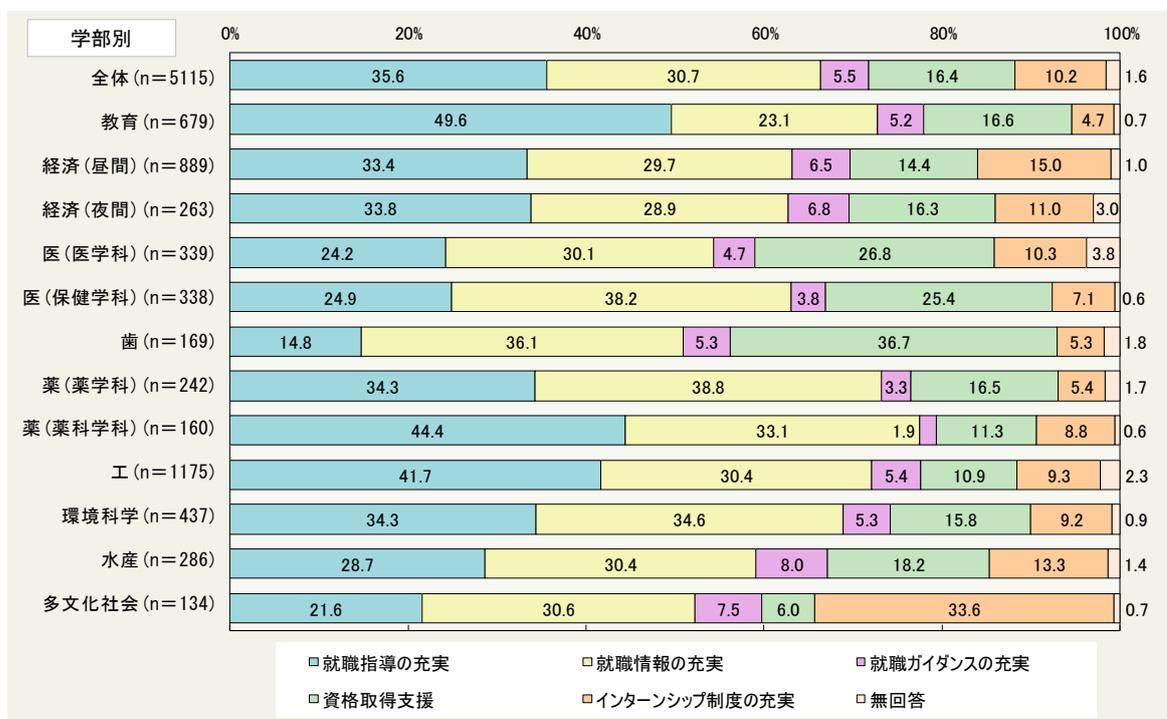


一方、最も重視する要素と就職希望地域の関係について見ると「将来性・安定性」「地理的条件」を重視する学生の約7割が「九州圏内への就職」を希望していることがわかります。一方で、「収入」を重視する学生は九州圏外への就職を希望する割合が最も高く約5割います。さらに、「働きがい」を重視する学生は、他とくらべ「地域にはこだわらない」が最も高い傾向であることがわかります。



Q108. 就職に関して大学に最も期待することは？

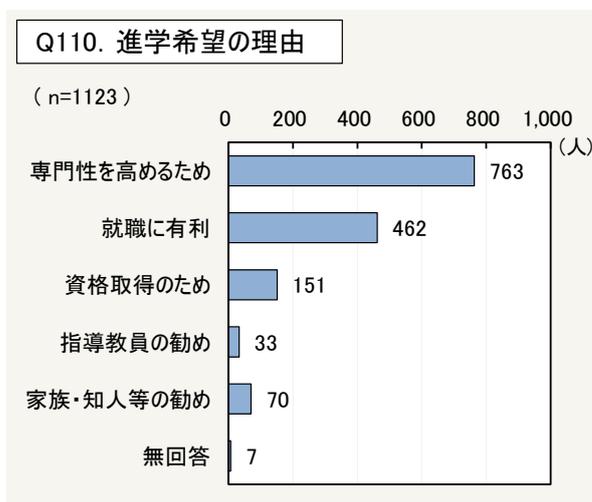
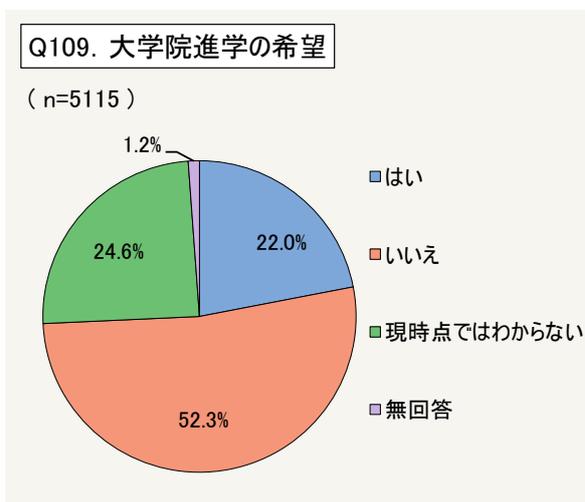
就職支援に関する要望では、「就職指導の充実」(35.6%)と「就職情報の充実」(30.7%)、「資格取得支援」(16.4%)などを求める学生が多いことがわかりました。特に前二者は就職指導と就職情報は不足していることを意味しているため、大学側の対応が必要であると言えます。「インターンシップ制度の充実」10.2%は、前回(6.8%)と比べるとやや増加しており、学部別に見ると多文化社会学部の学生が33.6%と、特に同制度を必要としていることが分かります。



Q109. 大学院進学を希望しますか？

Q110. 前問で「はい」と回答した方 その主な理由は？(複数回答可)

大学院への進学動機が「専門性を高めるため」と回答した学生が763名(67.9%)と大学院進学希望者の半数以上を占める結果となりました。次いで、「就職に有利」が462名(41.1%)、「資格取得のため」は151名(13.4%)、「家族・知人等の勧め」70名(6.2%)、「指導教員の勧め」33名(2.9%)となっております。今回は新たに「資格取得のため」という項目が追加されたため前回との単純な比較は難しいですが、「指導教員の勧め」「家族・知人等の勧め」が低く、「専門性を高めるため」「就職に有利」が高いことから、大学院進学を希望する学生のほとんどが自主性をもって進学を検討していると考えられます。



第 13 回

学生生活調査（学部生）

平成 27 年 9 月
長崎大学学生委員会

調査協力をお願い

学生生活調査は大学が学生の生活状況や要望を把握し、それに基づく支援・改善事項を計画・実行することで学生を取り巻く環境を整備し、学生生活を質的に向上させるために行うものです。

長崎大学では3年前に第12回の調査を実施し、その結果に基づき支援・改善事項を定め対応を行ってきました。その実績については先に掲示版やホームページ（<http://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/life/topics/life231.html>）で公表していますが、今回はその対応の実績を皆さんに評価していただくことが目的のひとつでもあります。是非調査に回答する前に前回の結果に基づき大学がどのような支援・改善を行ったかを確認のうえ、率直な意見をいただきたいと思えます。

本調査で皆さんから回答いただいた結果は、他の目的に使用することはありません。また、調査は無記名で行いますので、ありのままを正確に教えてください。質問事項が多く回答に時間を要しますが、この調査が皆さんにとってよりよい環境を作るための材料となることをご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

調査実施期間 平成 27 年 9 月 28 日（月）～10 月 9 日（金）

回答上の注意事項

1. 回答はすべて別紙の回答票（マークシート）に記入して下さい。
2. 平成 27 年 10 月 1 日現在での状況について回答して下さい。
3. 質問に対して該当する回答の番号をマークして下さい。用意された回答の中に該当するものがない場合は、あなたの回答に最も近いものを選んで回答して下さい。「2つまで回答可」や「複数回答可」としたのがありますが、それ以外は必ず1つを選んで下さい。
4. 一部の質問事項は、回答をお願いする人を指定してありますので、指定された人のみ回答して下さい。

回答票の提出期限は、平成 27 年 10 月 9 日（金）です。

所属学部の学務班(係)、あるいはその他の指定されたところへ提出して下さい。

第 13 回 学生生活調査票

I 基本事項について

1	あなたの所属学部（科）は？ 1. 教育 2. 経済(昼間) 3. 経済(夜間) 4. 医(医学科) 5. 医(保健学科) 6. 歯 7. 薬(薬学科) 8. 薬(薬科学科) 9. 工 10. 環境科学 11. 水産 12. 多文化
2	入学年度(平成)は？(編入学生は編入した年度) 1. 27年度 2. 26年度 3. 25年度 4. 24年度 5. 23年度 6. 22年度 7. 21年度 8. 20年度以前
3	学年は？ 1. 1年 2. 2年 3. 3年 4. 4年 医学部・歯学部・薬学部のみ 5. 5年 6. 6年
4	性別は？ 1. 男 2. 女
5	出身地は？ 1. 長崎市 2. 長崎県(長崎市を除く) 3. 九州(長崎県を除く) 4. 中国・四国 5. 近畿 6. 中部 7. 関東 8. 東北・北海道 9. 外国

II 生活状況について

6	現在のあなたの住居は次のどれですか？ 1. 自宅(家族と同居) 2. 下宿・間借 3. 借家・アパート・マンション(家族と別居)・学生寮 4. その他
7	【前問で自宅以外と答えた方】家賃は？ 1. 2万円未満 2. 2~3万円未満 3. 3~4万円未満 4. 4~5万円未満 5. 5~6万円未満 6. 6万円以上
8	長崎大学の近くに次のような本学の「学生寮」があったらどれを希望しますか？ 1. ワンルームマンション(バス・トイレ・キッチン付き) 2. ルームシェア (4~5人で、バス・トイレ・キッチン等共用。寝室は別) 3. どちらでもよい 4. 希望しない
9	【前問で1又は3と答えた方】ワンルームの寮の家賃はいくらまでなら入居を希望しますか？(水道光熱費別) 1. 3万円 2. 4万円 3. 5万円 4. 5万円以上
10	【問8で2又は3と答えた方】ルームシェアの寮の家賃はいくらまでなら入居を希望しますか？(水道光熱費別) 1. 2万円 2. 3万円 3. 4万円
11	【問8で2又は3と答えた方】ルームシェアの寮で日本人と留学生が同居する場合、入居を希望しますか？ 【日本人学生の方】 1. 希望する 2. 希望しない 3. どちらでもよい

	【留学生の方】 4. 希望する 5. 希望しない 6. どちらでもよい
12	主な通学方法は？ 1. 徒歩のみ 2. 自転車 3. 原動機付自転車 4. 自動二輪 5. 自家用自動車 6. 公共交通機関
13	住居から大学までの通学時間は？ 1. 15分未満 2. 15~30分未満 3. 30~60分未満 4. 60分以上
14	現在の経済状況は？ 1. ゆとりがある 2. 普通 3. やや苦しい 4. 大変苦しい
15	あなたの1ヶ月の平均収入額(仕送り、奨学金、アルバイトを含む)はどれくらいですか？ 1. なし 2. 3万円未満 3. 3~5万円未満 4. 5~7万円未満 5. 7~10万円未満 6. 10~15万円未満 7. 15~20万円未満 8. 20万円以上
16	保護者からの仕送りは？(月額) 1. なし 2. 3万円未満 3. 3~5万円未満 4. 5~7万円未満 5. 7~10万円未満 6. 10~15万円未満 7. 15万円以上
17	奨学金を受けていますか？(月額) 1. 受けていない 2. 3万円未満 3. 3~5万円未満 4. 5~7万円未満 5. 7~10万円未満 6. 10~15万円未満 7. 15万円以上
18	SA(スチューデント・アシスタント)・WA(ワークステディ・アシスタント)をしていますか？ 1. 現在している 2. 希望しているが、従事していない 3. 希望しない 4. 制度について知らない
19	アルバイトによる1ヶ月平均の収入はいくらですか？ 1. なし 2. 3万円未満 3. 3~5万円未満 4. 5~7万円未満 5. 7~10万円未満 6. 10~15万円未満 7. 15万円以上
20	アルバイトについて【今年4月~現在】 1. 全くしなかった 2. 長期休暇中のみ 3. 授業期間中に臨時的に 4. 授業期間中に定期的に 5. 長期休暇中も授業期間中も
21	【前問で「2~5」と答えた方】アルバイトの主な職種は？ 1. 家庭教師 2. 事務 3. 軽労働 4. 重労働・危険作業 5. 特殊技能(製図、トレース、通訳、翻訳等) 6. 販売サービス 7. SA・WA 8. その他

22	<p>アルバイトをする目的は何ですか？ 【主なもの2つまで回答可】</p> <p>1. 社会勉強のため 2. 勉学費のため 3. 課外活動費のため 4. 衣食住費のため 5. 娯楽・し好品のため 6. 旅行費のため 7. アルバイトそのものを楽しむため 8. 貯金のため</p>
23	<p>1ヶ月平均何時間くらいアルバイトをしていますか？ 【夏休み等授業のない月を除く】</p> <p>1. 5時間未満 2. 5～10時間未満 3. 10～30時間未満 4. 30～60時間未満 5. 60～90時間未満 6. 90時間以上</p>

Ⅲ 課外活動について

24	<p>全学又は学部の公認サークルに加入していますか？</p> <p>1. はい 2. いいえ 3. かつて加入していた 4. 公認サークル以外の学内同好会等に加入している</p>
25	<p>週平均のサークル活動（時間）は？</p> <p>1. 3未満 2. 3～ 3. 5～ 4. 10～ 5. 15以上</p>
26	<p>【問24で「はい」又は「かつて加入していた」と答えた方は設問26～28を回答してください】 どれに所属していますか（いましたか）？</p> <p>1. 文化系 2. 体育系 3. 両方に所属</p>
27	<p>課外活動施設（サークル施設等）の満足度は？</p> <p>1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満</p>
28	<p>サークル活動にどのような支援が必要ですか？</p> <p>1. 活動資金の支給 2. 交通費・加盟料等の支援 3. 活動に必要な備品・消耗品の支給</p>
29	<p>【問24で「いいえ」又は「かつて加入していた」と答えた方】加入しない理由は？</p> <p>1. 学業の妨げとなる 2. 健康上の理由 3. 束縛されたくない 4. 対人関係に自信がない 5. 経済的理由 6. 大学の施設・設備が悪い 7. なんとなく 8. その他</p>
30	<p>昨年の学園祭にはどのような形で参加しましたか？ （1年生は今年の予定で）</p> <p>1. 自分で催し物を企画し参加した 2. サークル等で催し物を企画し参加した【サークル等とは、サークル、クラス及びグループをいいます】 3. 所属する学部祭に企画し参加した 4. 催し物を見たり聞いたりしてまわった 5. 体育大会に参加した 6. 参加しなかった</p>
31	<p>学園祭に魅力を感じますか？</p> <p>1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない</p>

32	<p>魅力ある学園祭にするためには、どのようなことが必要だと思いますか？</p> <p>1. 各学部の研究や活動の実態を公開 2. シンポジウムやパネルディスカッション及び講演会などの充実 3. 文化系サークルの活動報告や演奏会をより多く 4. 映画や演劇などの公演の充実 5. より多種目のスポーツ大会の開催とその充実 6. バザーのあり方を工夫 7. その他</p>
----	---

Ⅳ 健康について

33	<p>現在の健康状態は？</p> <p>1. 健康 2. おおむね健康 3. やや不健康 4. 不健康</p>
34	<p>【前問で「やや不健康」又は「不健康」と答えた方】 その主な理由は？</p> <p>1. 運動不足 2. 睡眠不足 3. かたよった食事 4. 不規則な食生活 5. 課外活動による過労 6. アルバイトによる過労 7. 勉学による過労 8. 精神的な悩みや不安 9. 遊びすぎ 10. その他</p>
35	<p>日頃、健康上心掛けている事柄は？</p> <p>1. 運動する 2. 食事に注意 3. 規則正しい生活 4. あまり気にかけない 5. その他</p>
36	<p>1日の平均睡眠時間は？</p> <p>1. 5時間未満 2. 5～ 3. 6～ 4. 7～ 5. 8～ 6. 9～ 7. 10時間以上</p>
37	<p>平日平均して何時頃に起床していますか？</p> <p>1. 午前8時前 2. 午前8～10時 3. 午前10～12時 4. それ以降 5. 不規則でわからない</p>
38	<p>朝食を摂っていますか？</p> <p>1. ほとんど毎日 2. 時々 3. 摂らない</p>
39	<p>飲酒について、自分の飲酒の適量がわかりますか？</p> <p>1. 分かっている 2. 大体分かる 3. 全く分からない</p>
40	<p>一気飲みの経験は？</p> <p>1. ある 2. ない</p>
41	<p>泥酔した経験は？</p> <p>1. ある 2. ない</p>
42	<p>たばこを吸いますか？</p> <p>1. 吸わない 2. 1～10本/日 3. 11～20本/日 4. 21本以上/日</p>
43	<p>【前問で「吸う」と答えた方】 たばこを止めたいと思っていますか？</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>

44	<p>【前問で「はい」と答えた方】 止める工夫や努力をしていますか？</p> <p>1. 特に工夫をしなくとも止めることができる 2. 止めようとしているが、止めることができない 3. 禁煙のための外来を受診したい</p>
45	<p>現在悩みや不安がありますか？</p> <p>1. 特にない 2. 多少あるが問題ない 3. ある</p>
46	<p>【前問で「ある」と答えた方】 悩みや不安は主にどんなことについてですか？</p> <p>1. 勉学 2. 経済事情 3. 交友関係 4. 異性問題 5. 身体的不調 6. 家族との関係 7. 就職 8. 課外活動 9. 政治・社会問題 10. 自分の性格 11. 人生観 12. 大学・学部があわない 13. その他</p>
47	<p>悩みや不安の程度は？</p> <p>1. 深刻である 2. 軽度である 3. 分からない</p>
48	<p>今の悩みや不安を主としてどのように（解決・相談）して解消したいですか？</p> <p>1. 自分で考えて 2. 友人や先輩に相談 3. 家族に相談 4. 教員に相談 5. 学務係窓口相談 6. 「保健・医療推進センター」に相談 7. 「学生何でも相談室」に相談 8. 「障がい学生支援室」に相談 9. 現在のところ解決する方法がない 10. その他</p>

V 福利厚生施設について

49	<p>福利厚生施設の中で、使用したことのある施設は？ 【複数回答可】</p> <p>1. 学生会館（文教） 2. 大学食堂（文教） 3. 生協売店（文教） 4. 理・美容室（文教） 5. 扶揺会館（片淵） 6. 医学部福利厚生施設 7. 歯学部福利厚生施設 8. 子々川臨海研修所 9. 島原共同研修センター 10. 特になし</p>
50	<p>福利厚生施設の中で、改善を希望する施設は？ 【複数回答可】</p> <p>1. 学生会館（文教） 2. 大学食堂（文教） 3. 生協売店（文教） 4. 理・美容室（文教） 5. 扶揺会館（片淵） 6. 医学部福利厚生施設 7. 歯学部福利厚生施設 8. 子々川臨海研修所 9. 島原共同研修センター 10. 特になし</p>
51	<p>あなたの所属する学部の学内食堂（大学食堂）について満足していますか？</p> <p>1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満</p>

52	<p>【前問で「不満」又は「どちらともいえない」と答えた方】 何を改善すればよいと考えますか？</p> <p>1. 混雑 2. 待ち時間 3. メニュー 4. 味 5. 雰囲気 6. 値段 7. その他</p>
53	<p>あなたが所属する学部にある生協売店について、満足していますか？</p> <p>1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満</p>
54	<p>あなたが所属する学部にある談話室等について、満足していますか？</p> <p>1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満</p>

VI キャンパス全般について

55	<p>屋外の環境について、あなたの所属する学部キャンパスの屋外環境については？【主なもの2つまで回答可】</p> <p>1. 満足している 2. 敷地が狭い 3. 休憩する場所がない 4. うるさい 5. 清潔でない 6. その他</p>
56	<p>キャンパス内の交通面での安全について（複数回答可）</p> <p>1. 車の事故に遭ったことがある 2. 自転車の事故に遭ったことがある 3. 車を危ないと感じることがある 4. 自転車を危ないと感じることがある 5. 危ないと感じることはない</p>
57	<p>キャンパス内の治安（迷惑行為）について</p> <p>1. 日中でも危ないと感じることがある 2. 夜間・休日は危ないと感じることがある 3. 危ないと感じることはない</p>
58	<p>キャンパス内の迷惑行為について、どれに当てはまりますか？（複数回答可）</p> <p>1. 不審者に遭遇した 2. のぞき・盗撮の被害に遭った 3. 盗難の被害に遭った 4. 強引な勧誘に遭った 5. その他被害に遭った 6. 自分は遭ったことはないが、友人が被害に遭った 7. 被害に遭ったこともなく、話を聞いたこともない</p>
59	<p>駐輪場について満足していますか？</p> <p>1. はい 2. いいえ 3. 利用していない</p>
60	<p>講義棟（講義室・トイレ）について満足していますか？ （複数回答可）</p> <p>1. 満足している 2. 講義室に不満がある 3. トイレに不満がある</p>
61	<p>体育施設（体育館・グラウンド）について満足していますか？ （複数回答可）</p> <p>1. 満足している 2. 体育館に不満がある 3. グラウンドに不満がある</p>

62	<p>附属図書館（分館等を含む）および電子ジャーナル・データベースの利用について、週平均何時間くらい利用していますか？</p> <p>1. ほとんど利用しない 2. 30分未満 3. 30分～ 4. 1時間～ 5. 5時間～ 6. 10時間～ 7. 15時間以上</p>
63	<p>附属図書館の主な利用目的は？</p> <p>1. 図書 2. 雑誌・新聞 3. 辞書・事典 4. パソコン 5. 電子ジャーナル・データベース 6. 文献複写の入手 7. 所蔵検索及び文献調査 8. 試験勉強 9. 予習・復習 10. その他</p>
64	<p>附属図書館で最も改善を希望することは？</p> <p>1. 図書の充実 2. 雑誌・新聞の充実 3. 辞書・事典の充実 4. 電子ジャーナル・データベースの充実 5. 閲覧席の充実 6. パソコンの充実 7. 貸出冊数の増加 8. 貸出期間の延長 9. 開館時間の延長 10. その他</p>
65	<p>キャンパス内でバリアフリー化すべき施設はありますか？</p> <p>1. はい 2. いいえ 3. 意識したことがない</p>
66	<p>【前問で「はい」と答えた方】それはどの施設ですか？ 回答票の自由記述欄に記入してください。</p>
67	<p>キャンパス内の禁煙・分煙対策に満足していますか？</p> <p>1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満</p>

VII 入学・修学について

68	<p>大学に進学しようとした最も大きな理由は？</p> <p>1. しばらく自由な時を過ごすため 2. 自分の適性を見つけるため 3. 好きな分野の勉強をするため 4. 皆が行くから 5. 就職に有利だから 6. 大学卒の学歴を得るため 7. その他</p>
69	<p>本学の学部を志望した最も大きな理由は？</p> <p>1. 自分の力にあっている 2. 大学・学部の特色にひかれて 3. 高校の進路指導による 4. 地理的条件 5. 学費が安い 6. その他</p>
70	<p>あなたは、現在の学部・学科等を変わりたいですか？</p> <p>1. 大学を変わりたい 2. 学部を変わりたい 3. 学科を変わりたい 4. 変わりたいと思わない</p>
71	<p>【前問で「変わりたい」と答えた方】 最も大きな理由は？</p> <p>1. 専門分野が自分にあっていない 2. 施設・設備が不十分 3. その他</p>

72	<p>大学・学部選択の際に最も参考となった資料は？</p> <p>1. 受験雑誌社が発行している大学案内 2. 国公立大学ガイドブック （大学入試センター発行） 3. 長崎大学案内（募集要項と一緒に同封） 4. 本学の各学部が発行する長崎大学〇〇学部案内 5. 長崎大学のホームページ 6. 特になし 7. その他</p>
73	<p>日頃個人的に教員と話す機会がありますか？</p> <p>1. よくある 2. 話をしたいがその機会がない 3. なんとなく話しにくい 4. 話す必要がない</p>
74	<p>オフィスアワーを有効に活用していますか？ （オフィスアワーとは教員が自室（研究室）で学生からの質問や相談を受けるための時間帯をいいます。）</p> <p>1. はい 2. いいえ 3. オフィスアワーを知らない</p>
75	<p>授業・カリキュラムについては？</p> <p>1. 満足している 2. 不満である</p>
76	<p>【前問で「不満」と答えた方】その理由は？</p> <p>1. 就職を考えると不安 2. 教育課程が過密すぎる 3. 教育課程に制約が多い 4. 授業のレベルが高すぎる 5. 授業のレベルが低すぎる</p>
77	<p>あなたの1日平均の授業時間はどのくらいですか？</p> <p>1. 1.5時間 2. 3時間 3. 4.5時間 4. 6時間 5. 7.5時間以上</p>
78	<p>あなたの1日平均の授業時間以外の学修時間はどのくらいですか？</p> <p>1. 1時間未満 2. 1～2時間未満 3. 2～3時間未満 4. 3～4時間未満 5. 4～5時間未満 6. 5時間以上</p>
79	<p>【平成23年度（医学科・歯学部・薬学科については平成21年度）以前に入学した方】 所定の年限で卒業できなかったのは、どのような理由からですか？</p> <p>1. 勉強はしたが単位が取れなかったため 2. 勉強の意欲をなくしたため 3. 病気のため 4. アルバイトのため 5. 課外活動のため 6. 就職が決まらなかったため 7. 休学のため</p>
80	<p>本学内既設のパソコンおよびインターネットの環境について、満足していますか？</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>
81	<p>自宅等で自学自習に利用できるパソコンを持っていますか？ （PC必携化に関する質問）</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>

82	<p>次の内、あなたはどれをもっていますか？（複数回答可）</p> <p>1. デスクトップPC 2. ノートPC</p> <p>3. iPad等のタブレット端末</p> <p>4. iPhone等のスマートフォン</p>
83	<p>LACSについて満足していますか？</p> <p>1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満</p> <p>5. 使用していない</p>
84	<p>【1・2年生の方のみ】</p> <p>パソコンを必携することについてどう思いますか？</p> <p>1. 必携でよい 2. 必携でなくてもよい</p>

VIII 学生相談体制について

85	<p>各種相談窓口（学生相談体制）について、知っていますか？</p> <p>1. よく知っている 2. 一部知っている</p> <p>3. ほとんど知らない</p>
86	<p>各種相談窓口（学生相談体制）について、満足していますか？</p> <p>1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満</p>
87	<p>あなたは「学生何でも相談室」を利用したことがありますか？</p> <p>1. はい 2. いいえ</p> <p>3. 「学生何でも相談室」を知らない</p>
88	<p>前問で「はい」と答えた人について、「学生何でも相談室」への相談はあなたの悩みや問題解決の助けになりましたか？</p> <p>1. 大いになった 2. 少しなった</p> <p>3. あまりならなかった 4. 全くならなかった</p>
89	<p>あなたは「ピア・サポーター」を利用したことがありますか？</p> <p>1. はい 2. いいえ</p> <p>3. ピア・サポーターを知らない</p>
90	<p>前問で「はい」と答えた人について、「ピア・サポーター」への相談はあなたの悩みや問題解決の助けになりましたか？</p> <p>1. 大いになった 2. 少しなった</p> <p>3. あまりならなかった 4. 全くならなかった</p>
91	<p>あなたは、ピア・サポーターとして活動したいと思いますか？</p> <p>1. はい 2. いいえ 3. どちらともいえない</p>
92	<p>「やってみゅーでスク」の場所を知っていますか？</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>
93	<p>「やってみゅーでスク」は学生の社会参加、地域貢献を支援するところだと知っていますか？</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>
94	<p>ハラスメント相談員の制度を知っていますか？</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>
95	<p>窓口サービス（学生支援センター・学部学務班等）に満足していますか？</p> <p>1. 満足 2. どちらともいえない 3. 不満</p>

96	<p>前問で「不満」と答えた方</p> <p>その主な理由は？</p> <p>1. 窓口対応が悪い 2. 受付時間が不便</p> <p>3. 情報提供が不十分 4. 場所が遠い 5. その他</p>
97	<p>障がい学生支援室を知っていますか？</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>
98	<p>大学からの情報提供はどの方法が望ましいですか？</p> <p>1. 掲示板 2. Eメール 3. ホームページ 4. その他</p>

IX 大学生活について

99	<p>あなたは悩みをうちあけることができる友人がいますか？</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>
100	<p>ボランティア活動に取り組んだことがありますか？</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>
101	<p>前問で「はい」と回答した人について、どのような活動ですか？</p> <p>1. 教育・文化 2. 福祉・医療</p> <p>3. 国際交流・平和・援助 4. 生活・環境</p> <p>5. 災害・救助 6. その他</p>
102	<p>あなたは本学に所属する留学生と交流を持っていますか？</p> <p>【日本人の方は留学生との交流、留学生は他国の留学生との交流】</p> <p>1. はい 2. いいえ 3. ないが持ちたい</p>
103	<p>あなたは長崎大学が好きですか？</p> <p>1. 好きである 2. やや好きである</p> <p>3. あまり好きではない 4. 好きではない</p>
104	<p>現在の大学生活に満足していますか？</p> <p>1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満</p>

X 進路・就職について

105	<p>将来就職したい職種については？</p> <p>1. 大学・官公庁の教育・研究職</p> <p>2. 企業等の研究・技術職</p> <p>3. 企業等の事務・営業職</p> <p>4. 教育職（大学を除く）</p> <p>5. 行政職（公務員）</p> <p>6. 専門職（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、公認会計士等）</p> <p>7. 自営・自由業</p> <p>8. まだ考えていない</p>
106	<p>就職を決めるにあたり最も重視する点は？</p> <p>1. 専門が活かせる 2. 働きがい</p> <p>3. 将来性・安定性 4. 収入 5. 地理的条件</p> <p>6. 家庭の都合 7. その他</p>
107	<p>就職を希望する地域は？</p> <p>1. 長崎市 2. 長崎県（長崎市を除く）</p> <p>3. 九州（長崎県を除く） 4. 九州以外の国内</p> <p>5. 国外 6. 地域にはこだわらない</p>

108	<p>就職に関して大学に最も期待することは？</p> <p>1. 就職指導の充実 2. 就職情報の充実 3. 就職ガイダンスの充実 4. 資格取得支援 5. インターンシップ制度の充実</p>
109	<p>大学院進学を希望しますか？</p> <p>1. はい 2. いいえ 3. 現時点ではわからない</p>
110	<p>前問で「はい」と回答した方 その主な理由は？（複数回答可）</p> <p>1. 専門性を高めるため 2. 就職に有利 3. 資格取得のため 4. 指導教員の勧め 5. 家族・知人等の勧め</p>

調査の組織

長崎大学学生委員会に所属する組織として、下記の学生生活調査専門委員会を平成 27 年 4 月に発足させ、作業にあたりました。

* 学生生活調査専門委員会委員一覧

区分	氏名	部 局	職名
学生委員会委員長	堀内 伊吹	副学長 教育学部	教授
委員長	井上 徹志	水産学部	教授
委員	宮下 茂	教育学部	教授
委員	川上 純	医学部	教授
委員	大嶺 聖	工学研究科	教授
委員	藤原 卓	医歯薬学総合研究科 歯学部	教授
	真鍋 義孝		
	原 宜興		
委員	林田 雅希	保健・医療推進センター	准教授
委員	首藤 明和	多文化社会学部	教授
委員	宍倉 学	経済学部	教授
委員	川上 茂	薬学部	教授
委員	長江 真樹	環境科学部	教授
委員	門司 和彦	熱帯医学・グローバルヘルス研究科	教授
委員	中根 秀之	医学部保健学科	教授

あ と が き

ようやく第13回学生生活調査報告書をみなさんにお届けすることができました。学生生活調査専門委員会の立上げからちょうど一年となります。右も左も分からないまま委員長を引受け、質問項目や選択肢の見直しから始めました。今にして思えば、学生生活調査の目的は何なのかという本質的な議論をする余裕がなかったのが残念です。過去の調査との継続性を重視すれば、質問項目を変えたり、削除することが難しくなり、質問項目は増える方向に進んでしまいます。学生からのフィードバックを受け、PDCAサイクルを回して、よりよい学生生活のための支援をするという立場であれば、前回までの質問項目にそれほど縛られる必要もないでしょう。質問項目のあまりの多さに、答える学生側も、取りまとめる教職員側も、目の前の負担にばかり目を奪われて、目的を見失いがちであったことは否めません。学生が生活調査の目的を理解し主体的に取り組むことができる工夫も必要ではないでしょうか。自分たちの大学生活をより充実したものにできる機会として、調査の一部分を質問項目から取りまとめまで学生主導で進めることができれば、そのような仕組みを持つことは大学として評価されることでしょう。

紙媒体によるアンケート調査も今回で最後になるでしょう。国勢調査もインターネットによる回答が可能になった時代です。次回からはインターネットによるアンケートになると思われます。デジタルネイティブという言葉もインパクトを失うほどにインターネットを身近に感じている世代の学生にとって、マークシートとはいえ紙媒体のアンケートはそぐわないものとなっていることでしょう。インターネットの利用によって、学生主導の学生生活調査も現実的なものとなるのではと思います。

調査結果の中で一つ残念に思うのは、学生のためにある相談窓口の認知度の低さです。長崎大学ではいろいろな相談窓口を準備して、学生の相談・支援にあたっています。相談窓口である「学生何でも相談室」や「ピア・サポーター」を利用した学生の8割以上が問題解決の助けになったと答えています。このような窓口があることを知らないと答えた学生が多かったことは大きな問題といえるでしょう。

最後になりますが、調査項目の検討と調査票の作成、報告書の作成を担当していただいた学生生活調査専門委員会の教職員、ならびに調査に関わる膨大な作業を支えていただいた学生支援課のみなさまには、この場を借りて深く感謝申し上げます。

平成28年3月

学生生活調査専門委員会委員長
井上 徹 志

第 13 回学生生活調査報告書

平成 28 年 3 月発行

編 集 長崎大学学生生活調査専門委員会
発 行 長崎大学学生支援部

〒852-8521

長崎市文教町 1 番 14 号

電話 (095) 819-2103



長崎大学

NAGASAKI UNIVERSITY